

DRAMATIC BASEBALL COMIC

MAJOR

メジャー

Sコミックス

34

満田拓也

TAKUYA MITSUDA PRESENTS

Scomics

MAJOR［メジャー］

34

満田拓也

小学館

SSC-6084

DRAMATIC BASEBALL COMIC

MAJOR
メジャー



SS comics

34

満田拓也

TAKUYA MITSUDA PRESENTS

SS comics MAJOR [メジャー] 34 満田拓也 小学館

DRAMATIC BASEBALL COMIC

MAJOR

メジャー

34

満田拓也（みつだたくや）



★前巻までのあらすじ★

壮行試合で、ついに一軍を破り、宣言どおり、海堂を退学した茂野吾郎。

しかし、海堂マネージャー・江頭の卑劣な報復により、転入先の高校が見つからず、ガク然。

とりあえず、江頭の力が及ばない高校を選んだ吾郎は、幼なじみ・薫のいる聖秀に転入。

だが、なんとそこは、野球部のない、おまけに男子が7人しかいない高校だった。

一から野球部を作らなければならない吾郎は、まず同級生に接触。

その一人・藤井と、野球部入りを賭けて、タイマン勝負をするが…!?

MAJOR 34　目次

■満田拓也■

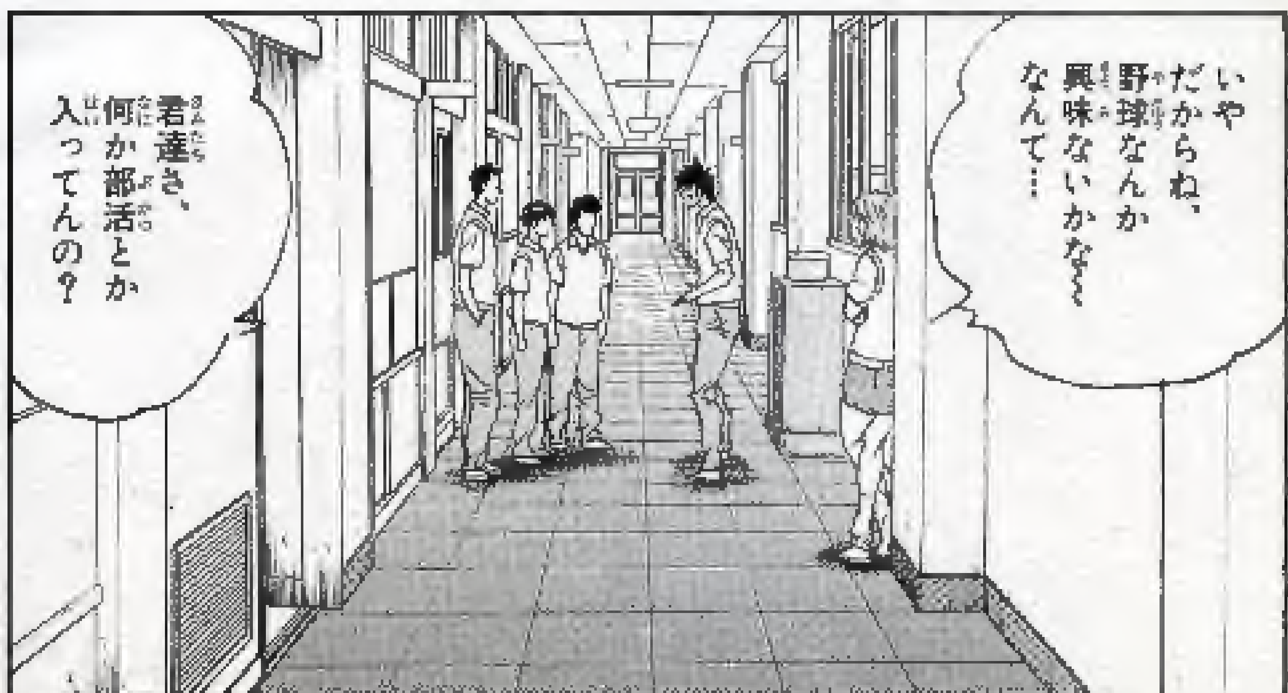


第1話 ただの・・・




I-A


は?


いや だからね、野球なんか興味ないかな～なんて…
君達さ、何か部活とか入ってんの?


え…いや
帰宅部ですけど……
じゃあいいじゃん、やろーぜ野球!
おもしろいぞ〜〜メチャ楽しいぞォ!




すみません、運動部自体興味ないんで……
他あたってください。
ま、待てコラ!
他がいねえから頼んでんだよ!!
ひ…
た…助けて——っ!!




…なんてこった…7人全滅じゃねえか…
世の中こんなに野球に興味ねえ男が多いとは思わなかった…

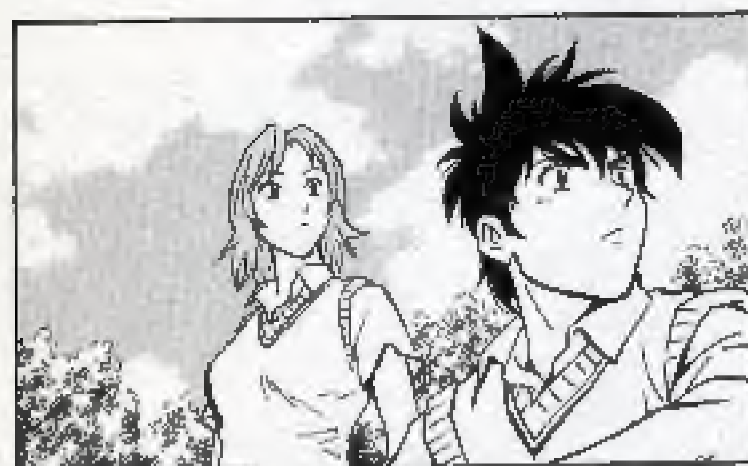
そりゃあ無理っしょ。
大体、体育会系が嫌いな奴は練習が嫌なわけよ。
暑いわくさいわしんどいわ。





5








おう、頑張ってんな清水。


あ、ごめんちょっと先行ってて。

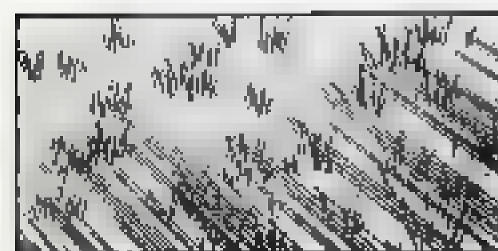

……


どうなった部員集め？
ああ…それが全くお手上げでよ――


誰も入りゃしねえんだよなァ。


ふーん、で、何その人?
え。


ああ・・何か知らねえけど勝手に・・・

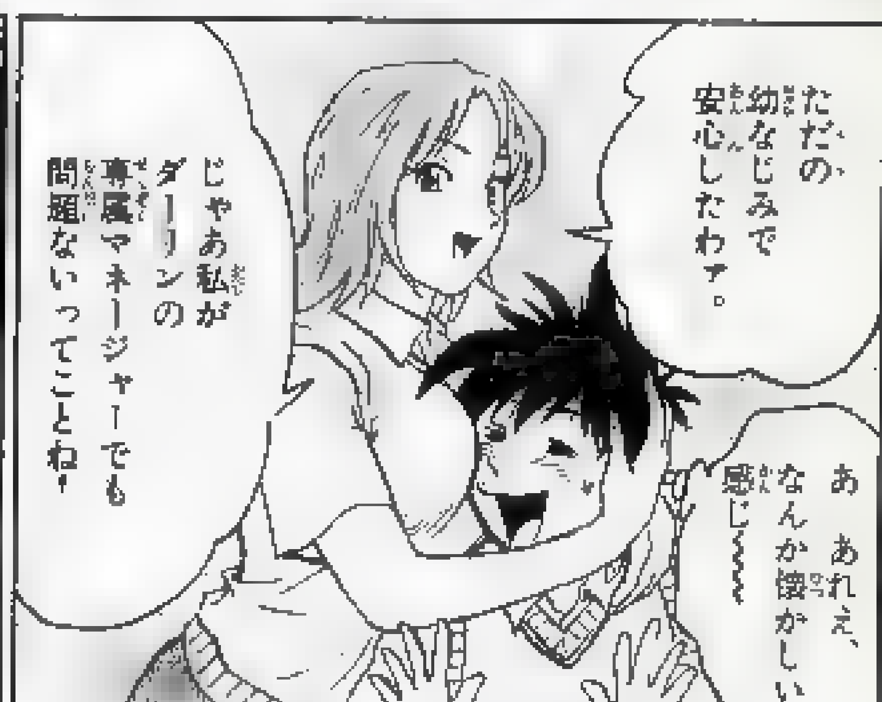



・・・・・・
あら? あたしは野球部マネージャーの中村美保よ。

7


あんたこそ吾郎の何なのよ!?


な…何って
ただの幼なじみ
だけど…!?
あーらそう。

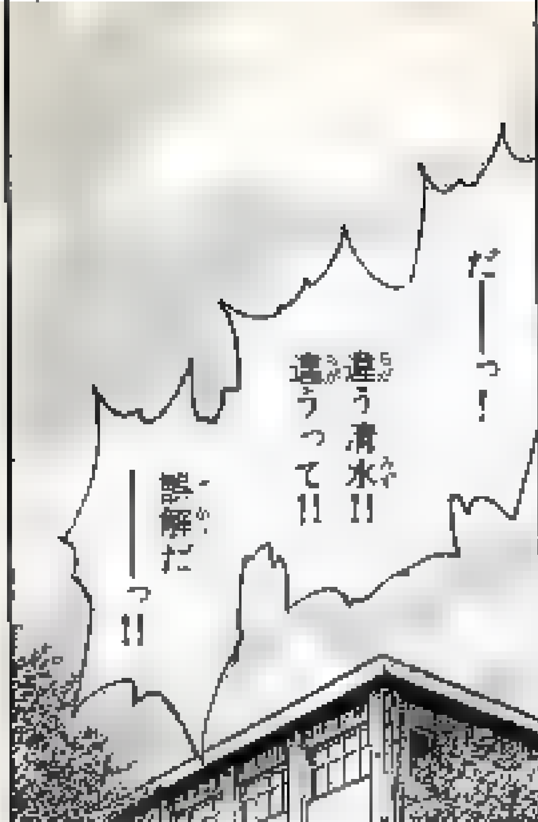

ただの
幼なじみで
安心したわァ。
あ　あれえ、
なんか懐かしい
感じ〜〜〜
じゃあ私が
ダーリンの
専属マネージャーでも
問題ないってことね♥

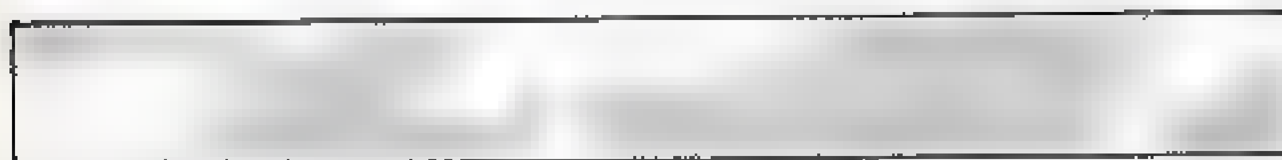

………………


そう…
今頃わざわざ
聖秀なんかに
転校してきて
おかしいとは
思ってたけど…


結局あんた
そーいうこと
したくて
転校してきた
のね…


お幸せに。
!


だーっ！
違う清水!! 違うって!!
誤解だ――っ!!

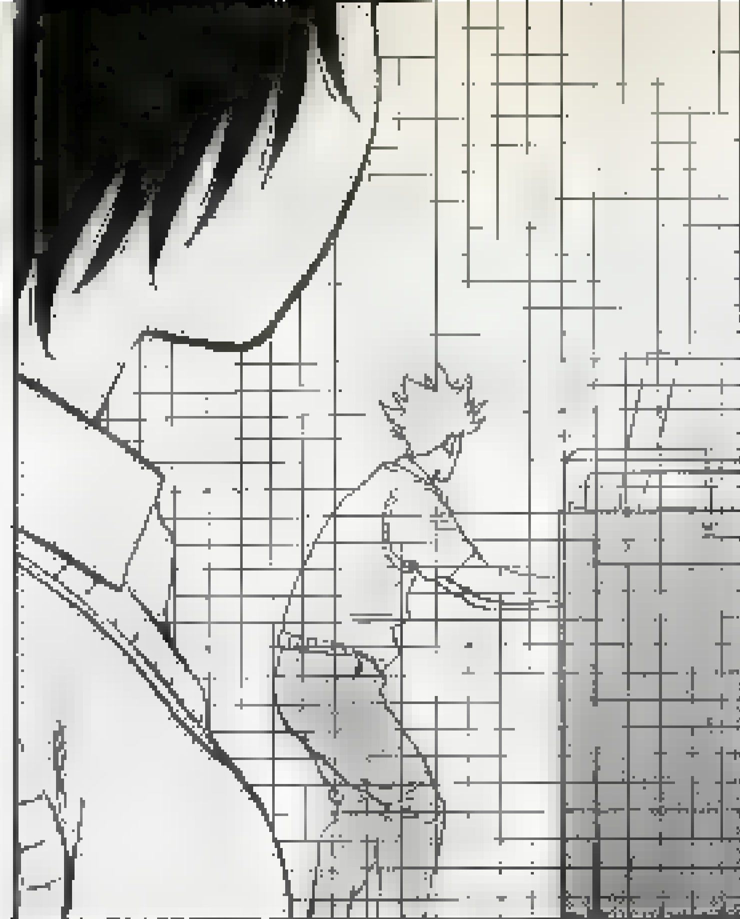


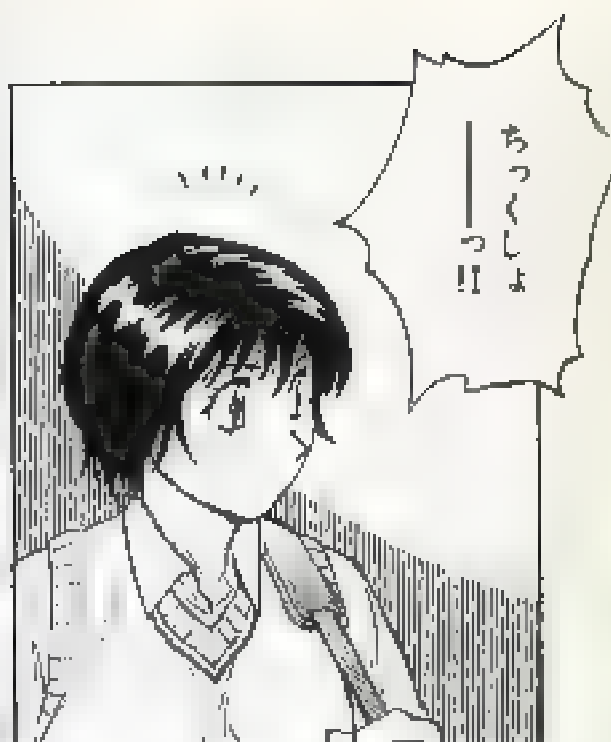
9


バッティングセンター


あーあ、もう今日は最低。


あいつがしばらく見ないうちにあんな軽薄になってるとは思わなかったよ。
ソフトボール



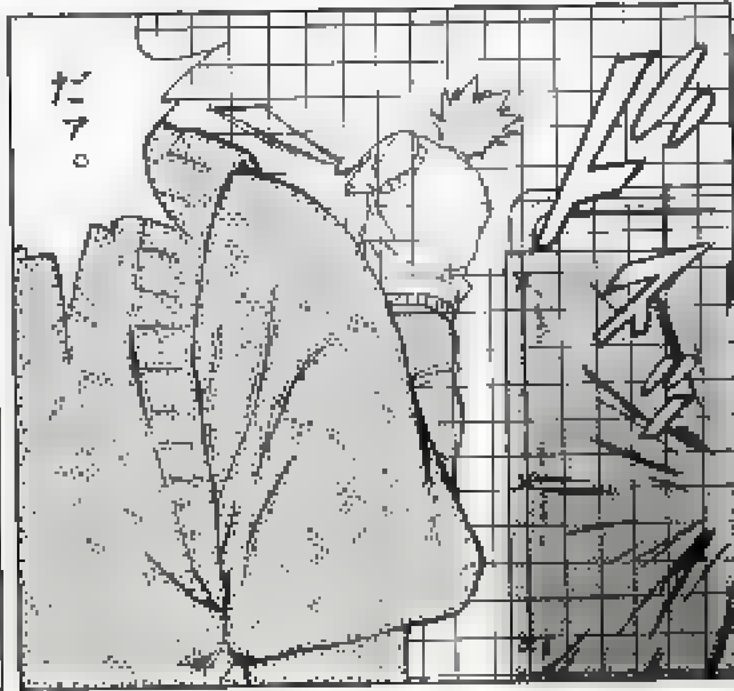

ちっくしょ――っ!!


藤井…!?






この〜〜っ!!

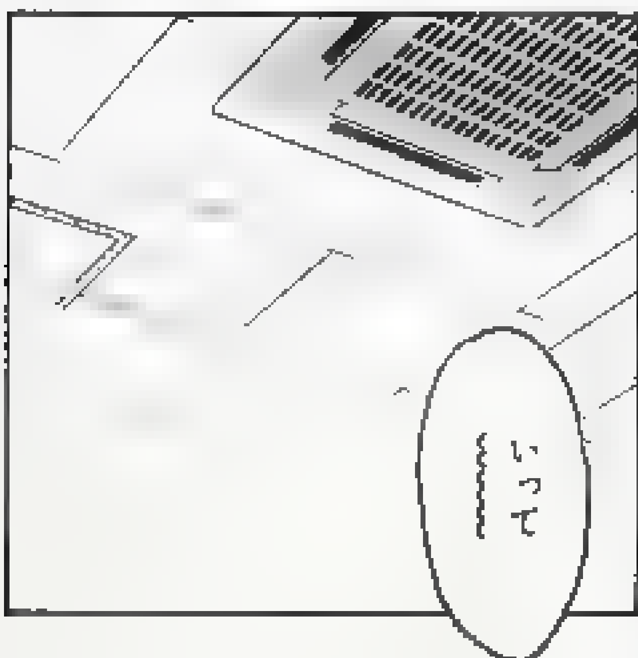

だァ。


もっと懲しめた方がいいんじゃない？

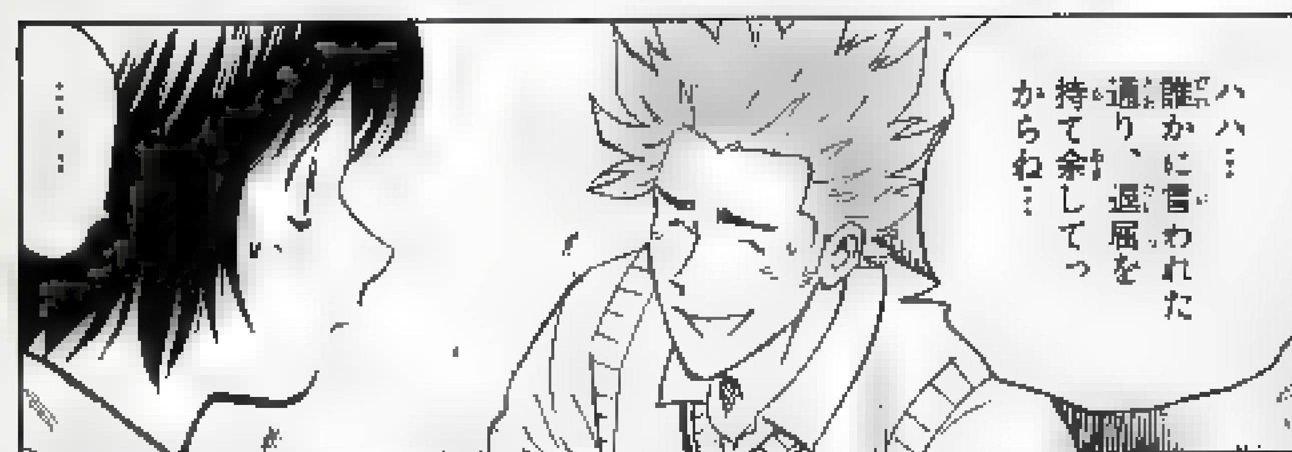

か、薫ちゃん!!


あっ、
ちょ、ちょっと後ろ!!


……


いって〜〜〜


大丈夫?
え…
あ、うん
全然平気よ、
ハハハ。
フーン、
あんたでも
こんなとこ
来るんだ、
ちょっと意外っ


ハハ…
誰かに言われた
通り、退屈を
持て余してっ
からね…
……


それにしちゃ、
ずいぶん
一生懸命
だったじゃん。
ろくすっぽ
当たってなかっ
たけど…
茂野
だっけ?
転校してきた
あの薫ちゃんの
幼なじみ!
え?

昨日あいつに
野球で
こてんぱんに
やられてさァ…

どうしても
もっかい
リベンジしなきゃ
腹の虫がおさまら
なくってよ…

あんな
みじめな思い
させられたの、
初めてだよ。

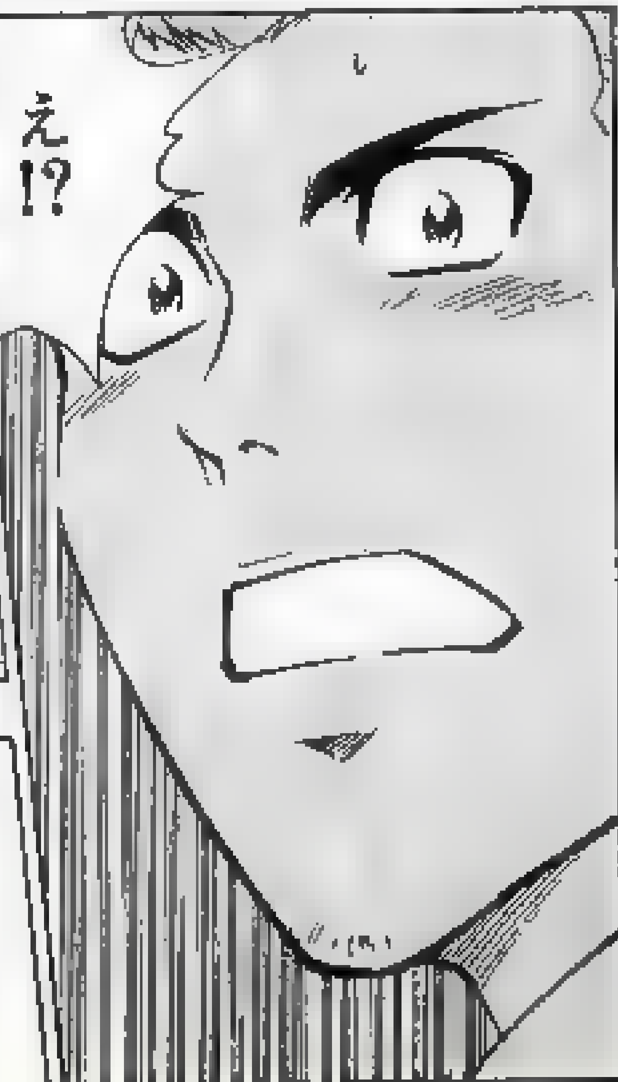
あんまし
見ねーで
くれよ…
かっこわりー
から…

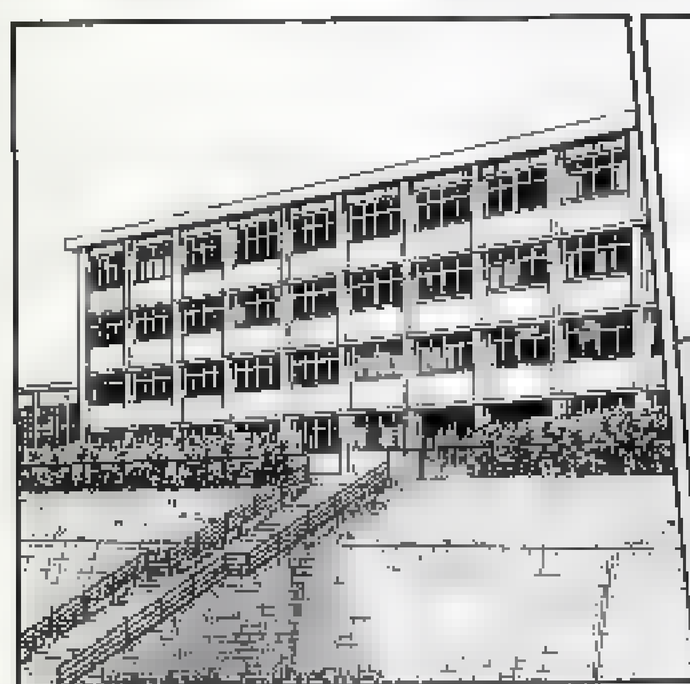
かっこ悪く
ねーよ。

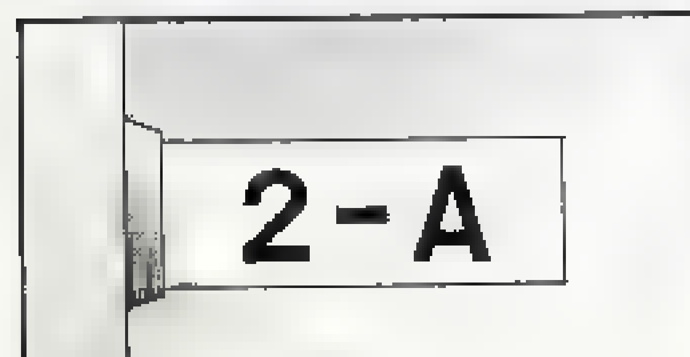
全然かっこ悪くなんかねーよ。

あたしで良かったら、そのリベンジ協力しよっか!?

15







な、何ィ!?
幽霊部員でいいから入ってくれ〜〜〜〜っ!?






な⁉
それならお安い御用だろ⁉
試合の日にはもちろんメシぐらいおごるぜ！




ちょっと待て。
練習出なくていいのはともかく、
そんなド素人の俺達をいきなり試合に出させてどうしようってんだ⁉

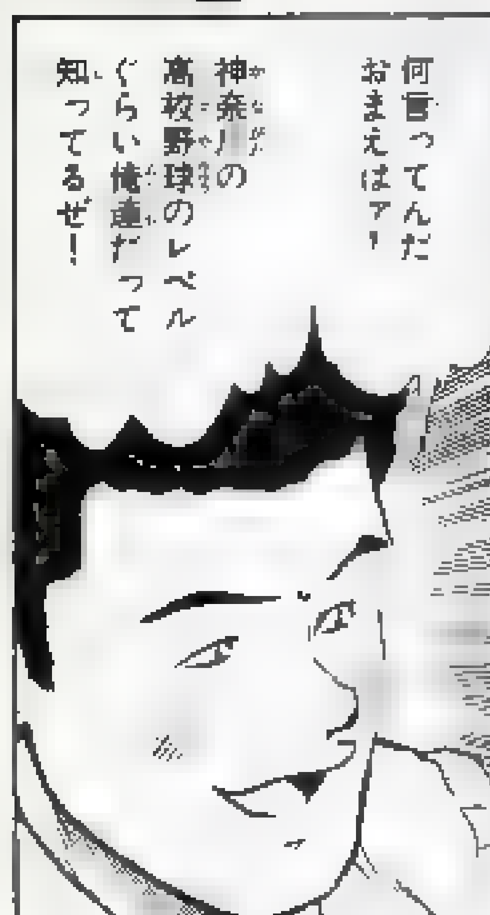

ごめんだね。


記録的なコールドゲームくらって、ただの恥さらしになるだけだろ？

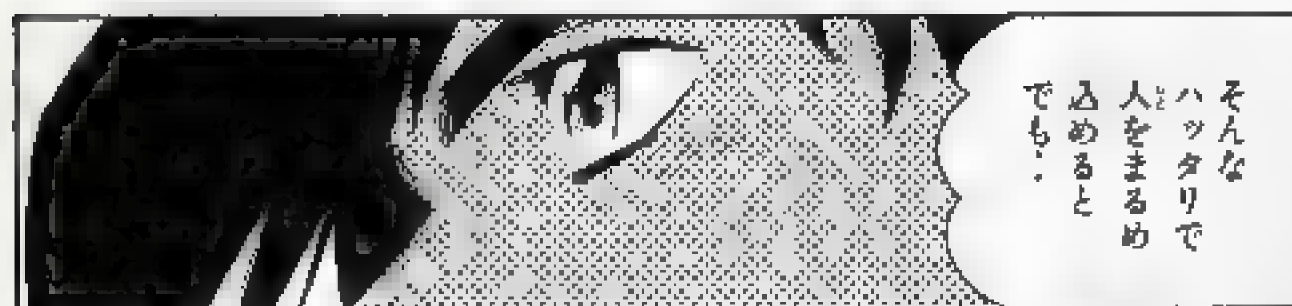


俺がホームラン打って27個三振とりゃ、それで終わりさ。

おめえらマジでただ突っ立っててくれりゃそれでいいんだよ。



何言ってんだ
おまえはァ
神奈川の
高校野球のレベル
ぐらい俺達だって
知ってるぜ！

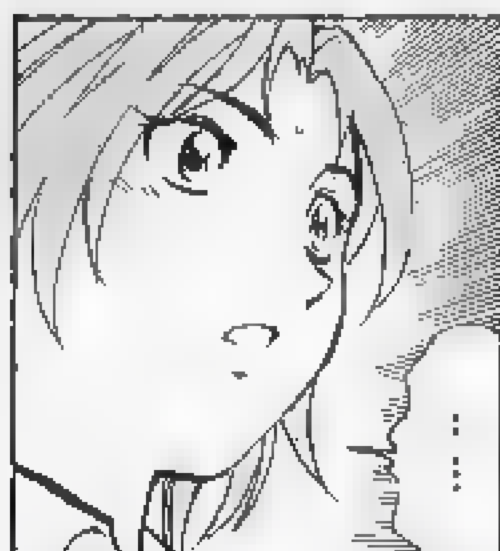

ハッ


そんな
ハッタリで
人をまるめ
込めるとでも・・



…笑ったな。
……

じゃあ、
それを証明
できたら
野球部入って
くれんだな!?








薫〜〜〜
電話よ〜〜〜〜
え〜〜〜
誰え!?
ちょうど今お風呂入るとこなのにィ。

第2話 無謀な賭


茂野君って男の子よ。


え!?


後でこっちからかけ直すって言っとこうか?

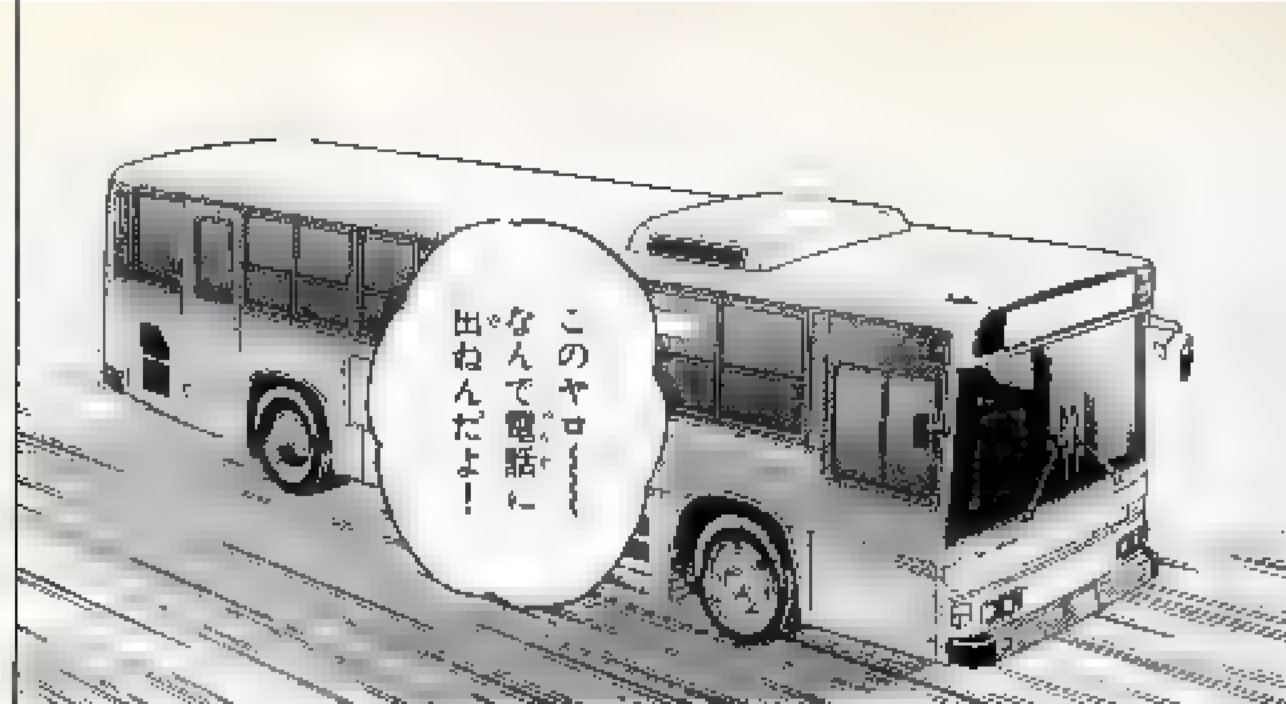

……


ん〜ん、
2度とかけてくんなって言っといて。




第2話
無謀な賭


DRAMATIC BASEBALL COMIC
MAJOR
メジャー


このヤロ～～～
なんで電話に
出ねんだよ！


俺が何したっつうんだよ！


あれ？
今日は恋人と一緒じゃないんだ？

4

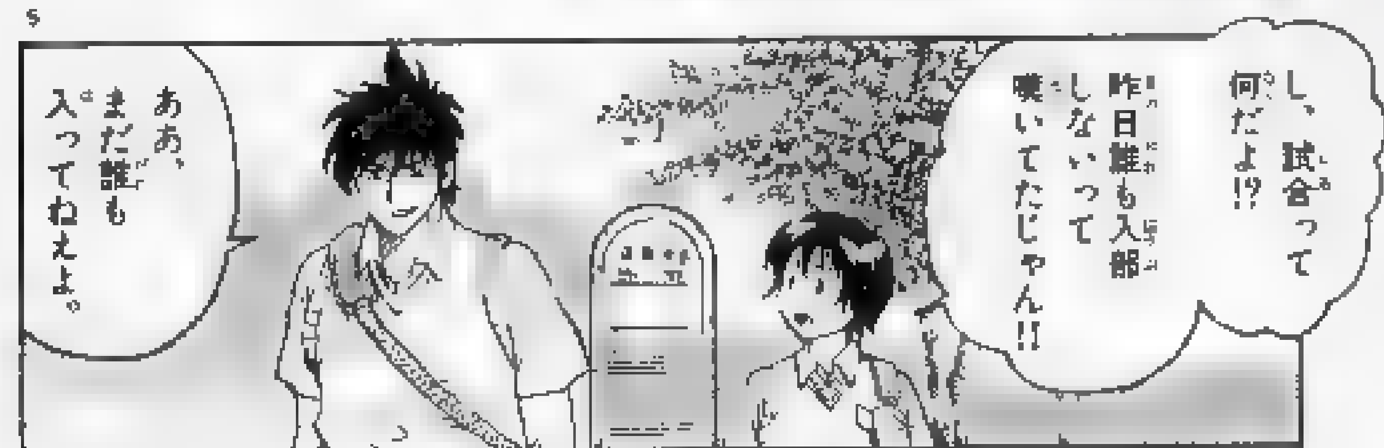

だ、誰が恋人だ!!
あの女が勝手にマネージャー気取ってるだけだ！
それにしちゃ巨乳に顔うずめてずい分御機嫌だったけど。


うるせえな、それより俺はそんな話するために電話したんじゃねえ！
おめーに頼みたいことがあるんだよ。
え？

え!?
あたしがキャッチャー!?







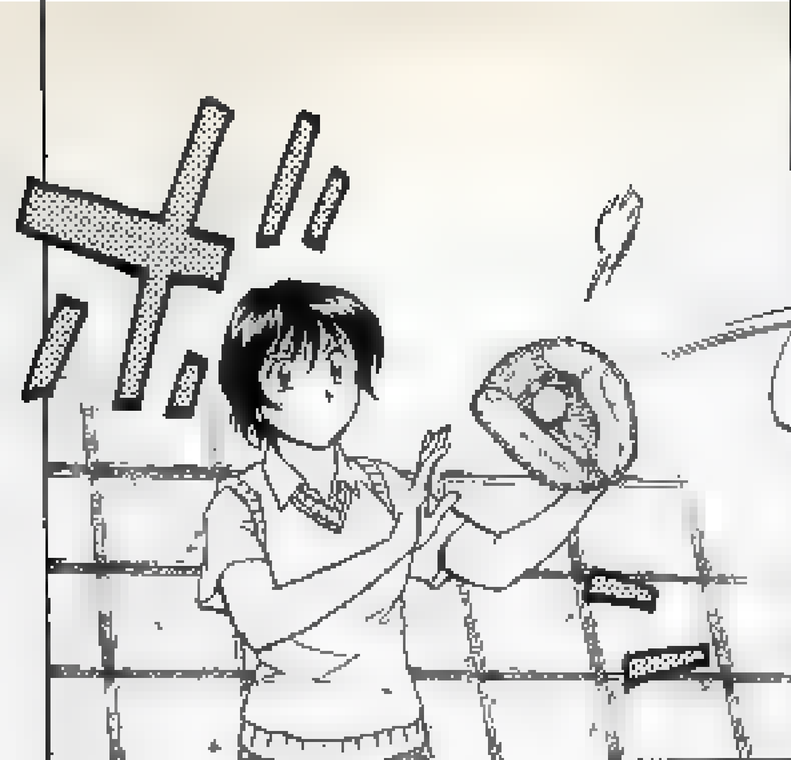






昼休み






おっしゃ、そろそろ座っていくか。
お、おう。


とりあえず軽くだぞ軽く!
ソフトやってても、あたしゃ硬球捕るの久し振りなんだからな!

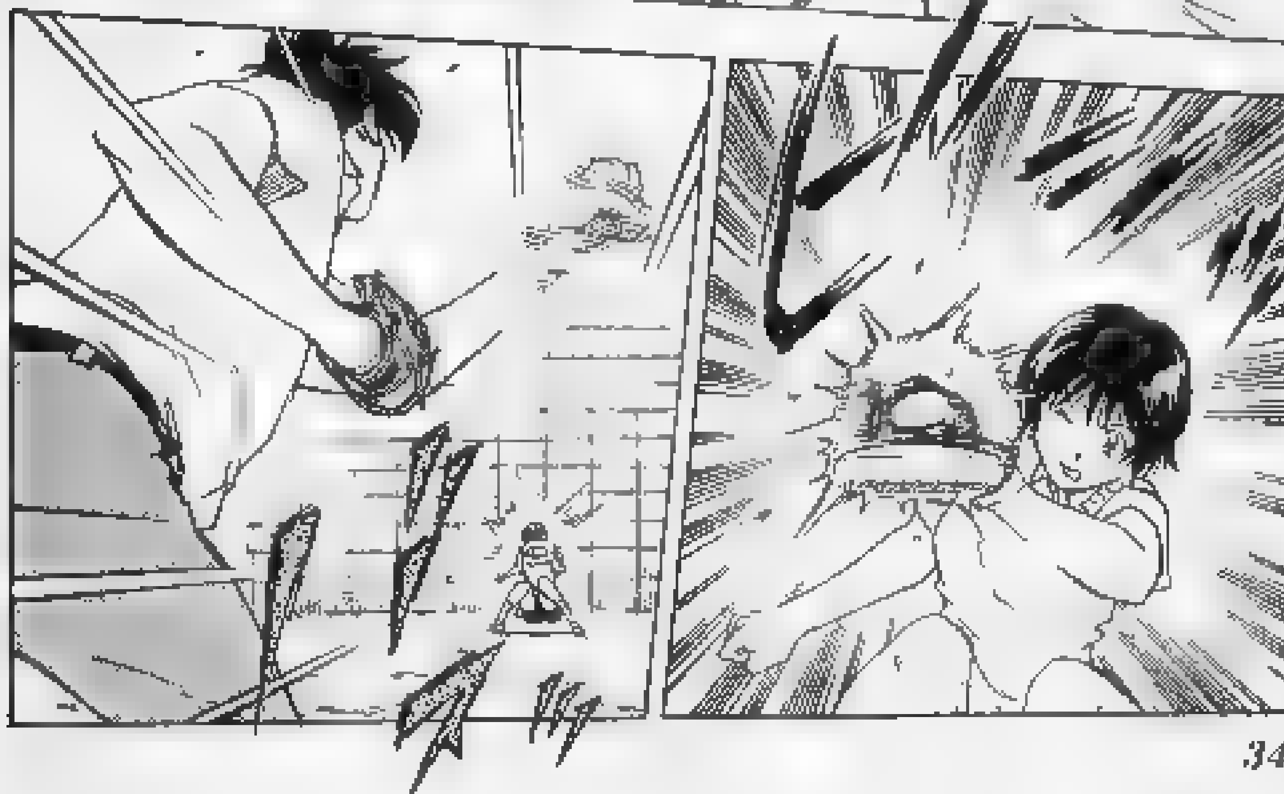

ああ、わかってるよ。
行くぞ。

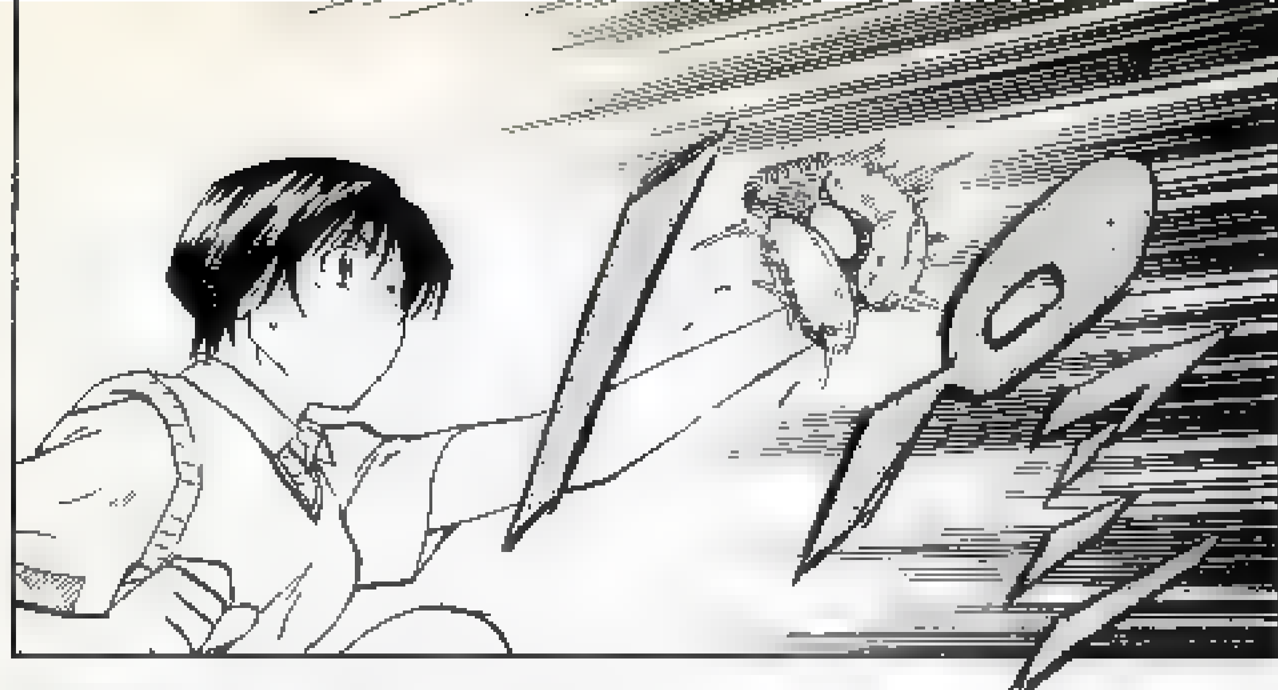
……


おうっ、さすがだな清水!
楽勝じゃん。
ビリビリ
あいつて〰〰っ。


あの野郎〰〰軽くって言ったのに!
こりゃ気合い入れて捕らねえと、マジでケガするぞ!



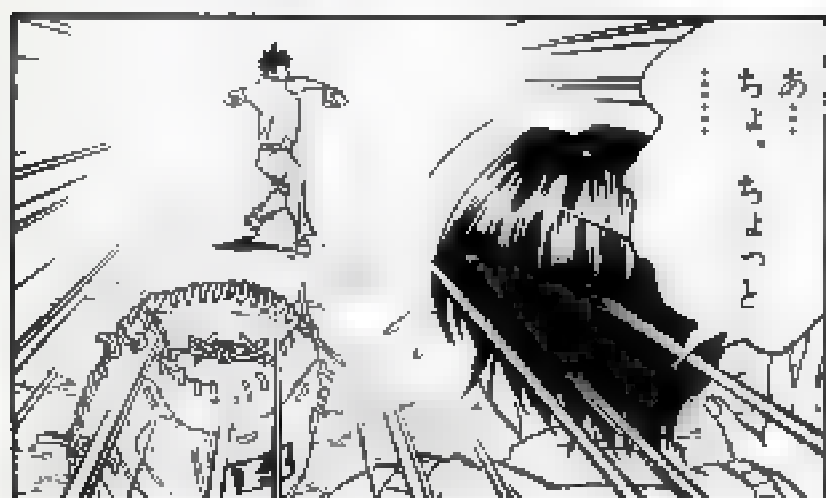




オッケーイ、
ほんじゃま、そろそろ本気でいくかな。

え⁉

う・・うそ⁉今までのは本当に軽く投げてたってのか⁉

いくぞ〜〜〜〜

あ・・・ちょ、ちょっと・・・・・



12








こいつ、しばらく見ないうちに――
海堂でまたとんでもねえ次元にレベルアップしてる・・・!!


・・・

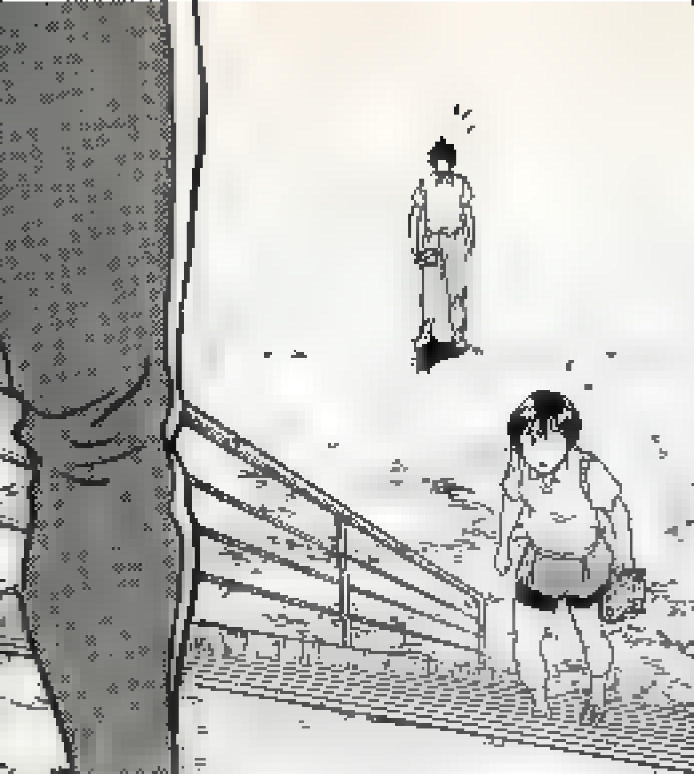

!


お、おいどこ行くんだよ!!
お前まさか、今のにびびって・・


びびるに決まってんだろ!
マスクぐらいつけねえと死ぬっつーの!!









14





見ててくれ薫ちゃん。

君にアドバイスしてもらってやった特訓の成果を今から奴に見せつけてやるよ!!

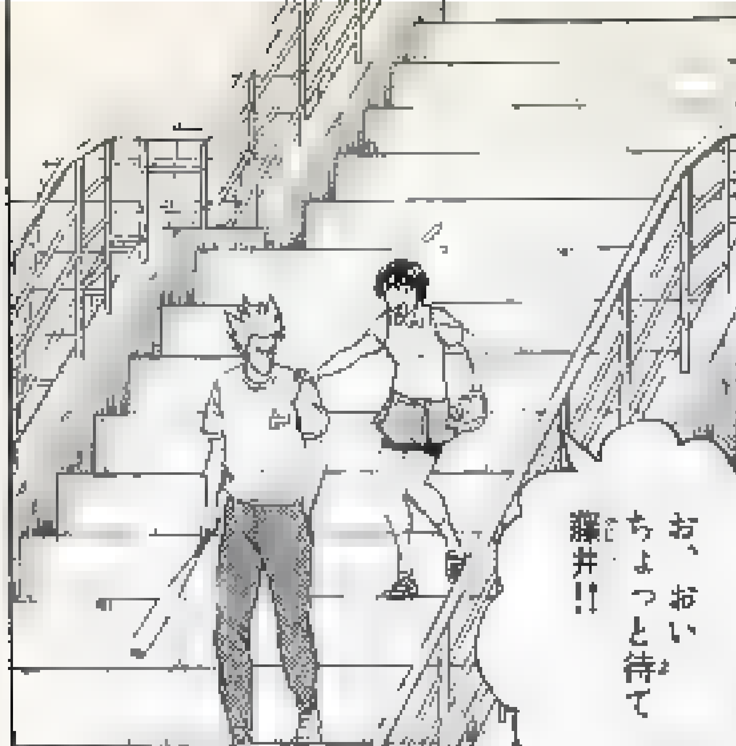


6

勝負だ、茂野!!

今の俺はこの前みたいなわけにはいかねえぞ!!

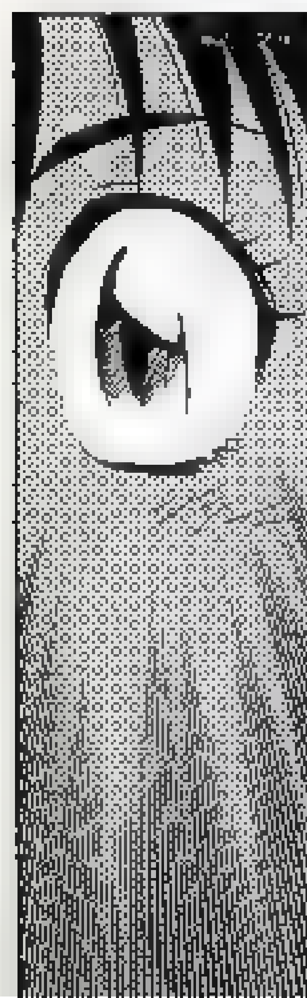

ああっ!?

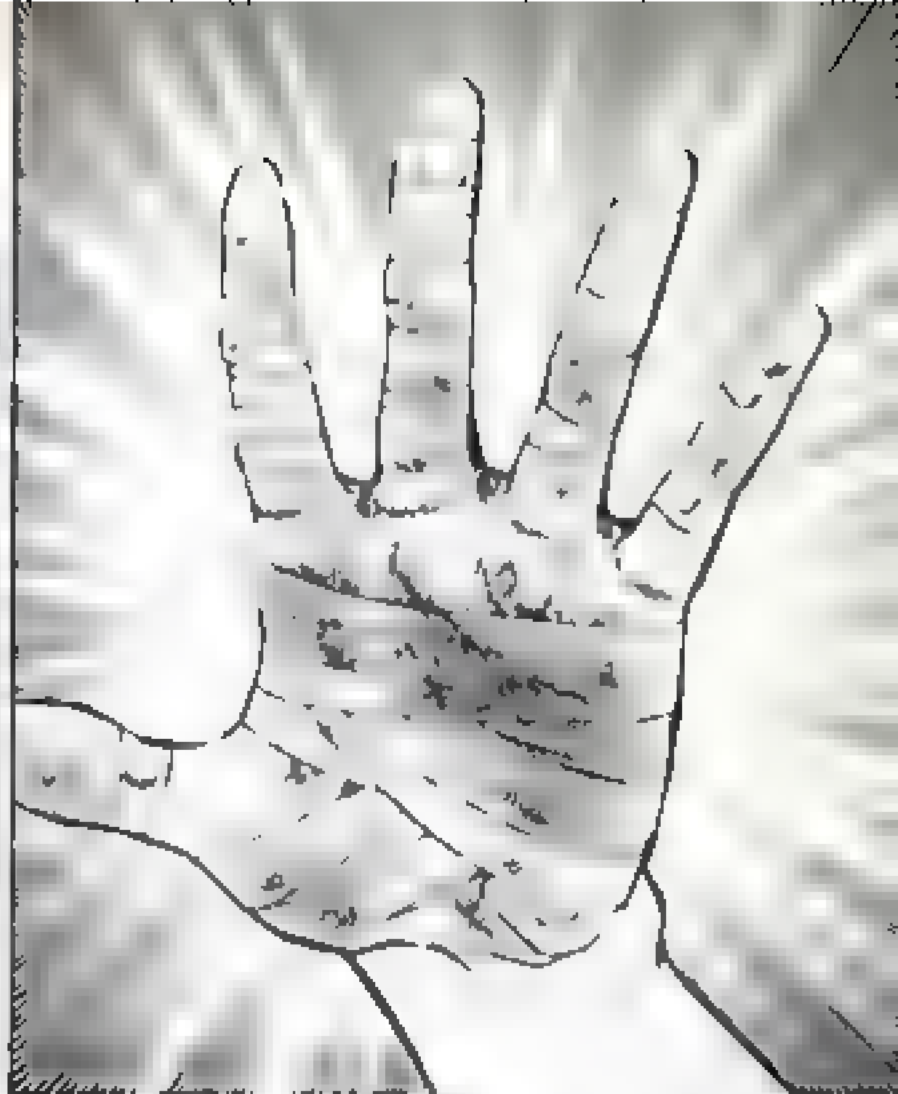

お、おい
ちょっと待て
藤井!!

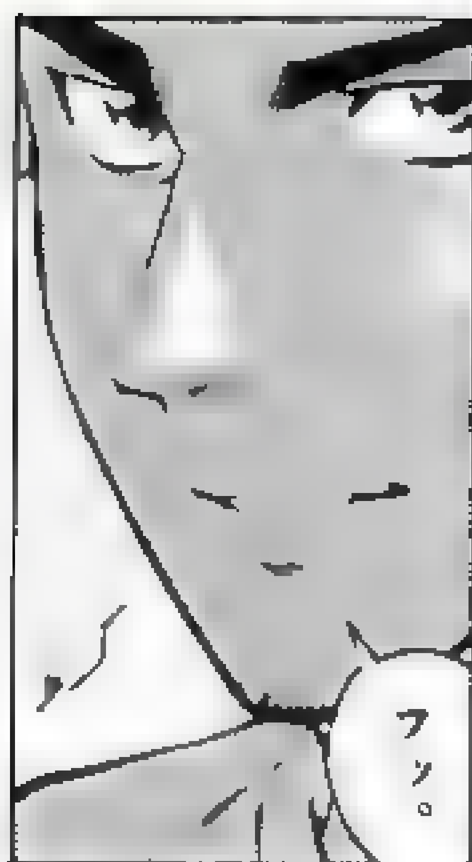

そりゃ確かに、この前あんたにバッティングやピッチングのコツアドバイスはしてあげたけど……
あんなもんであいつにりベンジできるわけねーぞ!

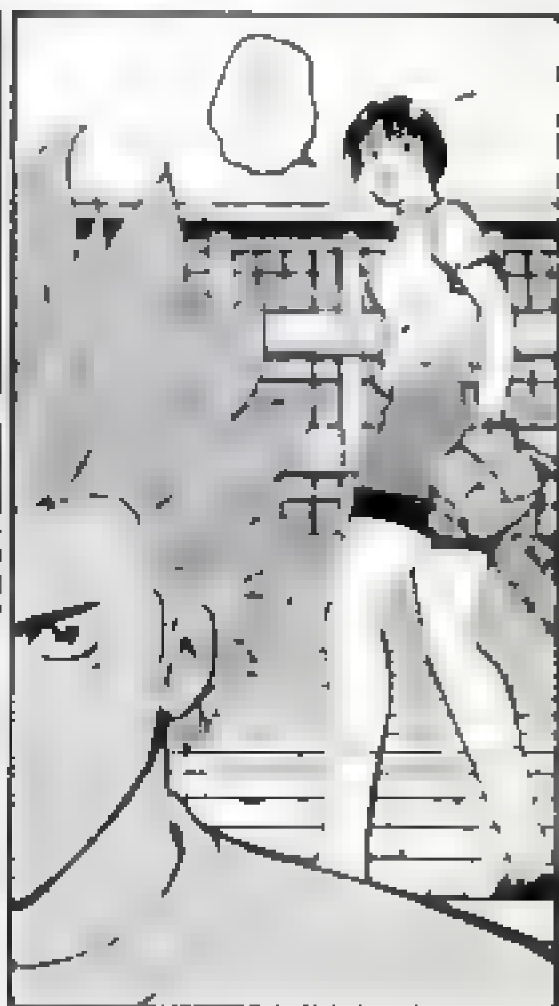

あいつはその辺の野球部員とは・・








フッ。




なんだよ、
またノーコン
空振りだけの
インチキ勝負
しようってのかゃ

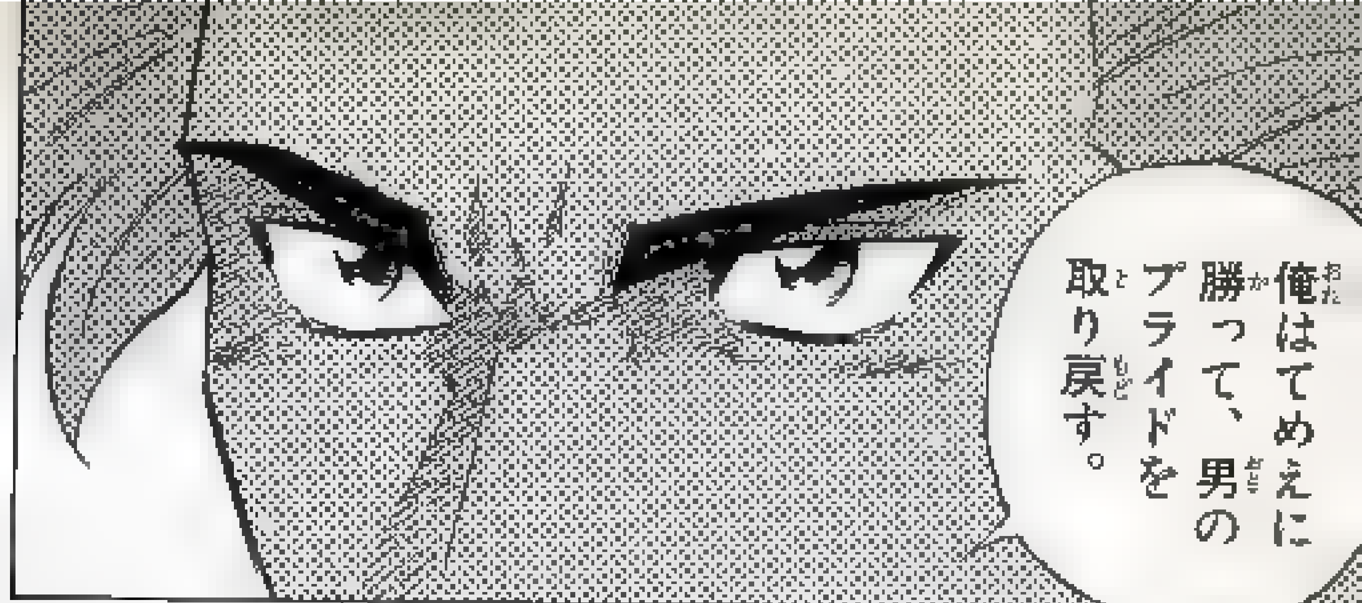








この前と
うっ
つったろー



だがもし負けたら——
今度はおまえの望み通り野球部の一員になってやるよ!!




第3話
さあな

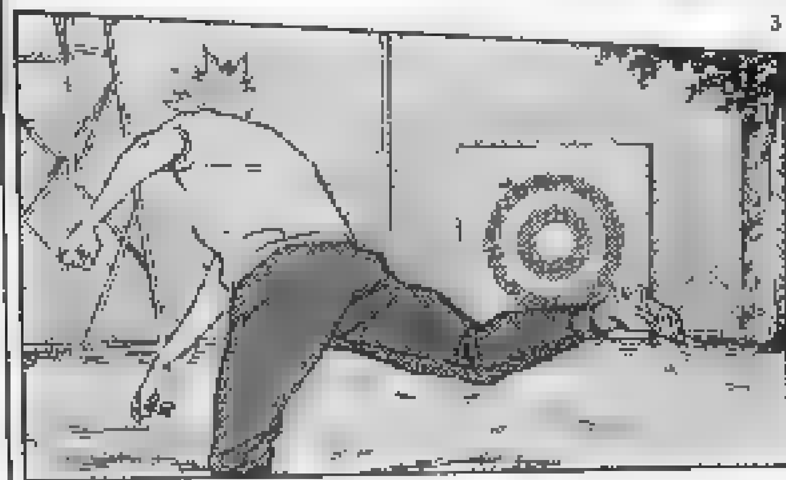



勝負はこの前と同じ。
10球でお互い、相手より多くいい当たりを打った方が勝ちだ。

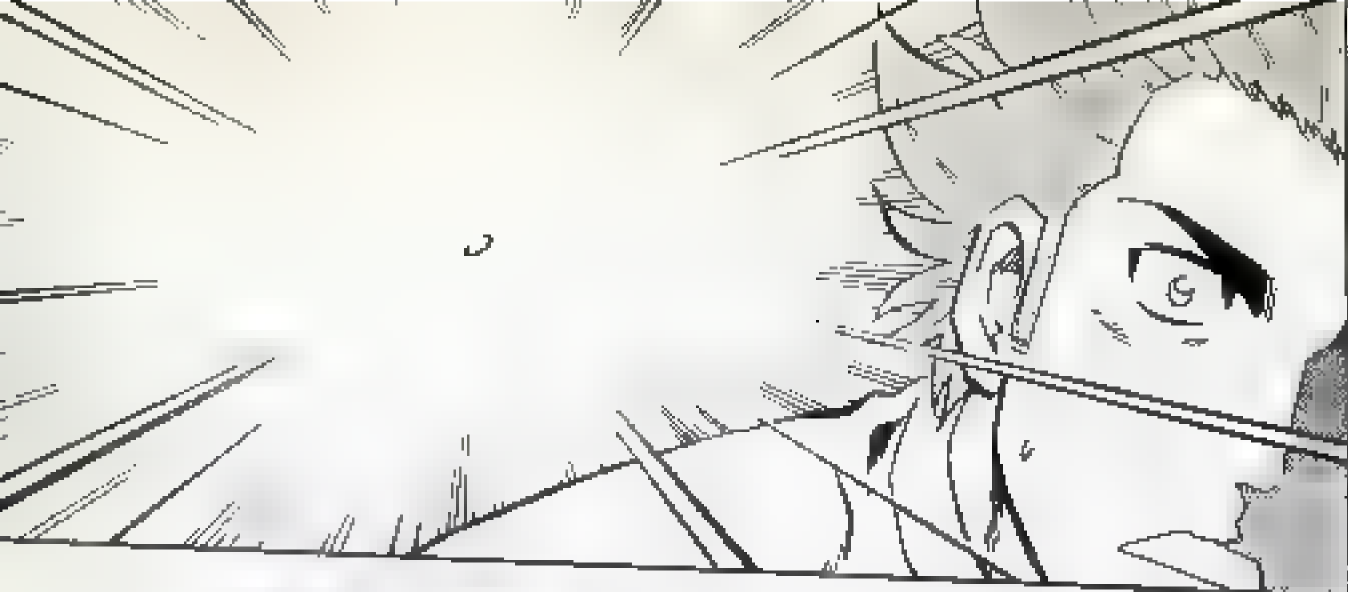

いいな!!
あー わかった わかった。いいから 早く投げろ。

……。

このヤロ〜〜〜 ド素人だと 思ってバカに しやがって……


この前の 俺とは——


違うんだよ!!







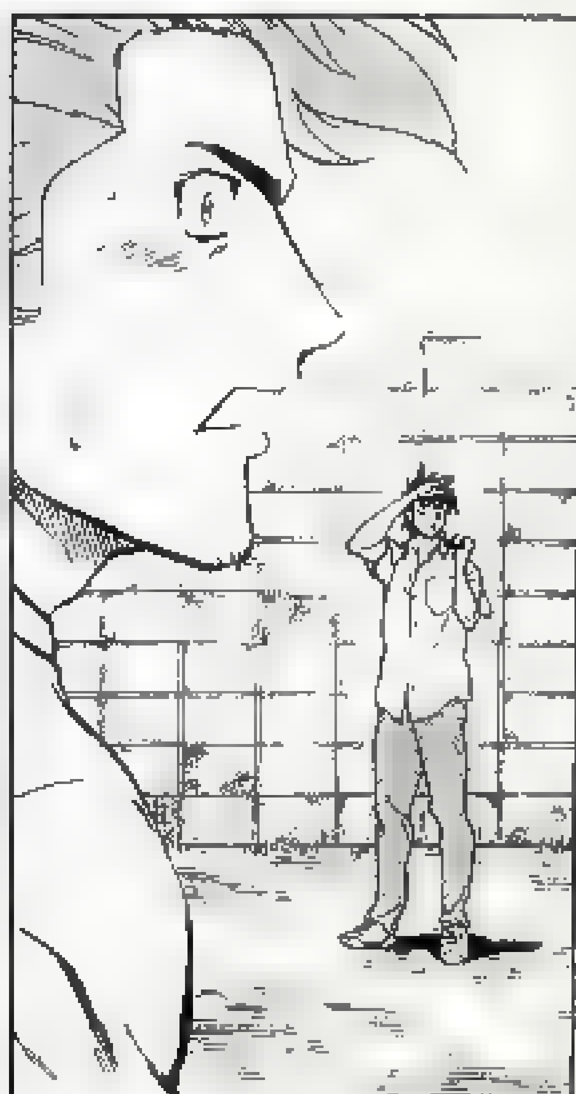


5






早く拾って来いよ、
まだ6球残ってるぜ。




それとも、もう俺の勝ちでいいか?


う、うるせえ!! まだ終わってねえ!!


無理だよ藤井 実力が違いすぎるよ。



ちっきしょおおおおお!

あ、いけね。





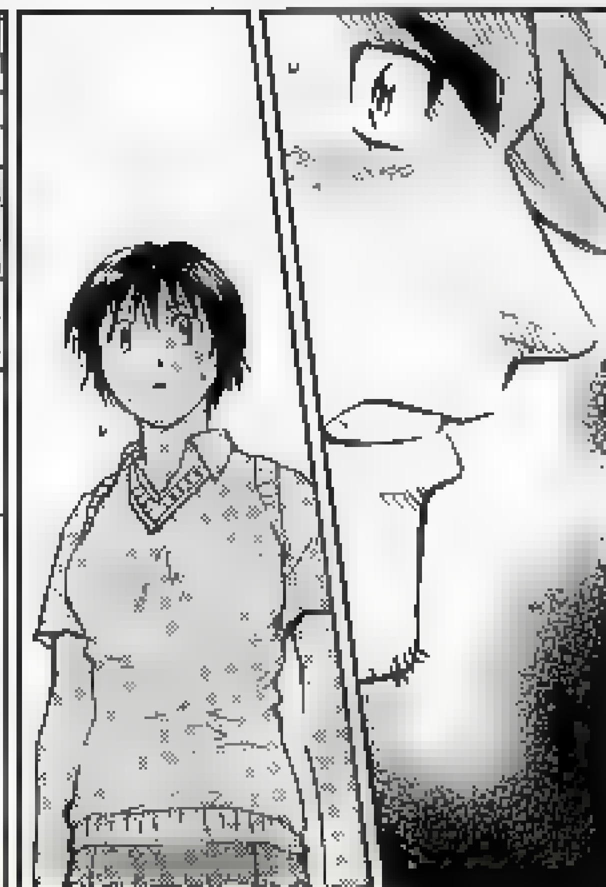








9



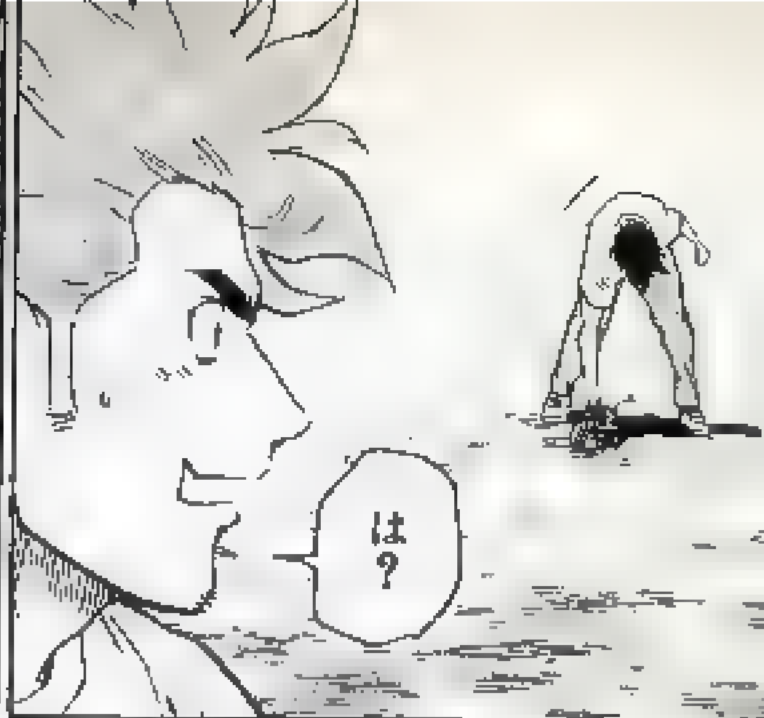








10







2






はい
おしまい。
俺の勝ち
〜〜〜〜


ま、待て!
まだ終わってねえ!!

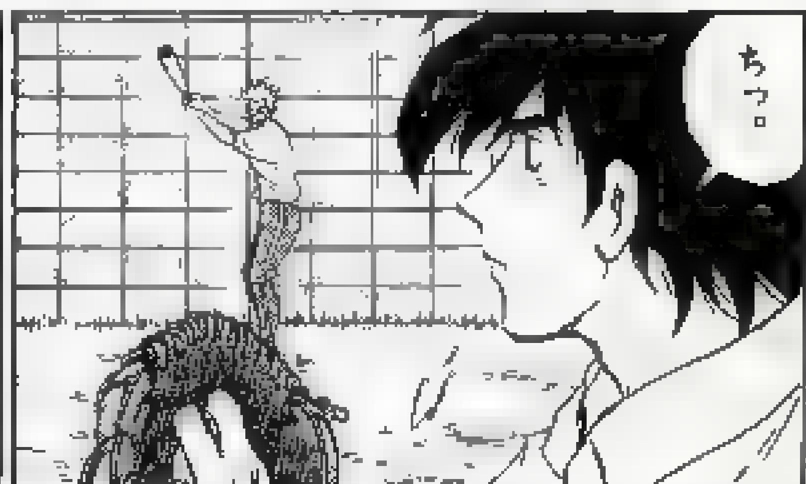

終わったっつの。
おめーじゃ、俺の球にはかすることもできねーよ。


……………


投げてやれよ
本田。

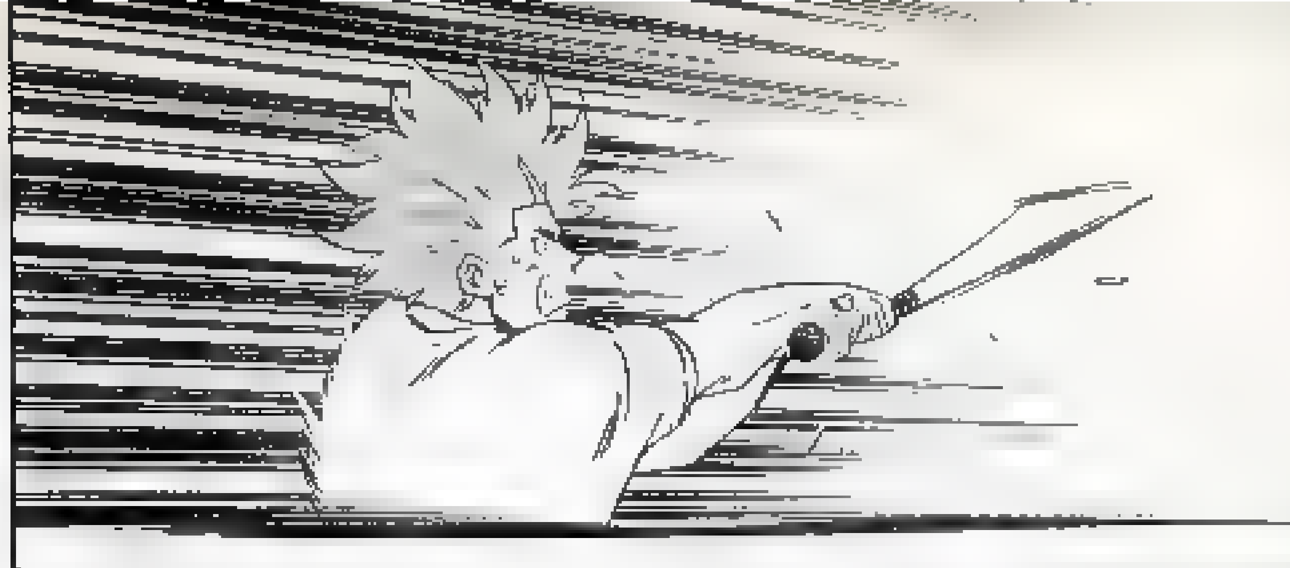

いいから10球だけ投げてやれよ。





ちっ。




わてっこ
ねーだろ!







18

















野球やれよ。




……ああ。






最後力抜いたろ。


さあな。



第4話
山田一郎




理事長室


え!?
練習試合!?


ええ…なんで早速相手とユニフォームを調達してもらいてえなァなんて…


試合って…
男子はあなたを入れても8人しかいないのにどういうこと!?


まだ部として正式に承認もしていないのに、ユニフォームなんて用意できませんよ。

じゃあ、今承認してくれていいですよ。

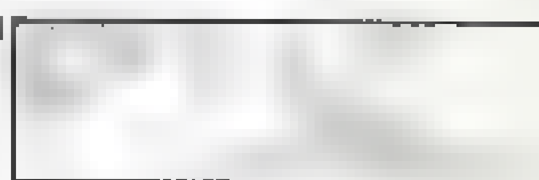


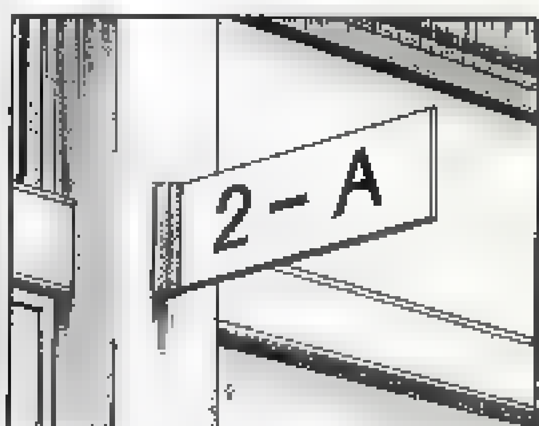
…

…わかりました、部は承認しましょう。

でもそうなると、
一生徒のあなただけに任せるわけにはいきません。


野球部の顧問を用意しましょう。




2-A


おーい、誰かキャッチボールやんねえ?


ああ?


ああ、俺も茂野と野球やることになったからよ。
何!?


どーせおまえらも野球部入るんだろ?
キャッチボールでもやろーぜ。


ああっ!?誰が野球部入るなんて言ったんだよ!?


え!?違うのか?茂野がそう言ってたぞ。

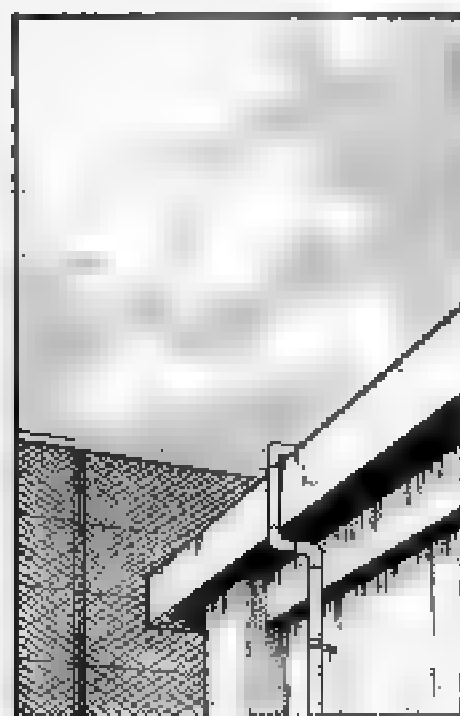

試合で奴が27個のアウトを一人で取れたら、おまえら全員入部するって約束したんだろ?

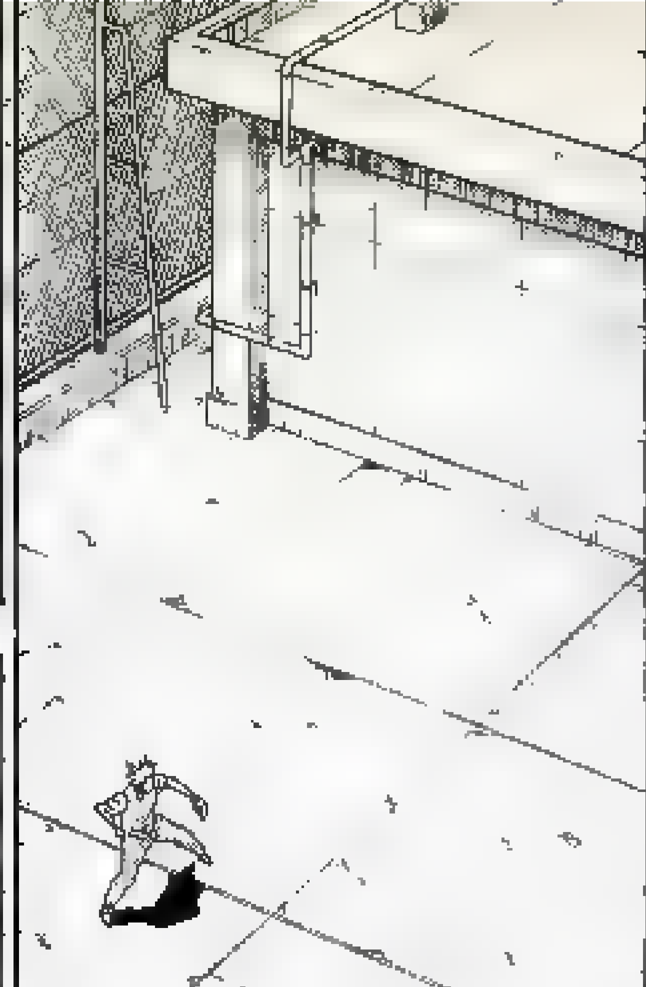

ハハハハハ。
だからそんなことできるわけねえっつってんだよー
おまえまでそんなセリフ真に受けたのかよ!?

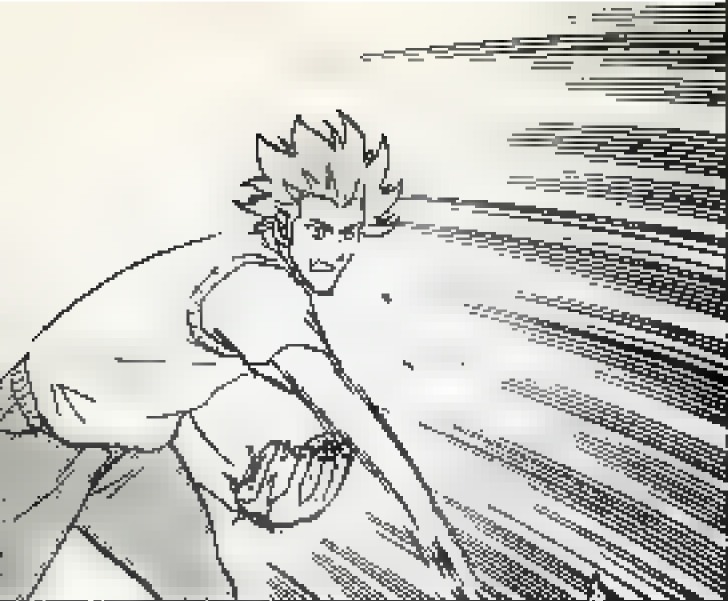


そうか・・おめーら、まだ奴の球見てねぇのか。

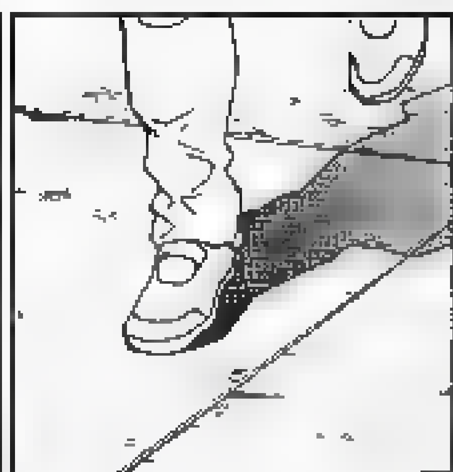
ありゃすげーぞ。
その辺の高校なら、マジで軽くノーヒットノーランやっちまうだろーな。

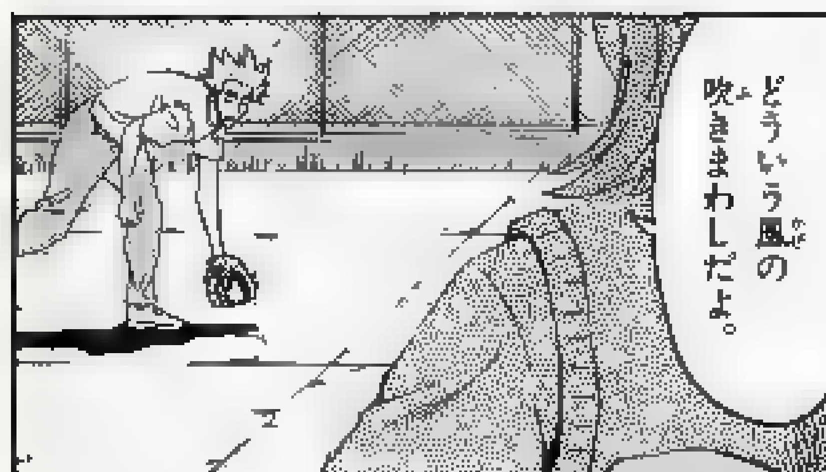
何!?




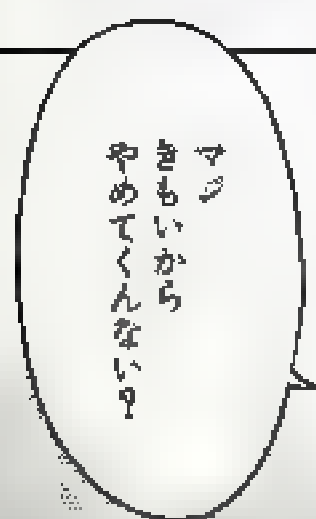


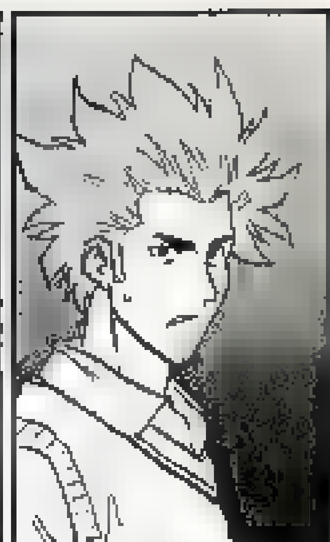

ゴッ



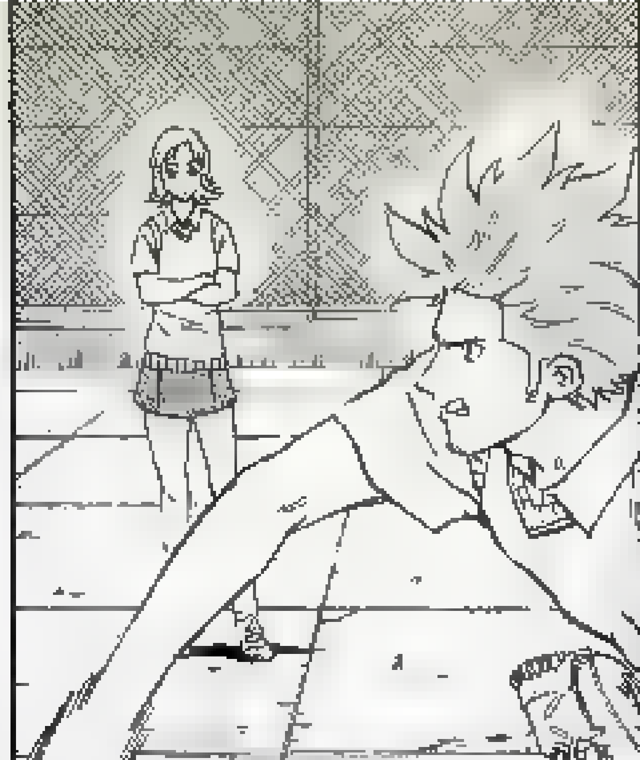

どういう風の吹きまわしだよ。


今さらおまえがスポーツマン気取ろうって!?


マジきもいからやめてくんない?




関係ねえだろ。






関係あんだよね。
野球部にはあたしが先に入ってたんだから、いい迷惑なんだよ。

8



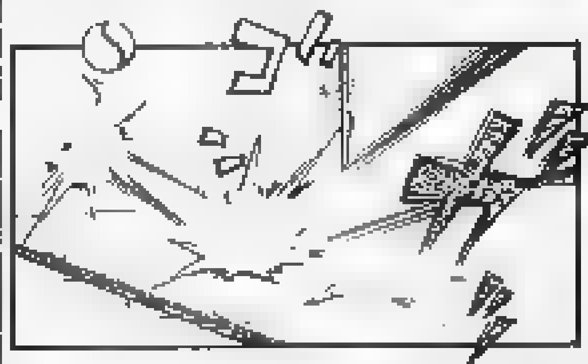


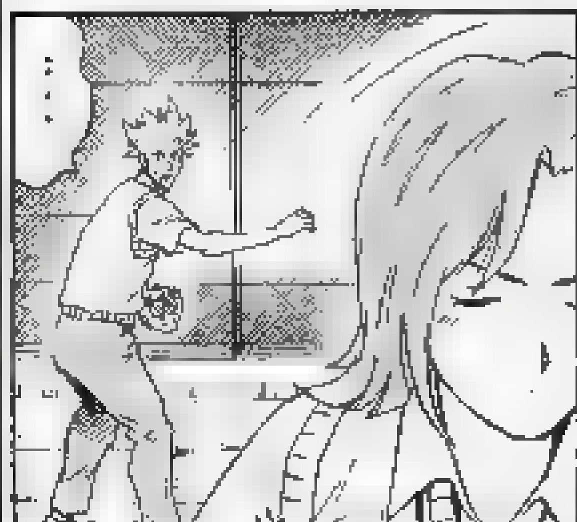

そんなに俺の顔が見たくなけりゃ、おめーがやめろよ。
そっちこそ、運動部のジャーマネって柄じゃねえだろ。

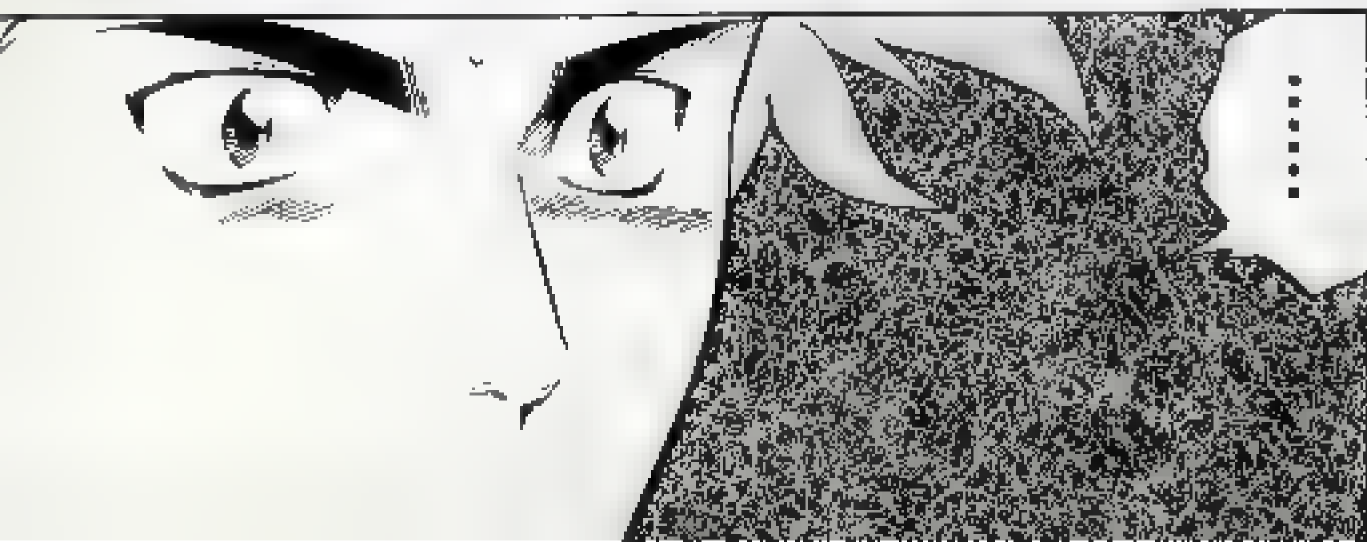
いつからあたしにそんなでかい口叩けるようになったんだよ。

もう時効だと思ってんなら大間違いだよ。

あたしは一生あんたを許す気ないんだからな！





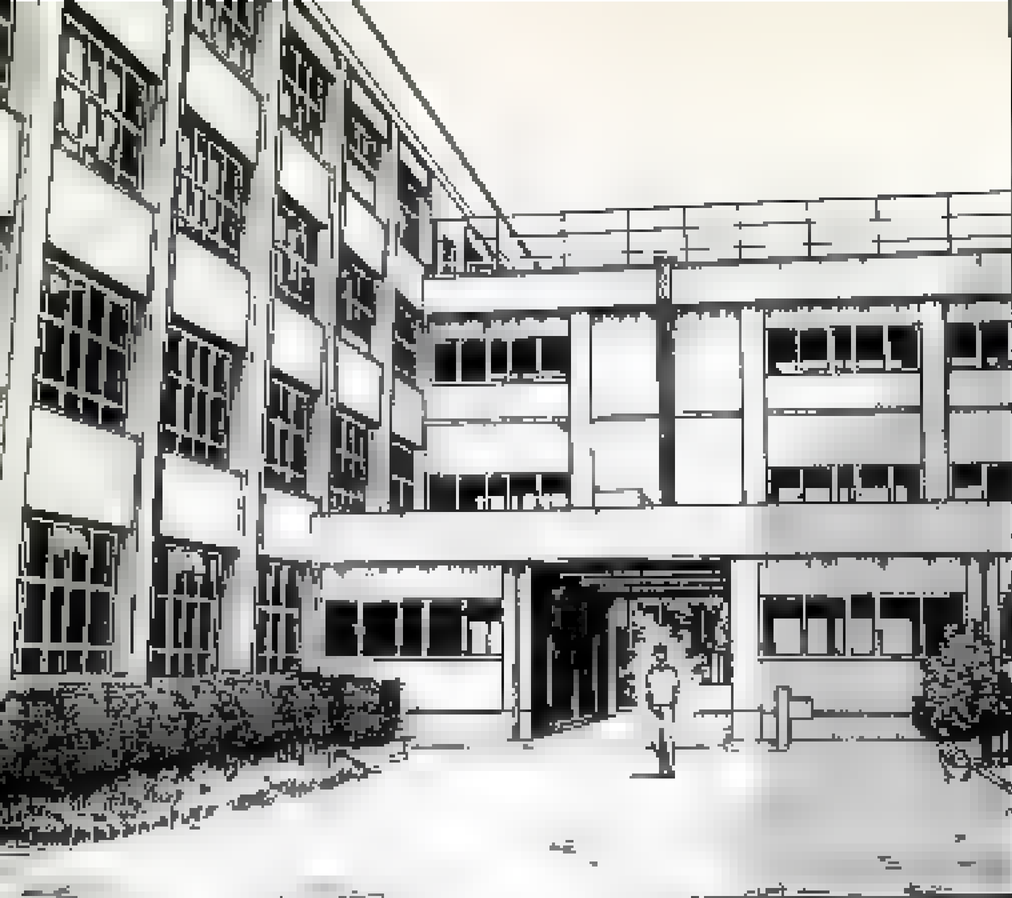


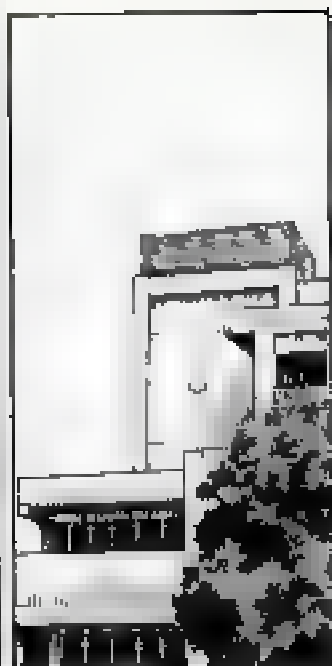
教員室

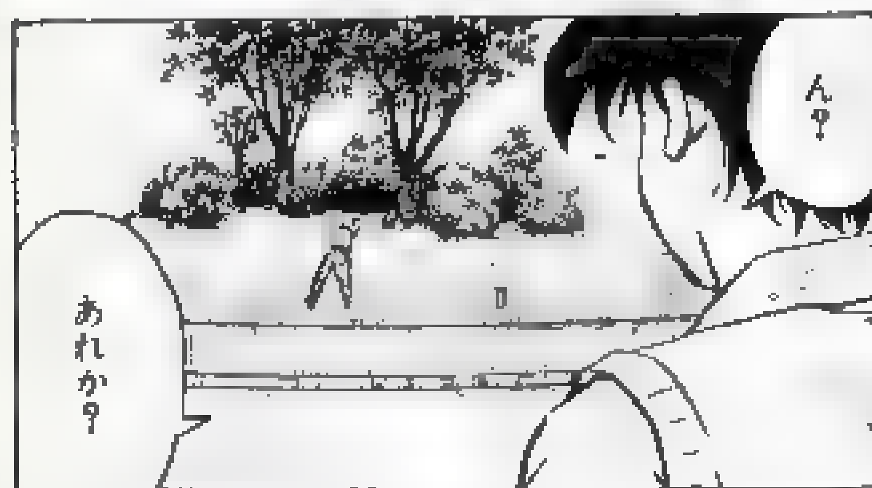

あ〜すみません。
ん？


山田先生っていますか？
山田？
ああ、英語の山田君か。

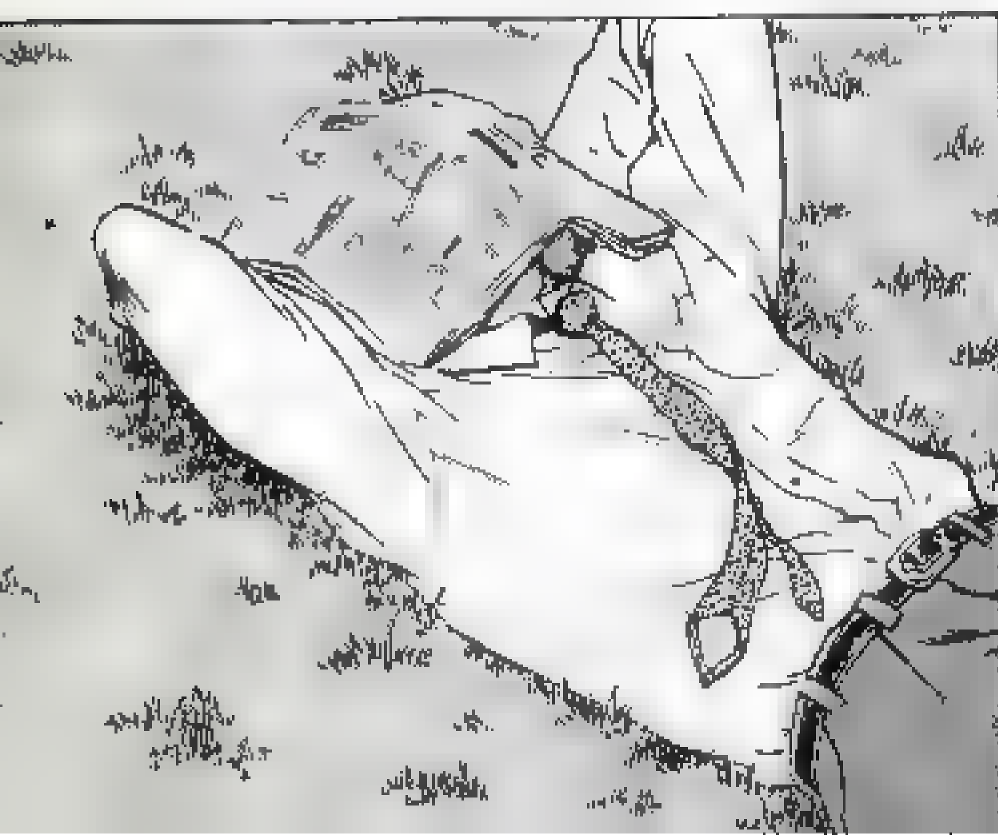

ちょっと席はずしてるみたいだね。
ああ、そうだ。彼なら多分中庭で昼休みとってるんじゃないかな？
あ、そっすか。

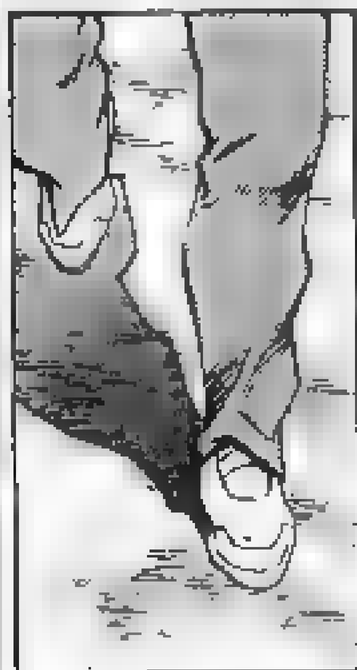





ん?
あれか?







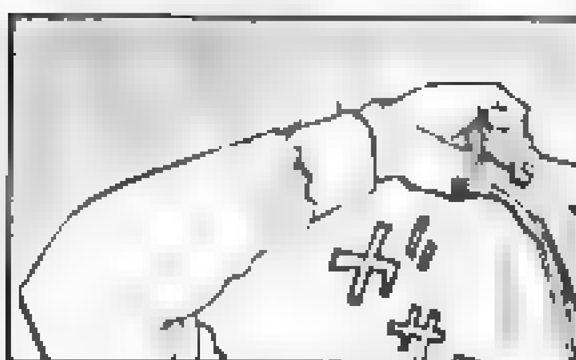

芝生内
立入禁止


っ


何か御用ですか?


え…!?


あ、いや もしかして 山田先生って あんたかなって 思って…


ガサ



いかにも私が山田一郎ですが?

3






外国人？
私は外国人じゃありません、にほんジン山田一郎でぇす。

う、うそをつけーーっ!!

うそじゃありません。私は日本人の愛する妻と結婚して、すでに日本に帰化してる正真正銘の日本人です。

ま、もっとも元々はミネソタに生まれ育った、スティーブ・ティモシーという名前の白人には違いありませんが。

ま、まあいーや何人でも。
それより、校長から野球部の顧問にあんたを紹介されたんだけどよ。
OH!!

話はうかがってますよ。
あなたがベースボールクラブを作りたがってるというシゲ・ノゴロー君ですか?
あ、ああ。
でも、名前切るとこそこじゃねえよ。
がってん承知しました。
私でよければ、喜んで野球部の顧問を引き受けましょうノゴロー君。




ノゴローじゃねえってんだよ!!

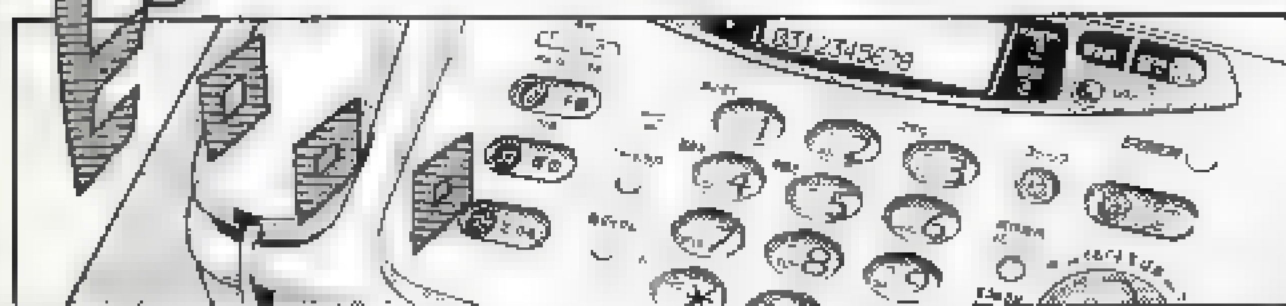

えっ!?山ちゃんが顧問!?


山ちゃんっておまえ知ってんのかあの外国人教師!?
そりゃ知ってるわよ。


白人の英語教師なんて、ほっといても目立つし人気者よ。
面白いし。

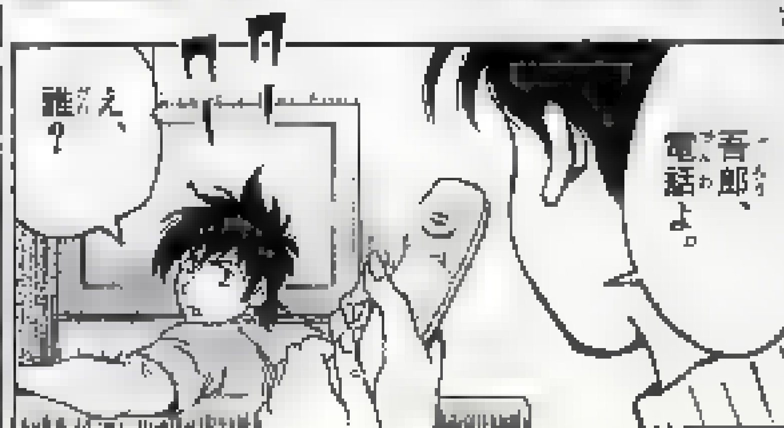

ふーん…
でもあいつ、野球のこととかわかってんのかね。



ん〜〜〜
アメリカ人だから少しは詳しいんじゃない?


はい。

あ、少々お待ちください。

山田って学校の先生から。

吾郎、電話よ。
え、誰?


はいもしもし。
あゴロー君ですか。
何だよこんな時間に!?
違うっつの!


君が頼んでた練習試合の相手を早速決めてきました。
え!?


相手は今年夏の神奈川ベスト4・横浜帝仁高校で――す。


な・・なに〜〜〜っ!?

バスのりば

横浜帝仁高校前

第5話 ウォーミングアップ

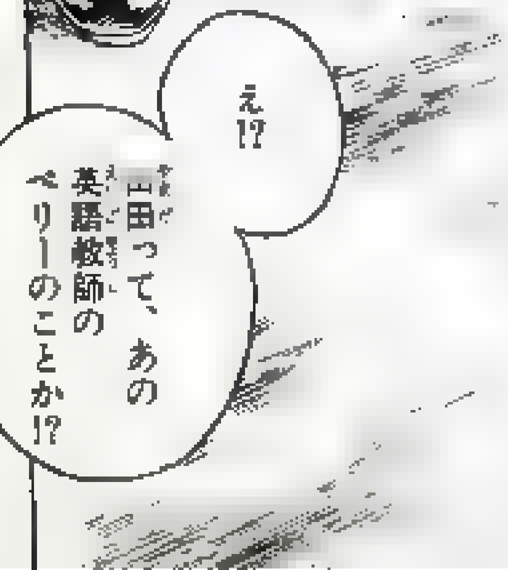










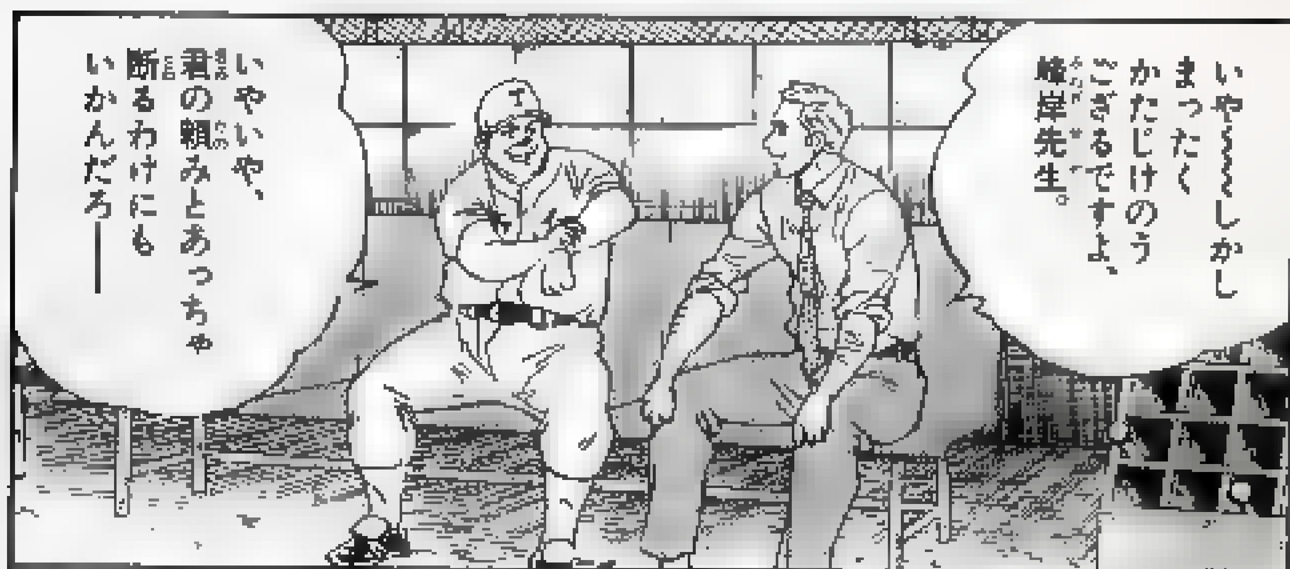


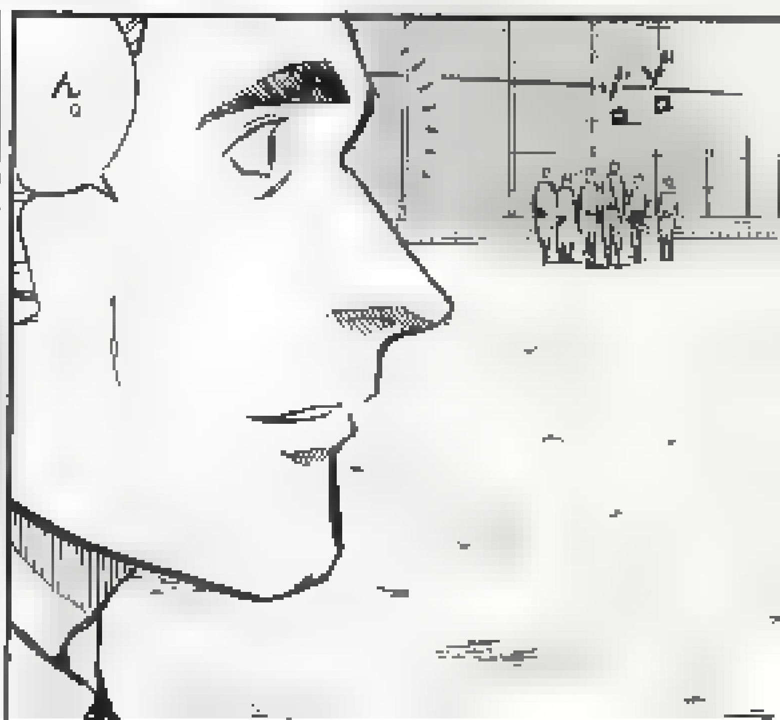




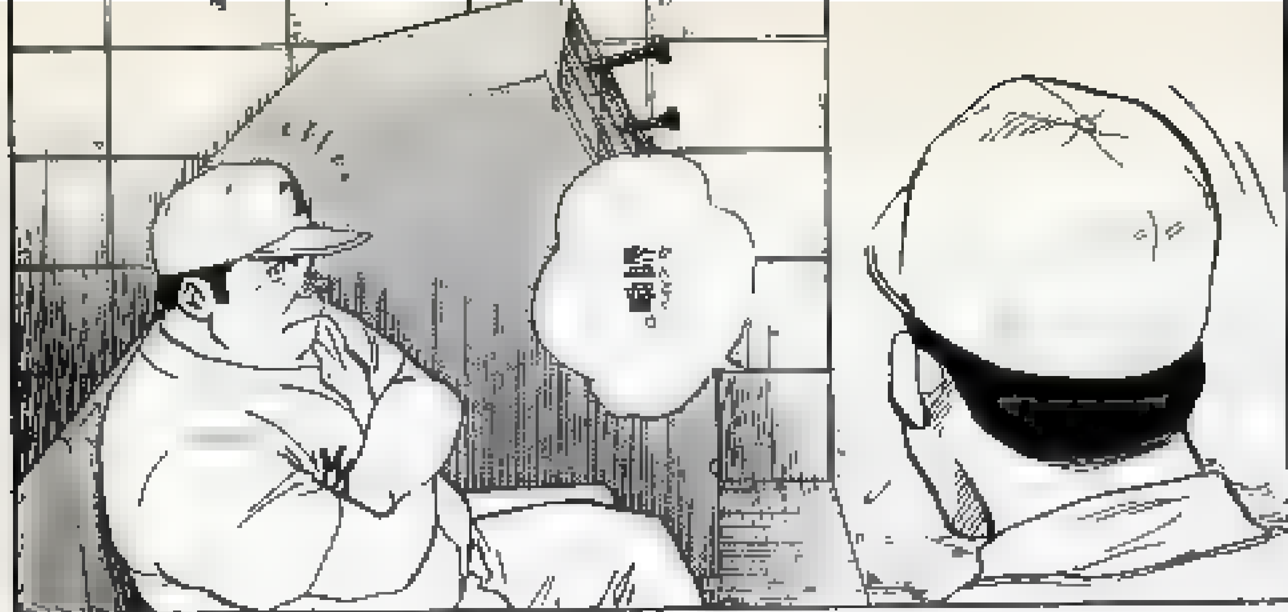
第5話 ウォーミングアップ

あっはっはっはっはっは!!







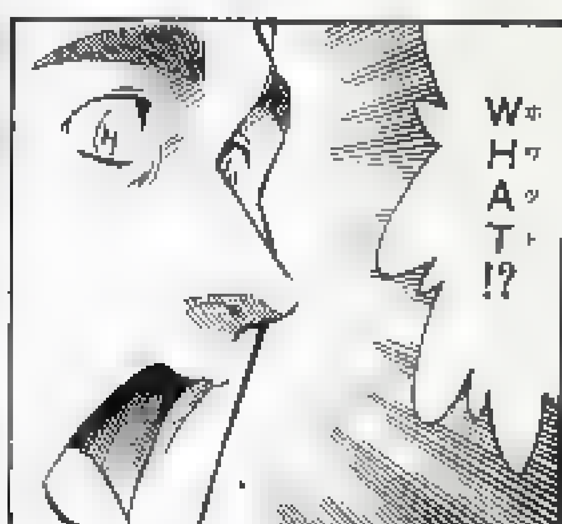

監督。


どういうことですか、急にこんな試合入れるなんて…
困りますよ、今日は昼から川実とも試合入れてるんですよ!?


まあそう言うな。
仕方ないだろ、古い友人の頼みなんだから。
だから川実の前に捻し込んだんだよ。
ウォーミングアップのつもりで軽くコールドでもやってくれ。


しかも、聖秀ってまだ一度も公式戦にエントリーしたこともない学校じゃないですか…
そんなレベルの野球部と帝仁が試合になるわけないでしょう。




WHAT!?


あなた達、野球部員じゃないってどういうことですか!?

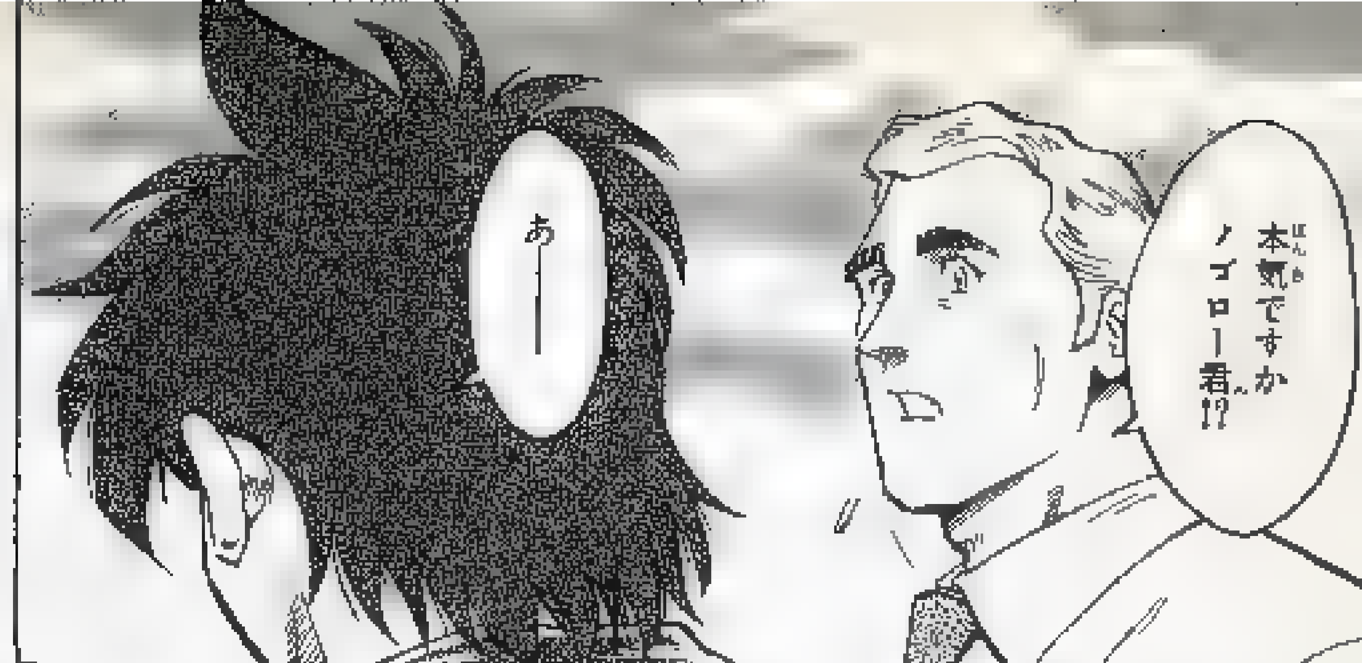

どうもこうもないっスよ。
俺達はただ、賭に敗れる茂野のぶざまな姿を拝むために来ただけですよ。


賭!?


ええ…こいつがふっかけてきたんですよ。
俺達はただ立ってるだけで一切動く必要はない──

誰一人守らなくても自分一人で勝てることを証明できたら、俺達が野球部に入るってね。

え…?一年生のあなたたちもですか…!?
あ、は、はい。
そういう約束で無理矢理今日この場に…


本気ですか
ノゴロー君!?
あー


そうでもしなきゃ、こいつら野球部入らねえからよ。
まあ相手は少し予定外だったが、こうなりゃやるしかねえってことだな。


うっとり


あの〜〜〜
じゃあ
そろそろ
始めますか。

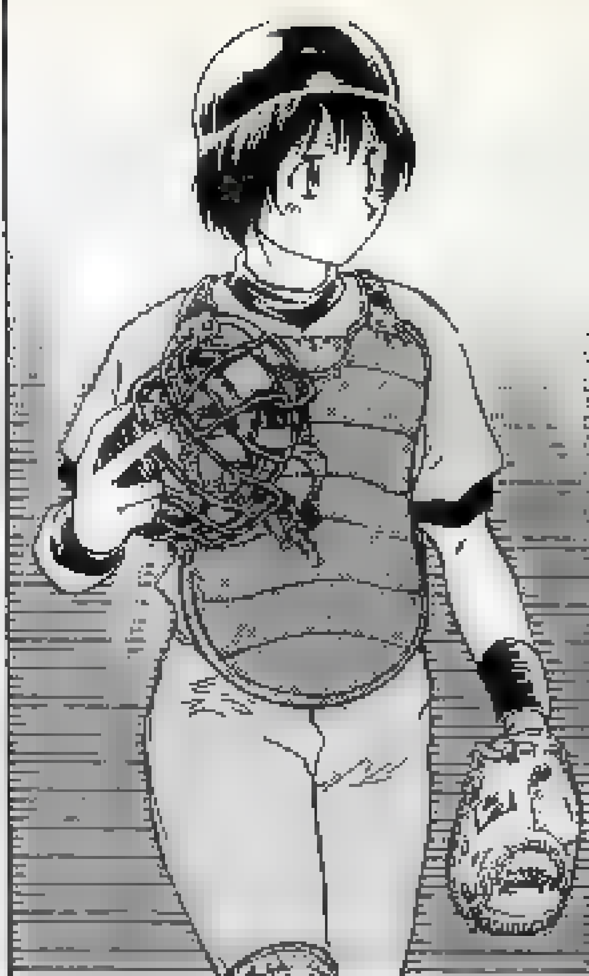



TEAM 1 2 3 4
帝仁
聖秀


おまえ、
どこ守る？
どこでも
いいよ、
どうせ捕る
必要ないん
だろ？

9


おいおい、
あれ見ろよ。
あ？



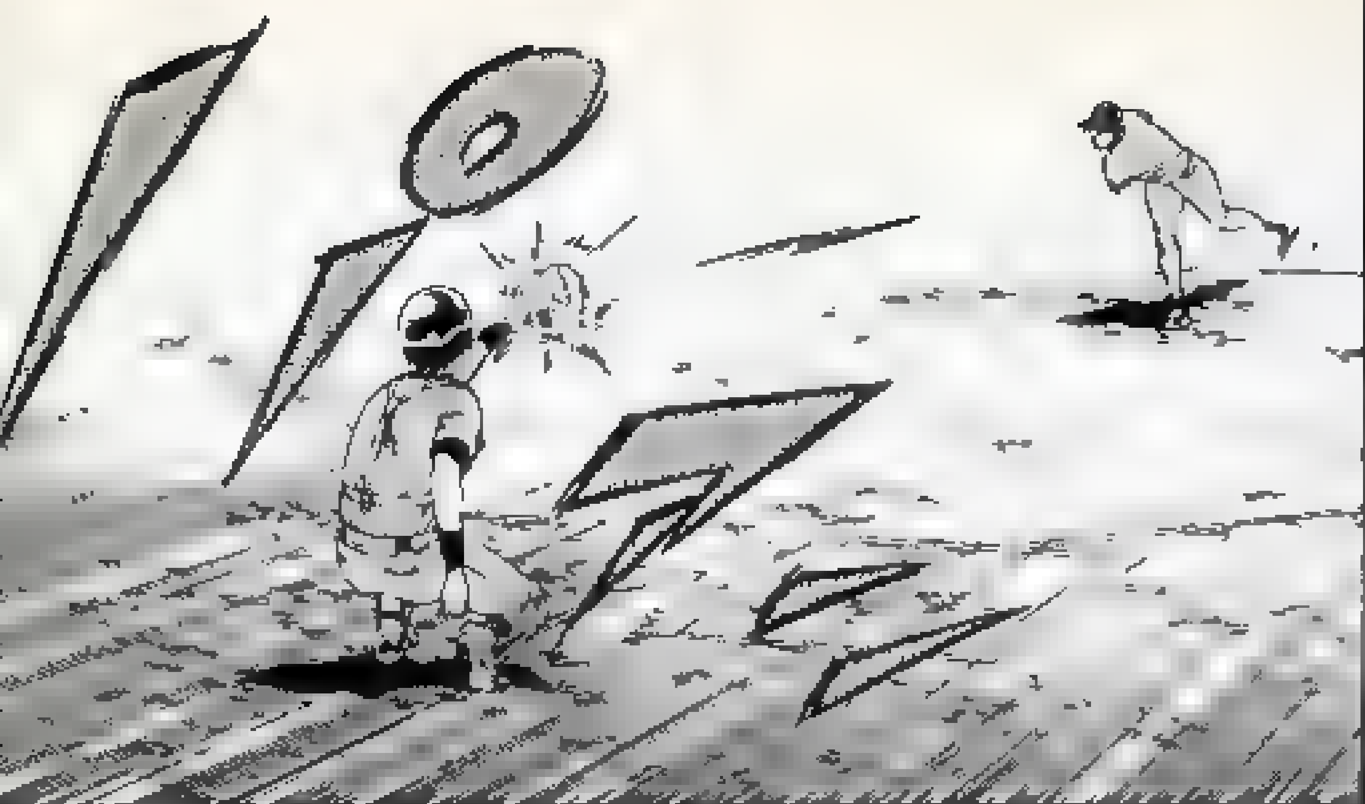

あのキャッチャー女じゃねえのか!?
え!? そんなバカな!


女が野球部員なわけねえだろ。










ほお
お――
結構速い球
投げれんじゃん
あのピッチャー。


打ちごろ
ってやつ
か？
ハハハ。


フン。


頑張って
ダーリ
――――ン！
OH－

プレイボール!!



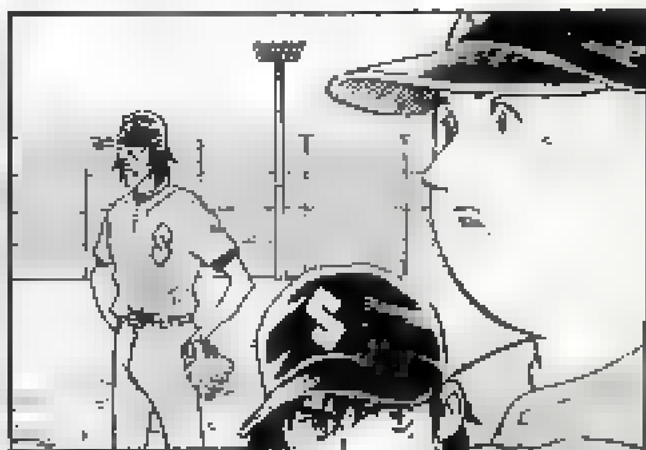




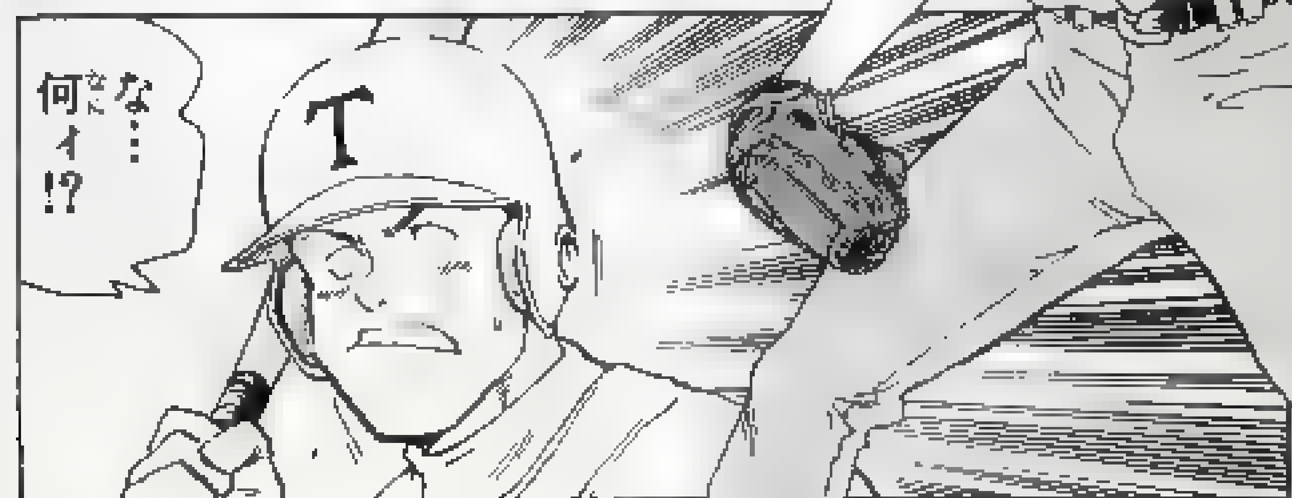








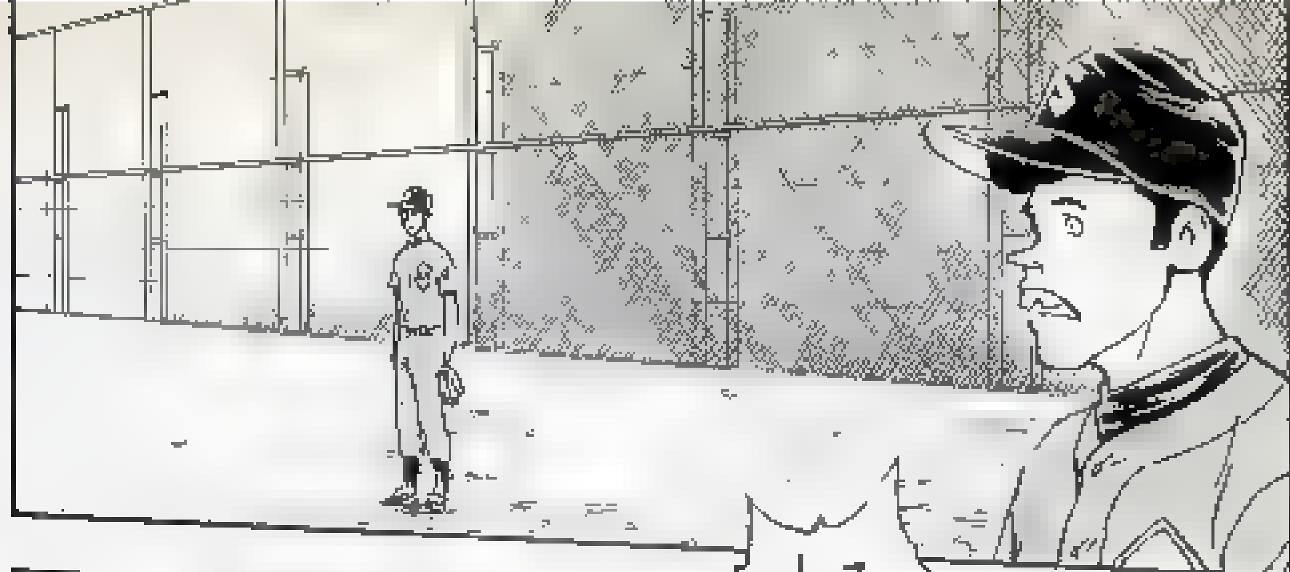

ス…
ストライーク!!


な…
何イ!?




名門だかなんだか知らねえけどよ

所詮、海堂よか
弱えんだろ!?





18

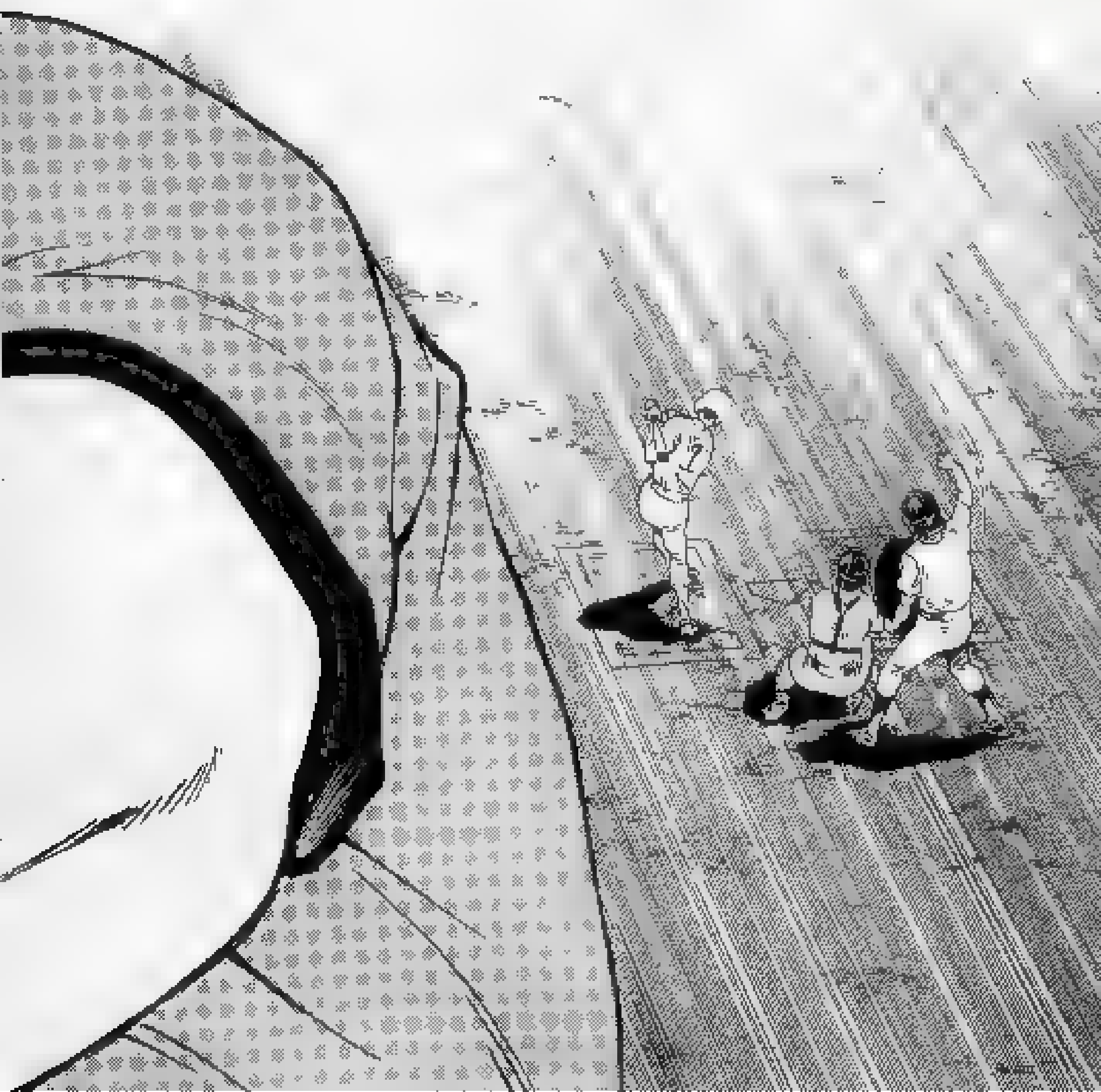
な…

なんだこいつ…!?

見てろ…そこまでは、立ち止まるわけにはいかねえんだ!!


どうなってるんだ!!


聞いてないぞ!
なんで なんか!

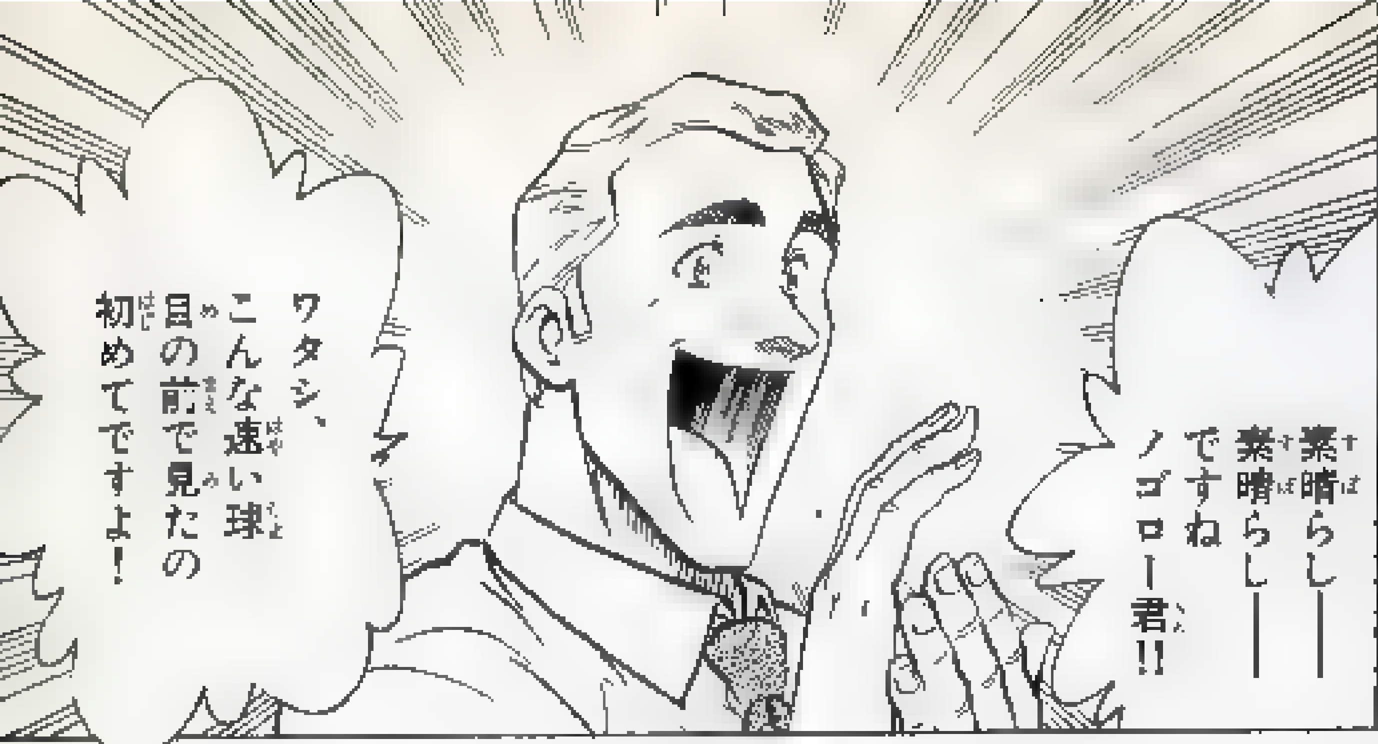

こんなバケモノがいるんだ!!


第6話
すげえな



ストライクバッターアウト!!

スリーアウトチェンジ!!


素晴らし――
素晴らし――
ですね
ノゴロー君!!
ワタシ、
こんな速い球
目の前で見たの
初めてですよ!


いやーん、
やっぱ
ダーリン
超かっこいい
――――っ!
いやあ、
僕はフツーに
生きてるだけ
なんだけどね。


ズキン
ズキン




やべーな、
こりゃ予想以上に
きついぞ。

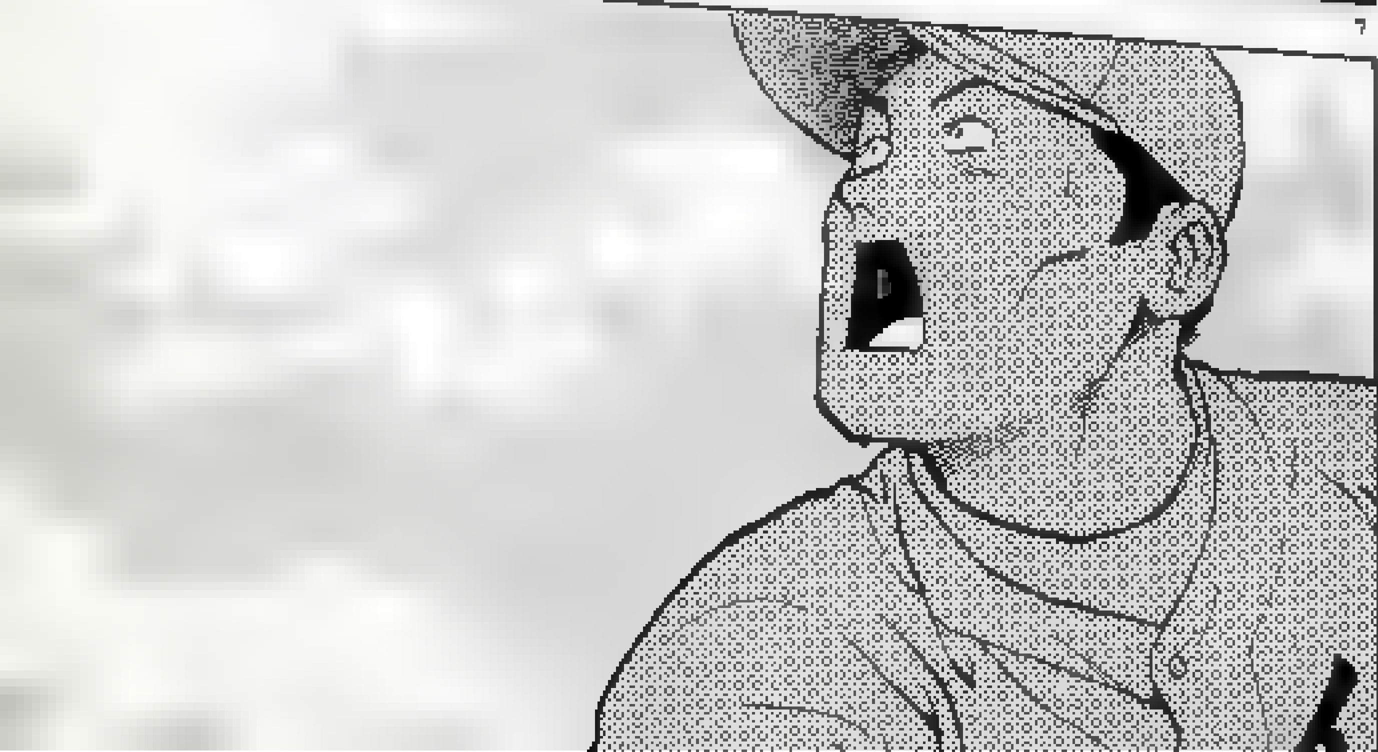






海堂だよ海堂。

奴は海堂と戦うためにわざわざうちに転校してきたんだよ。




ほお!




勝てっこねーよ。
……


え？


おまえ一人で海堂になんか勝てるわけねえってんだよ。




どして？

9


どしてじゃねーよ！
聖秀で素人集めて海堂に挑戦しようなんて、無謀にも程があるだろ!?


なんでもっとましなとこ転入しなかったんだよ!?


聖秀だからいいんだよ。

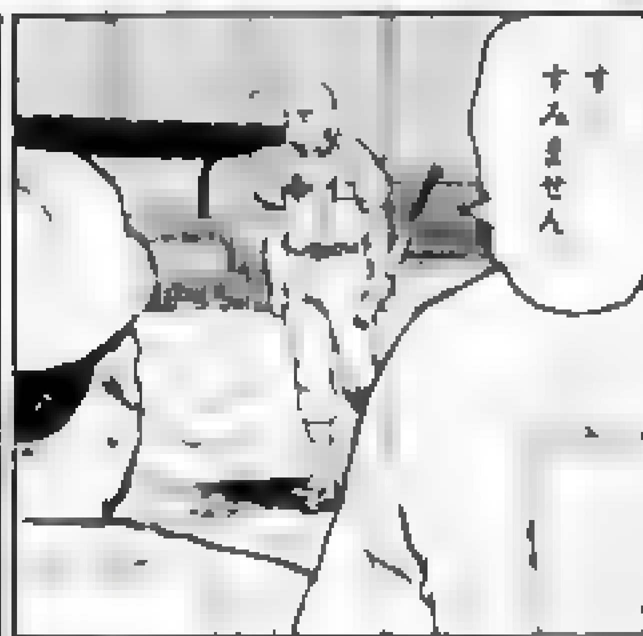

中途半端な援護なら必要ねえ。
俺は俺一人の力でどこまでやれるのかを試したいから海堂を出たのさ。





ストラック
アウッ!!

	1	2	3	4	5
帝仁	0	0	0	0	
聖秀	1	0	0	0	

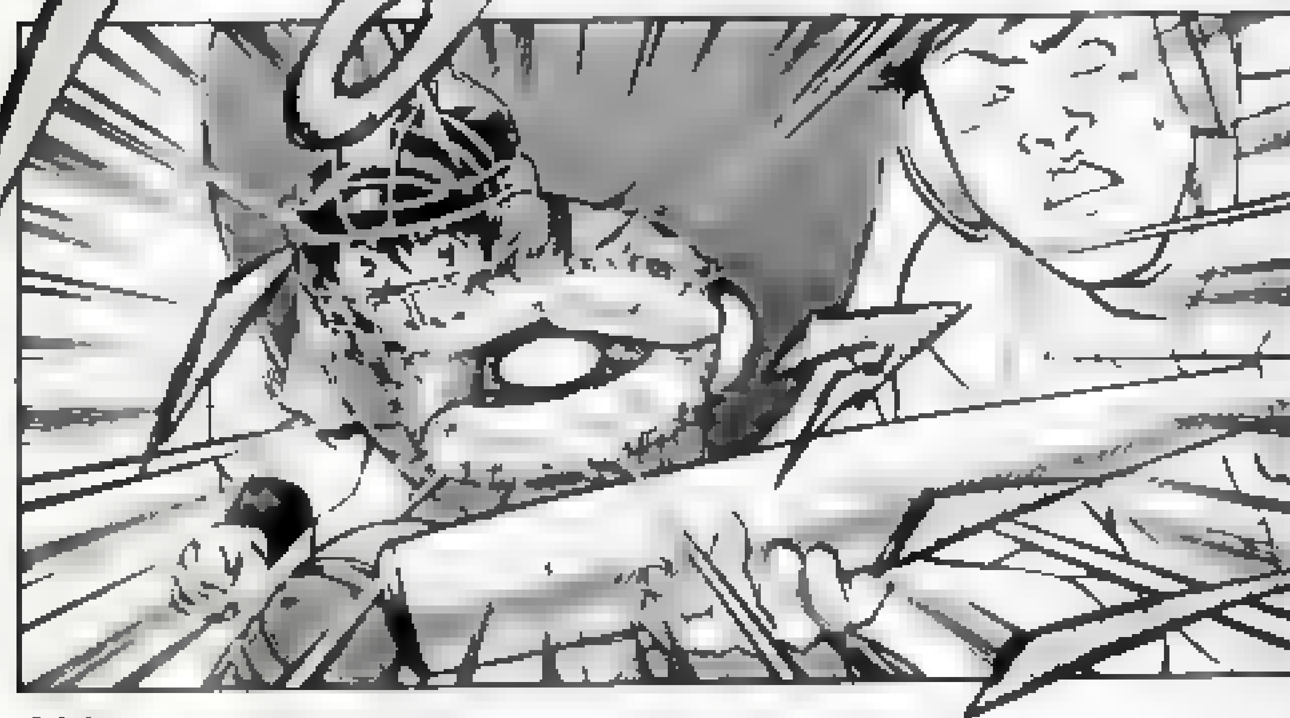




バ、バントだ！
バントでもなんでもいい！連続三振をまず何とかしろォ!!


アウト!!
スリーバント失敗!!

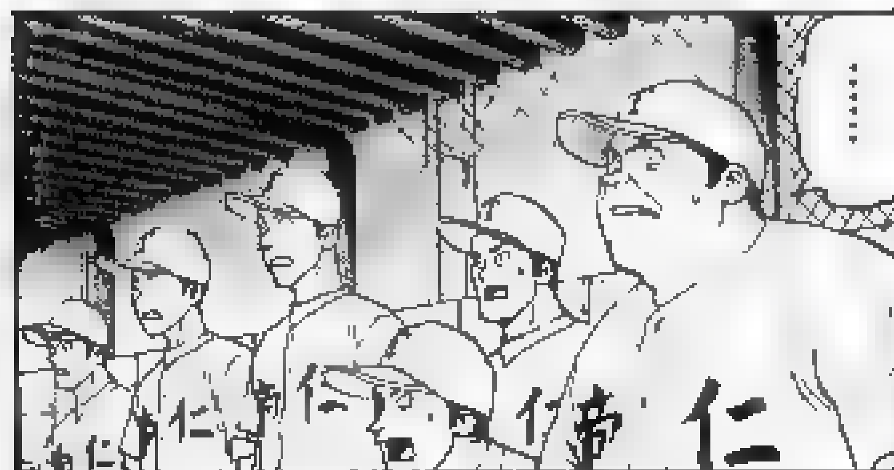




アウト!!

スリーアウト
チェンジ!!










インチキだ!!


冗談じゃねえ！
こんなインチキで
てめえが勝っても、
俺は野球部なんか
入らねえぞ!!

15


田代…!!


ああっ？


何がインチキだァ!?
てめえ、今になって賭をほごにしようってのか!!







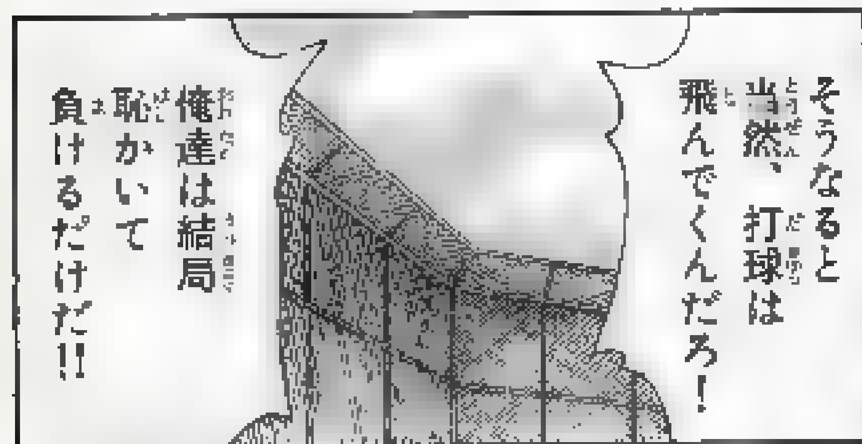
今日はそのソフト部の女が捕ってるけどよ、

じゃあ、公式戦で一体誰がてめえの球捕れるってんだよ!!


……




捕れる奴がいなけりゃ、てめえのその球は封印するしかねえ！


そうなると当然、打球は飛んでくんだろ！
俺達は結局恥かいて負けるだけだ!!


全然てめえの言う勝利の方程式の証明になってねえんだよ!!







藤井!!


第7話
キャッチャー藤井

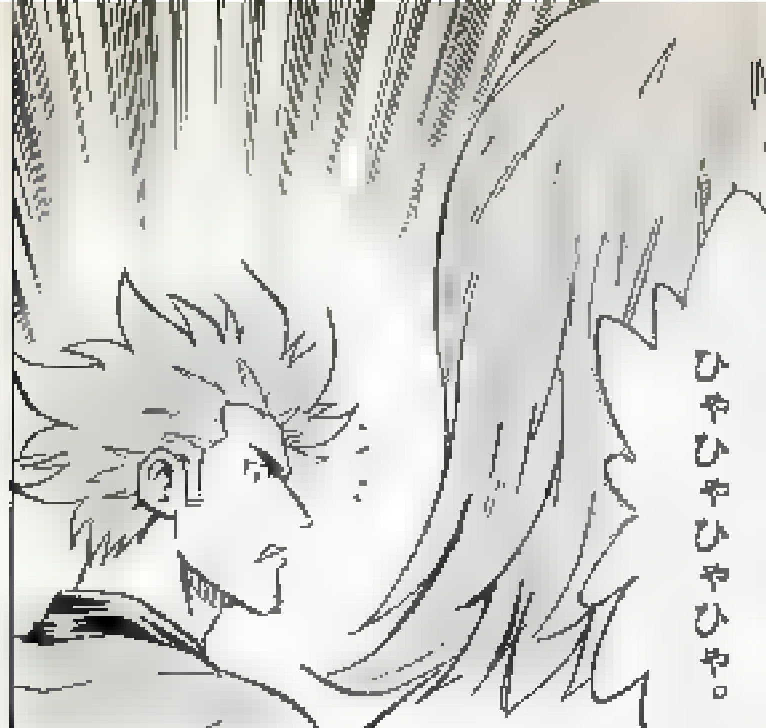


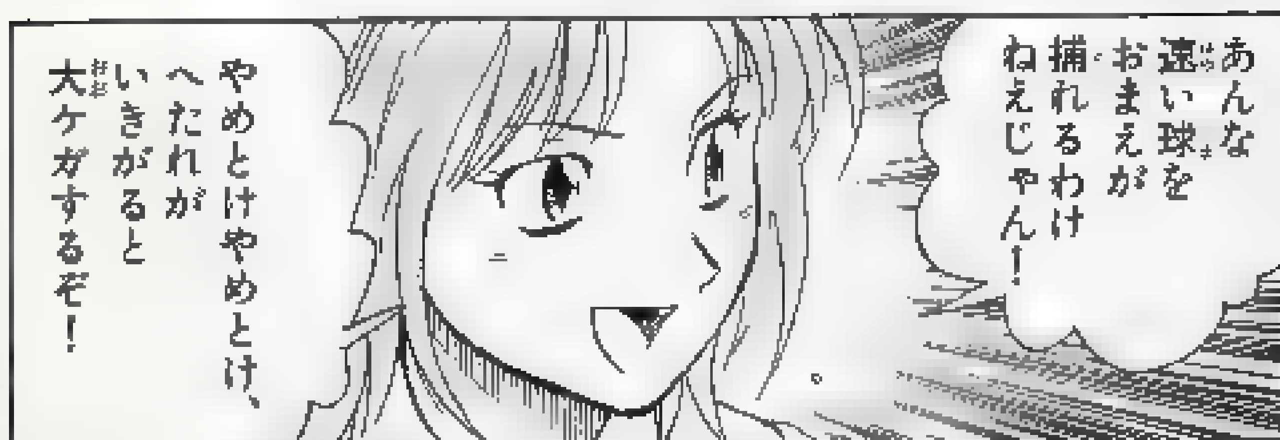
2






藤井……！


ひゃひゃひゃひゃひゃ。


あんな速い球をおまえが捕れるわけねえじゃん!!
やめとけやめとけ、へたれがいきがると大ケガするぞ！


何ィ・


やってみろ藤井。

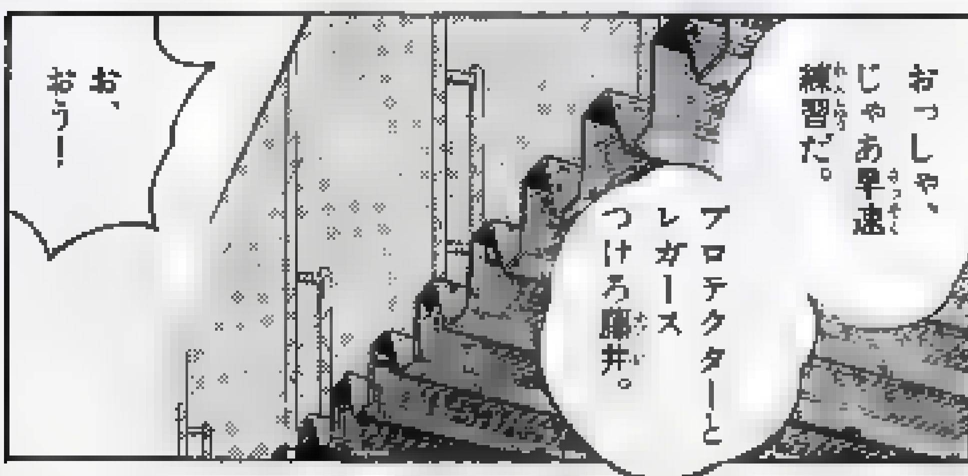

わかった。
！

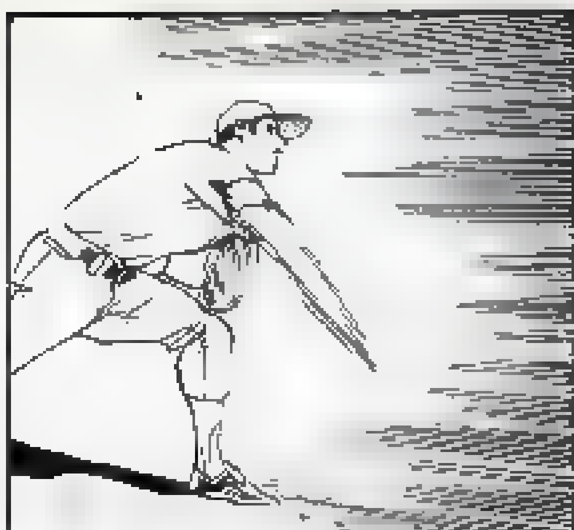

田代の言う通り、確かに清水がキャッチャーやってて勝ってもシミュレーションにはならねえ。
・・・

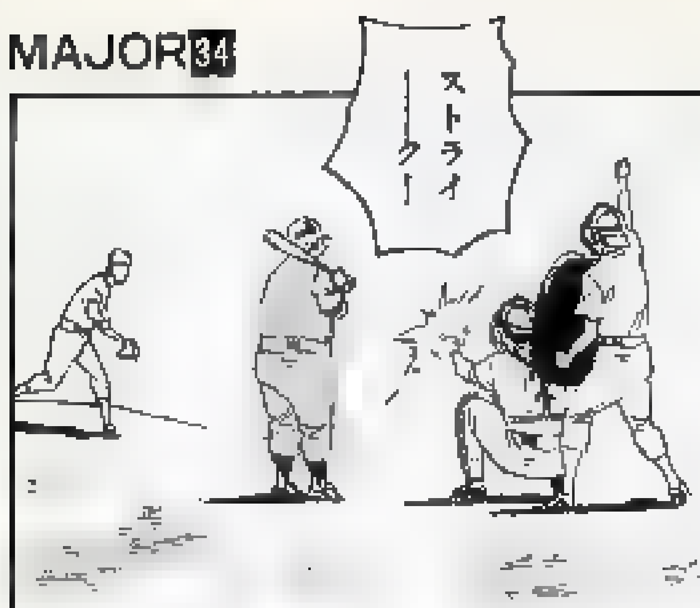

遅かれ早かれ、誰かがキャッチャーやらなきゃいけねえんだ。
わざわざおまえが志願してくれんなら、俺的には願ったり叶ったりさ。


ちょっと聖秀さん！この回の先頭バッター誰ですか!?


あ、俺か。


おっしゃ、じゃあ早速練習だ。
プロテクターとレガースつけろ藤井。
お、おう！









やるっきゃねえっしょ。

女の藤ちゃんにこれ以上痛い目させらんねえしな。

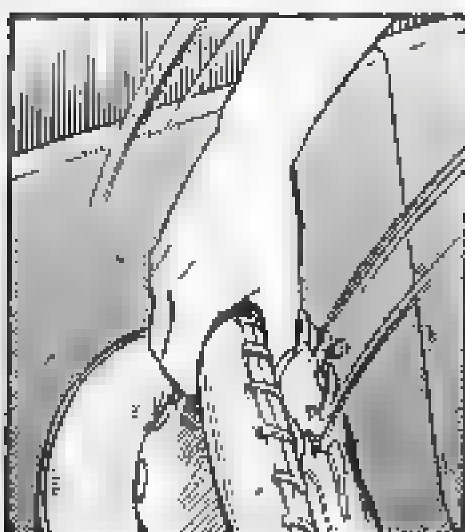
!!


お、おまえなんでそれを…!?


見てたよ。
ベンチに戻ってくるたびに、陰で冷却スプレー左手にかけてたっしょ?

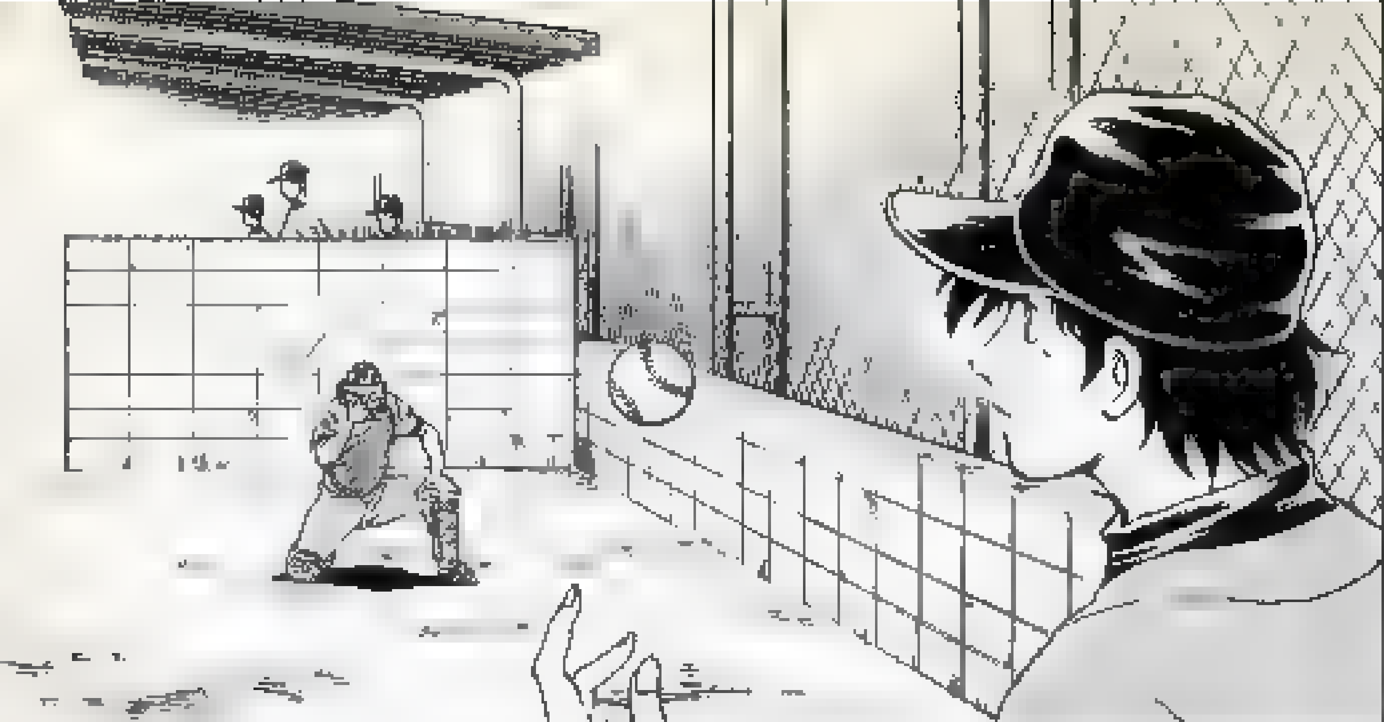



おまえ、まさかそれで…




そんなんじゃねえよ。
俺は今、野球ってやつをいろいろ楽しみてえだけだよ。

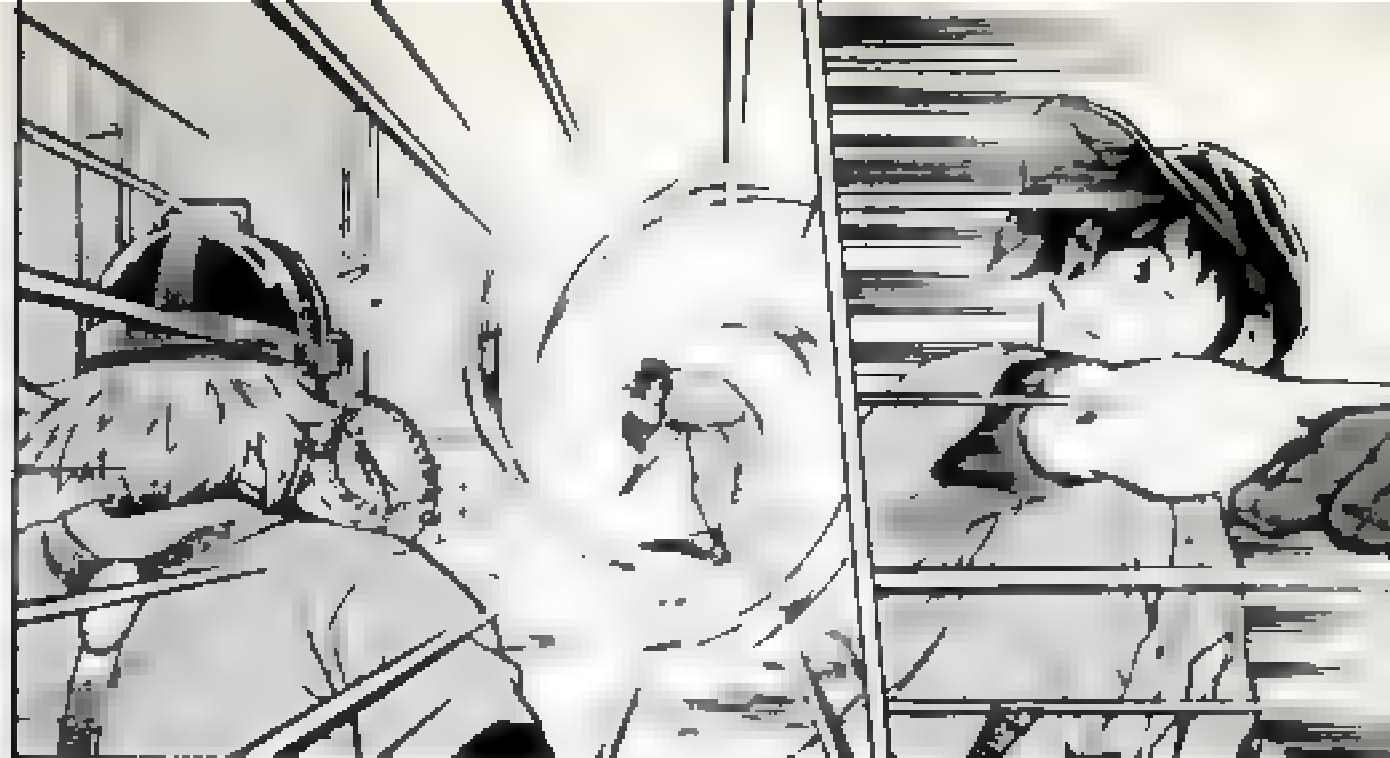




よし来い!





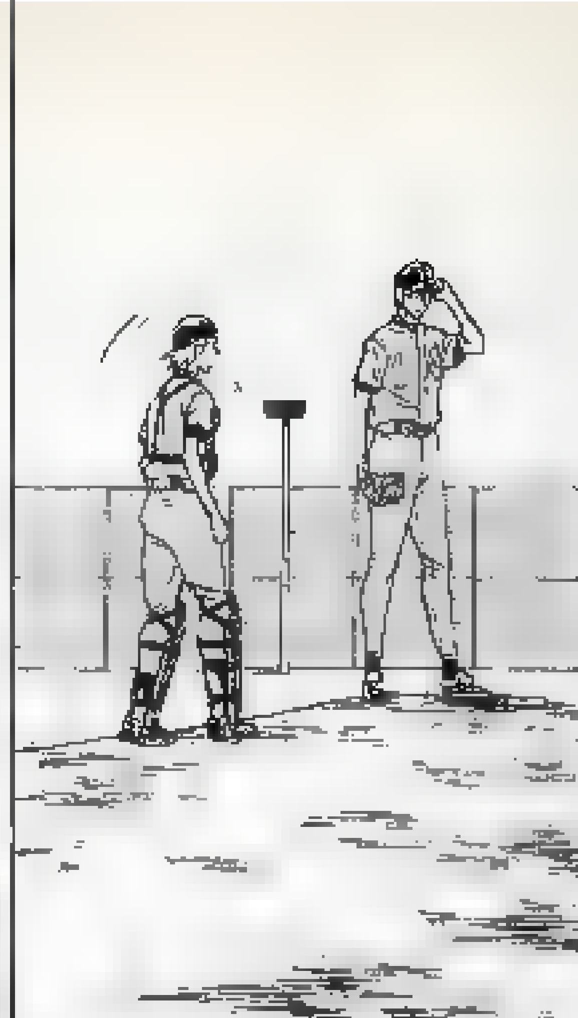
あ。

ドッ
ス
うえっ。

いてっ。

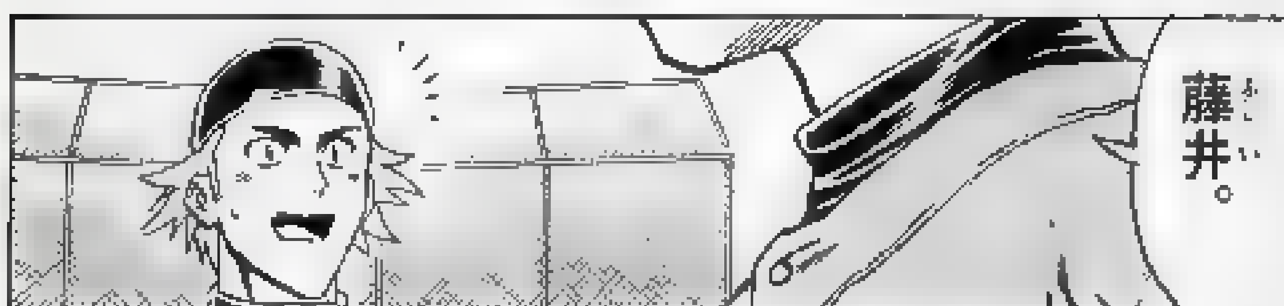
アウト
スリーアウトチェンジ！

フン。
捕れるわけねえだろ。



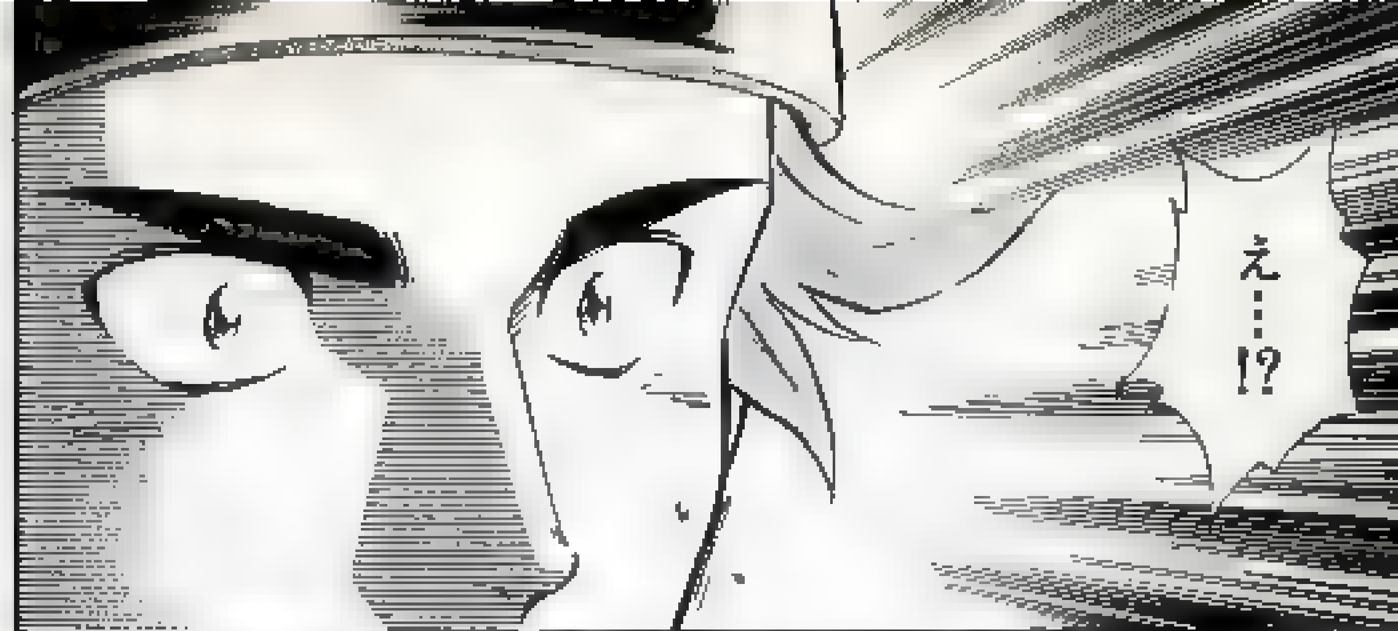






おまえは黙って真ン中にミット構えとけ!

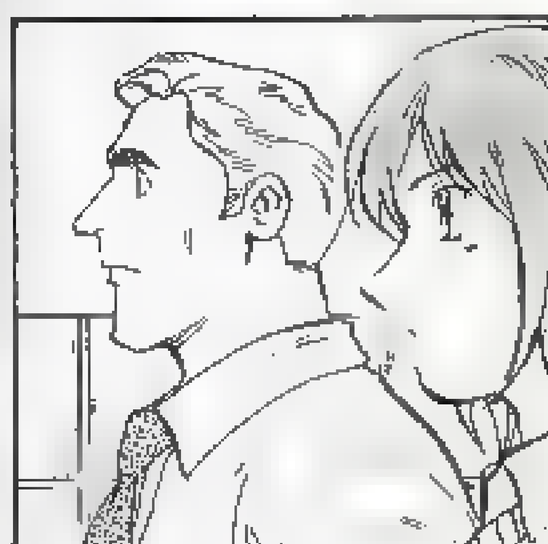
後は俺がなんとかしてやる!!


え……!?




プレイ!





黙って構えとけだと!?
まさかこいつ自力でミットに吸い込ませるつもりか!?

12




ス…ストライ――ク!
き…来たよ……


と…捕った!?
いや 捕ったんじゃねえ、構えた所に奴が投げ込んだんだ!!


そんなバカな、
……
マグレだろ!?



こ
こいつ…
この球威で
こんなマネまで
できるのか…!!

第8話 ホットコーナーの男

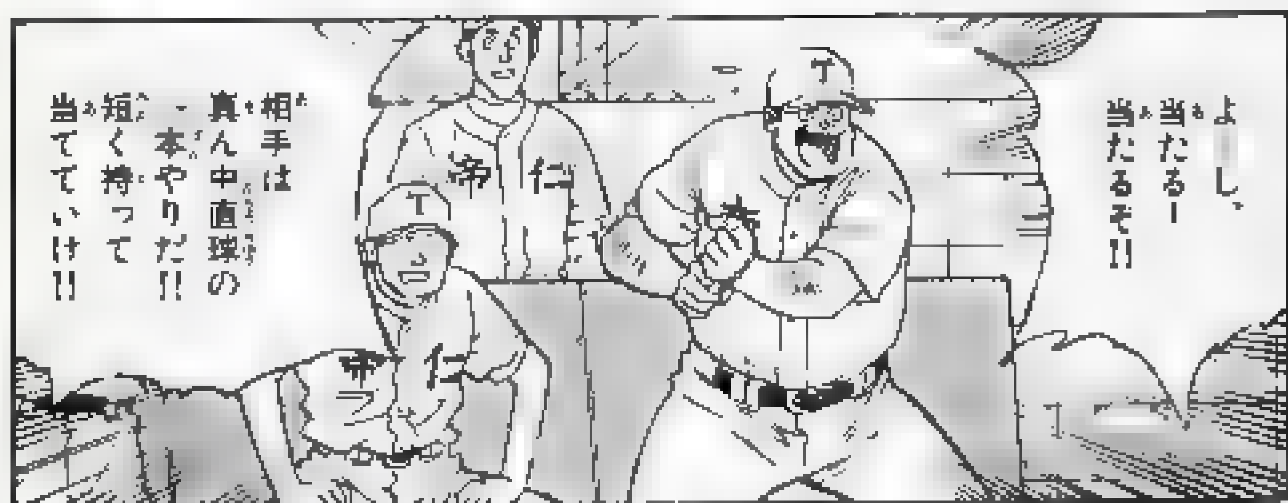






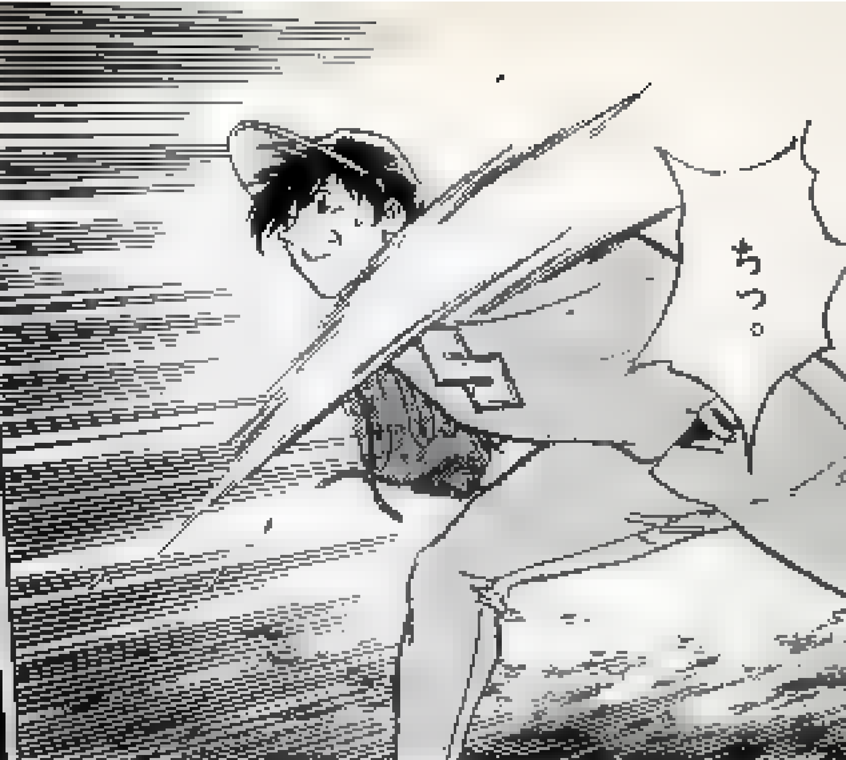
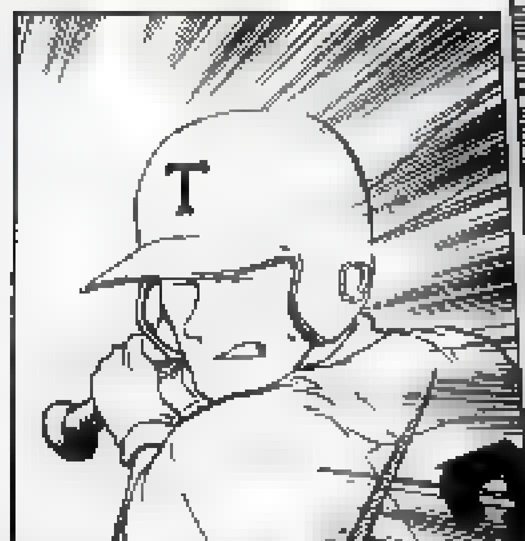
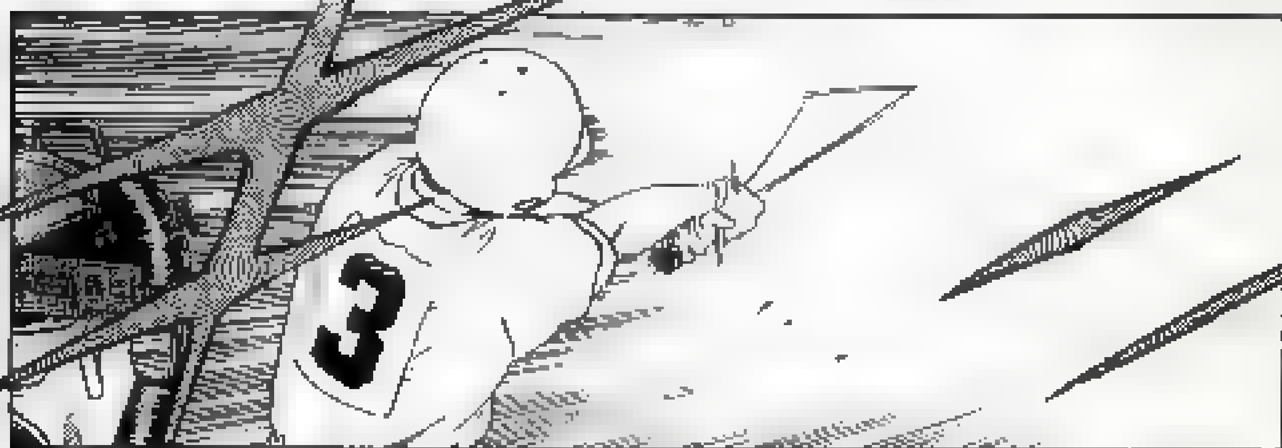





よーし、当たるー当たるぞ!!
相手は真ん中直球の一本やりだ!! 短く持って当てていけ!!


なんか当てられてんな・
んー さすがに強豪・帝仁ですね。

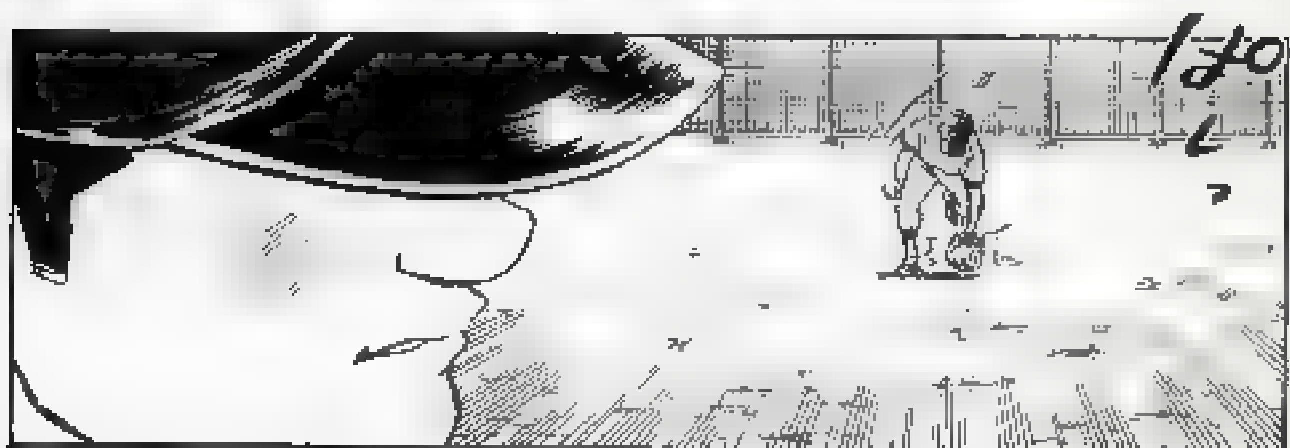

いくらゴロー君のまっすぐでも、
真ん中しか捕ることができないキャッチャー相手じゃ、そろそろ合わされても仕方ないでしょう。


ちっ。




くそっ、サードゴロか!!

あ!!
……





6

もうけもうけ!
なんか知らねえがノーアウト一塁だぜ!!

て…

おいコラレフト!
何捕ってんだよ!!


え…
いや…でも…

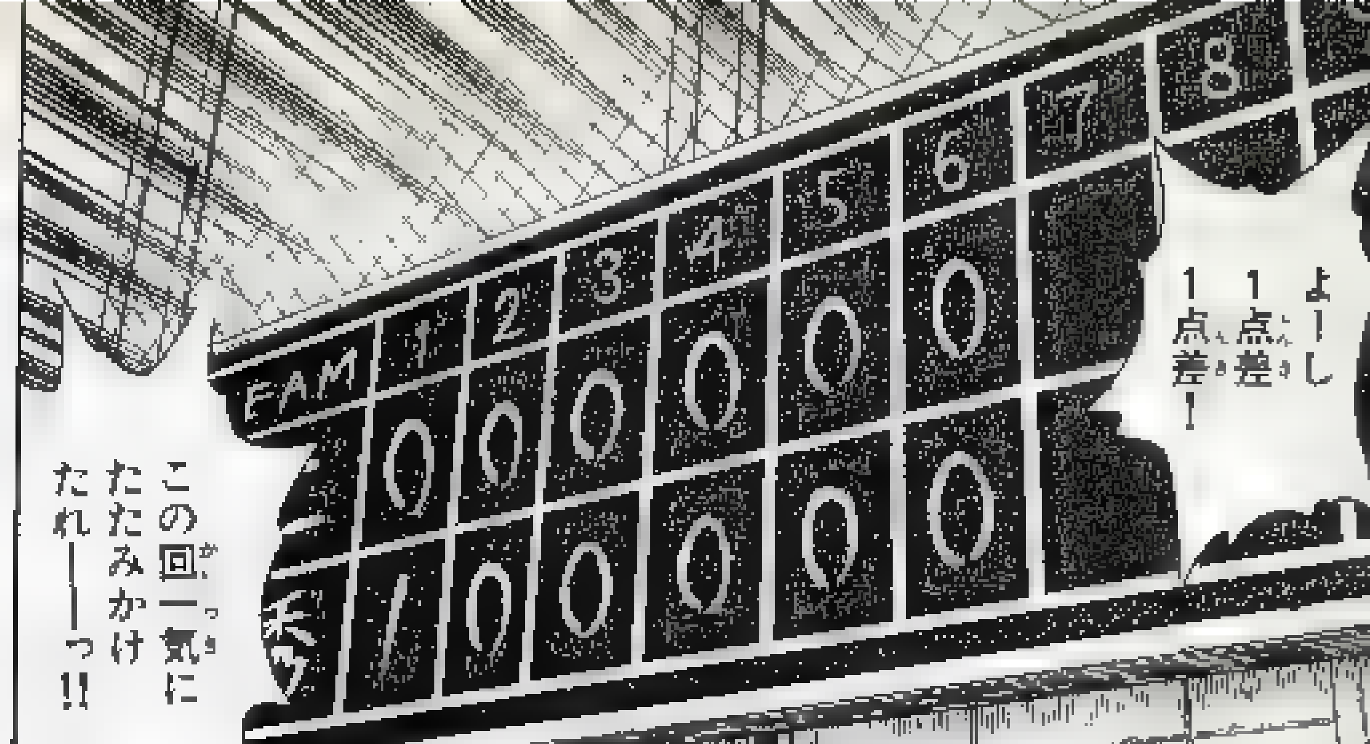

俺達は一切協力してやる必要はねえんだよ!!
あいつ一人で勝てるっつってんだから自分で拾いに行かせろ!!

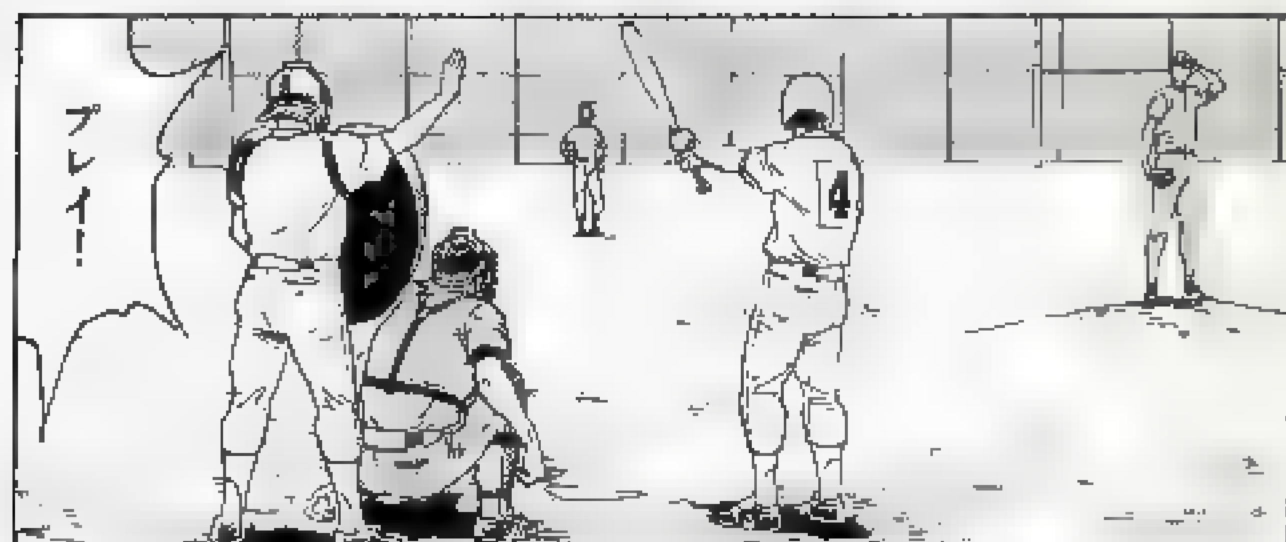

………


…
だよな。




おいおい、
本当にこんな奴らで野球部作れんのかよ!?


よーし1点差1点差！
この回一気にたたみかけたれーーっ!!

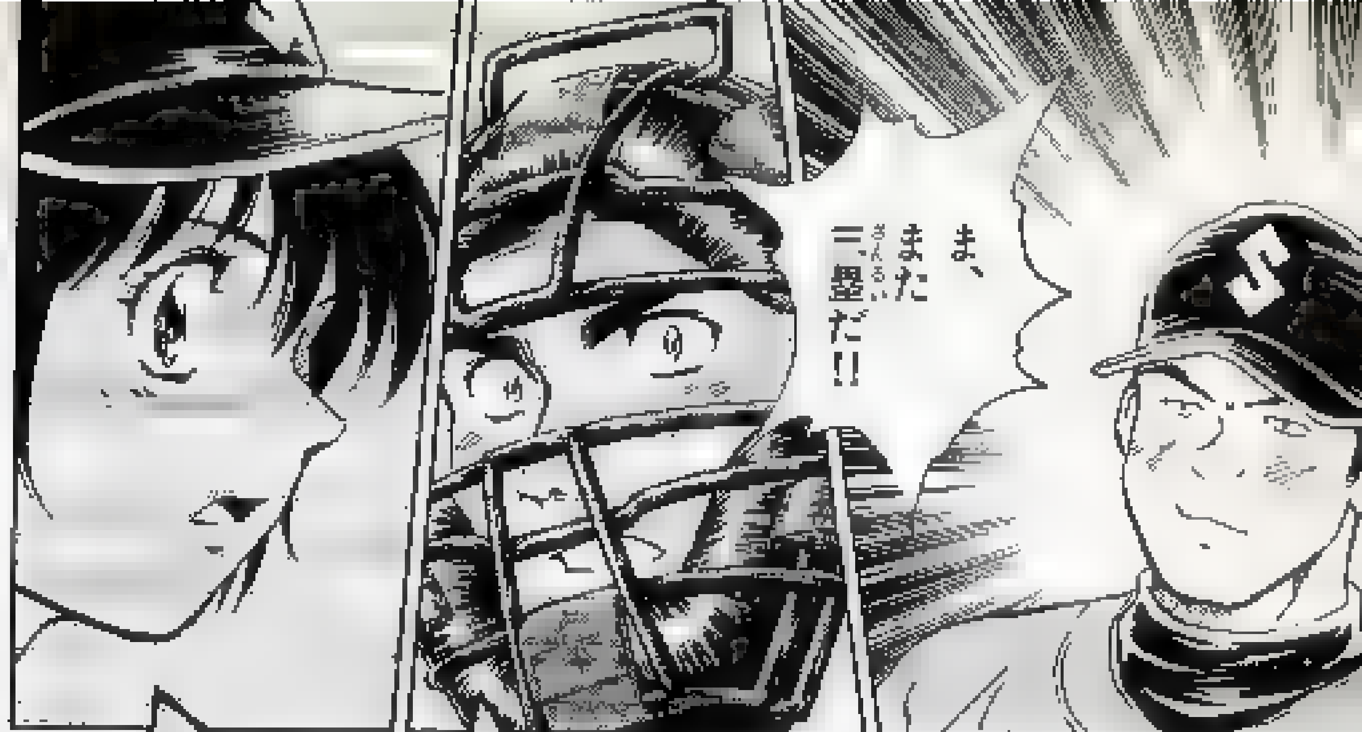

プレイ！


この野郎〜〜〜
元より覚悟のことだけどよ、
ああも露骨に非協力的だと――

マジでムカツクぜ!!






ま、また二塁だ!!


な、何!?

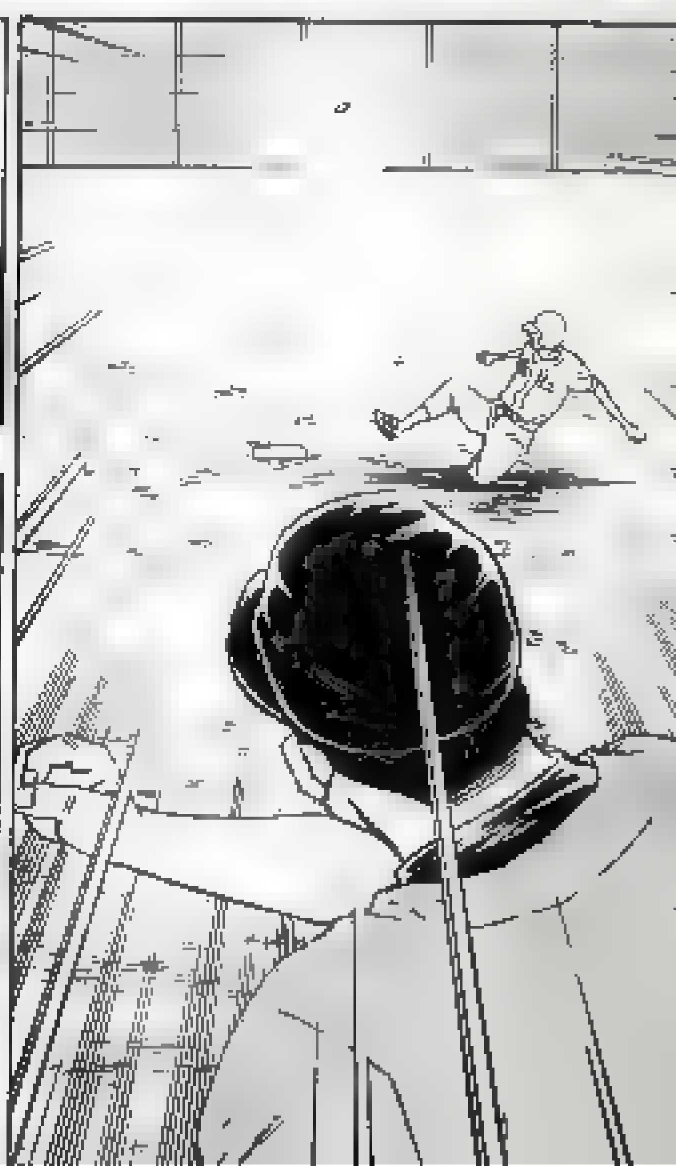
ファースト
投げろっ!!

ああ
ごめん

いやあ
やっぱ
ノーアウト
ランナー一・三塁
だから

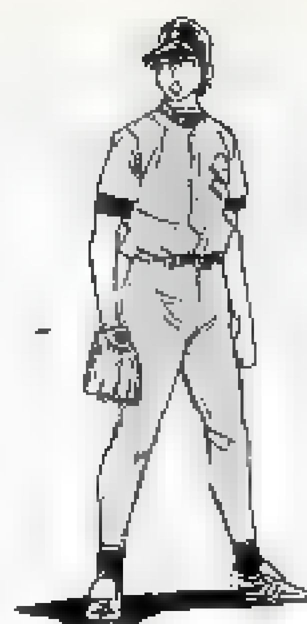
!!

投げるのはセカンドでしょ。





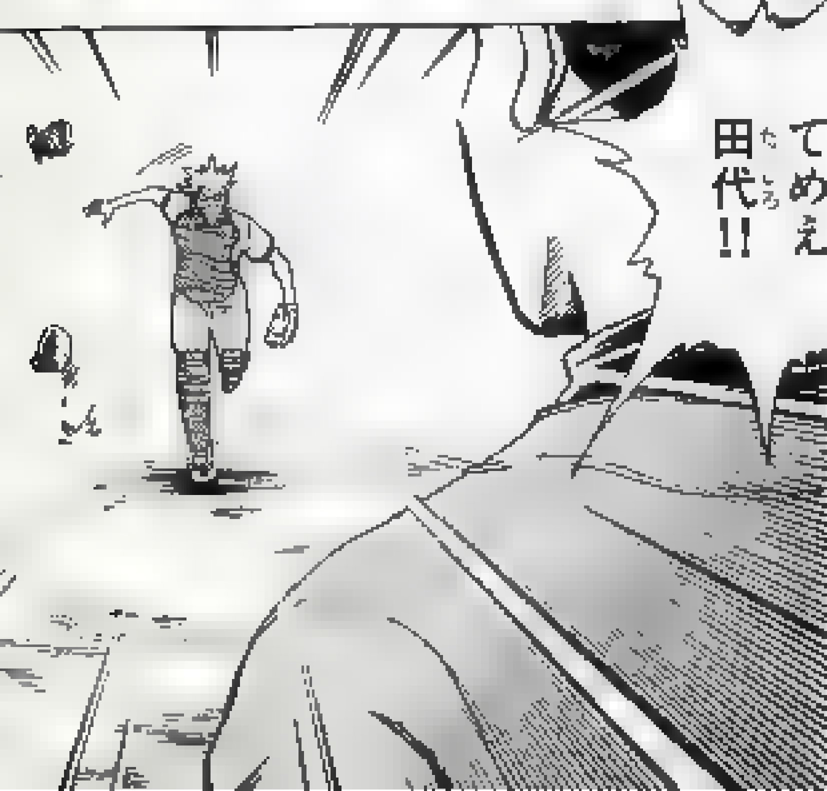





急げ外野〜〜〜!!


おっしゃ逆転!!
サードゴロがランニングホームランになっちゃったよ〜〜〜っ!!


てめえ田代!!




ふざけんなよ！
誰もいねえことわかってて、わざとセカンド投げやがって!!


協力しろとは言わねえ!!
だがな、人が一生懸命やってんのを邪魔するんじゃねえよ!!


ほっとけよ。



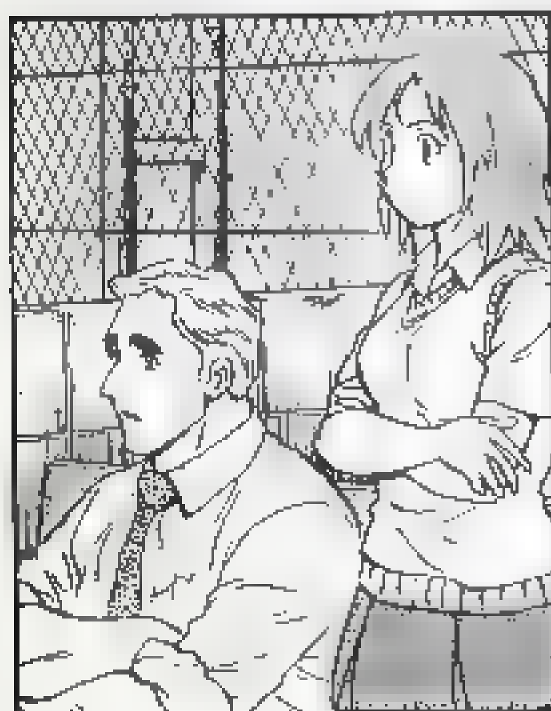


ほんとはさびしいんだろ?
さびしいガキが注目されたくて、ちょっとおイタしてみたってだけのことだろ?

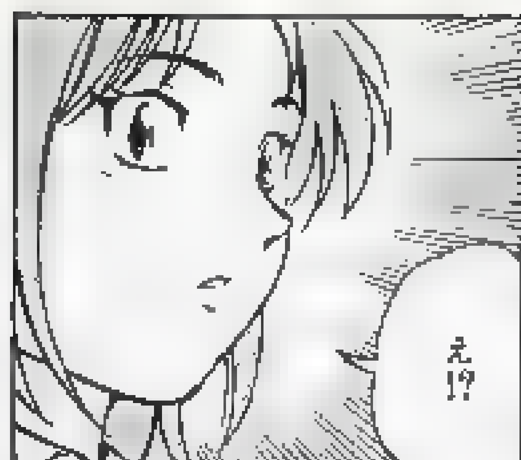









彼は野球経験者なんですかね……？

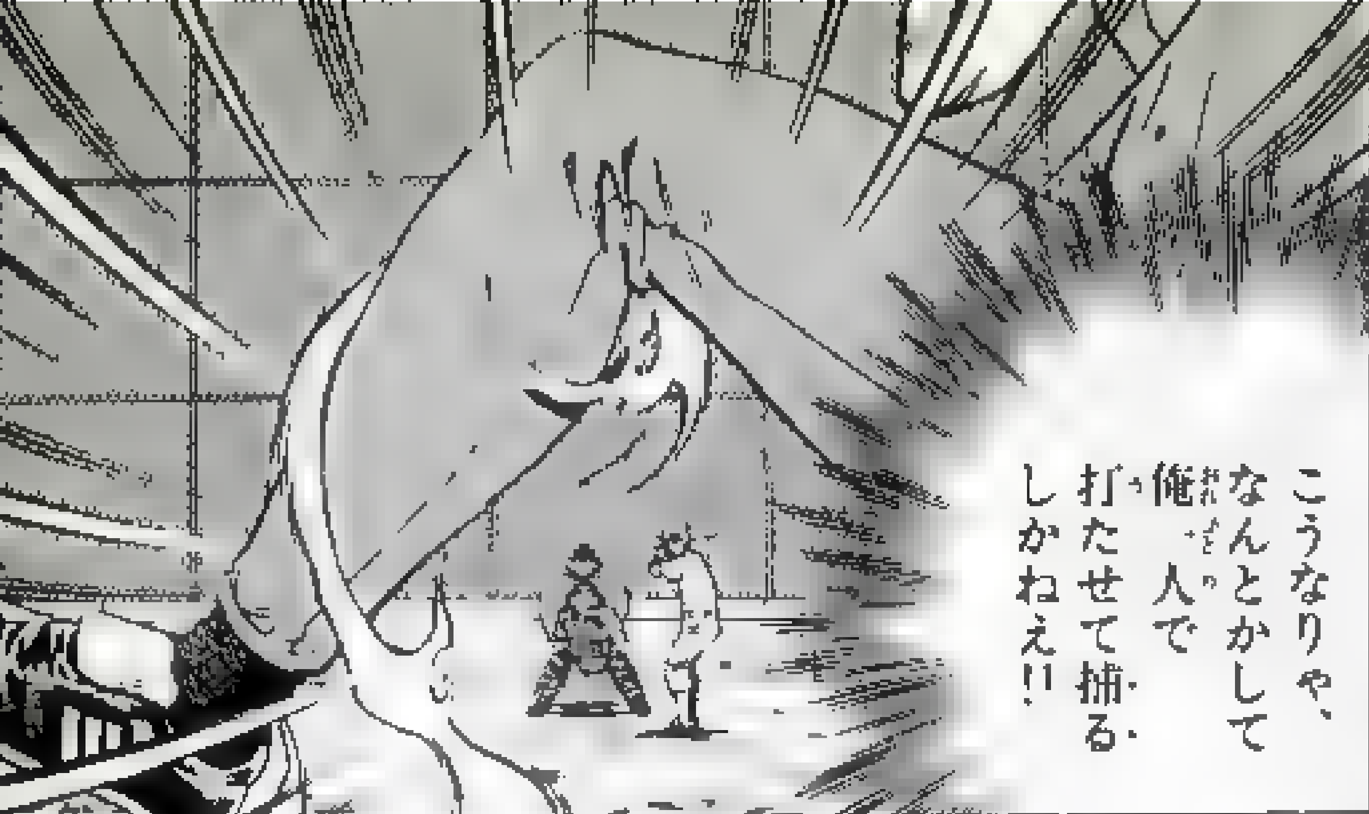

え!?

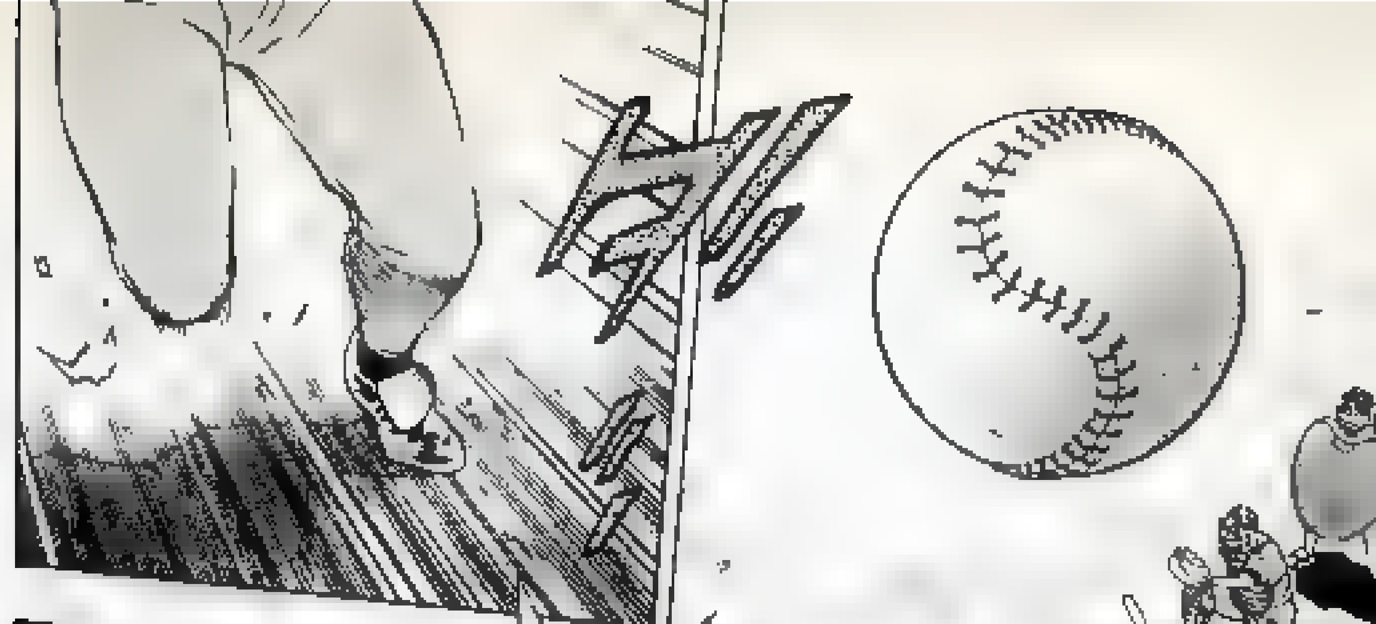

いや・さっきのグラブさばきや送球の動きがね・・
あまり素人っぽくなかったような気がしたんですが・・・


プレイ！


制球を犠牲にして全力投球すれば三振はとれる


だがそれじゃ藤井には捕れねえし一歩間違えば大ケガさせちまう！


こうなりゃ、なんとかして俺一人で打たせて捕る・・しかねえ!!

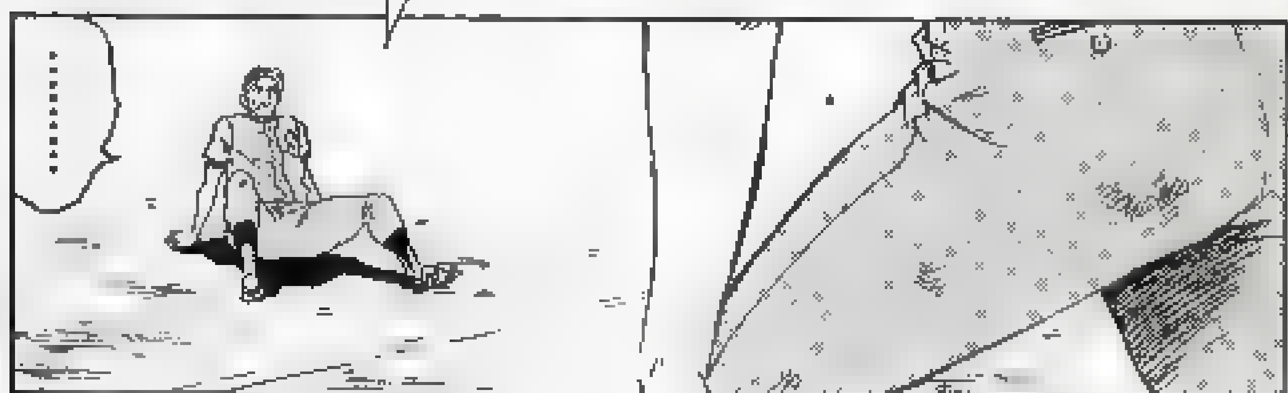




邪魔だよ!!

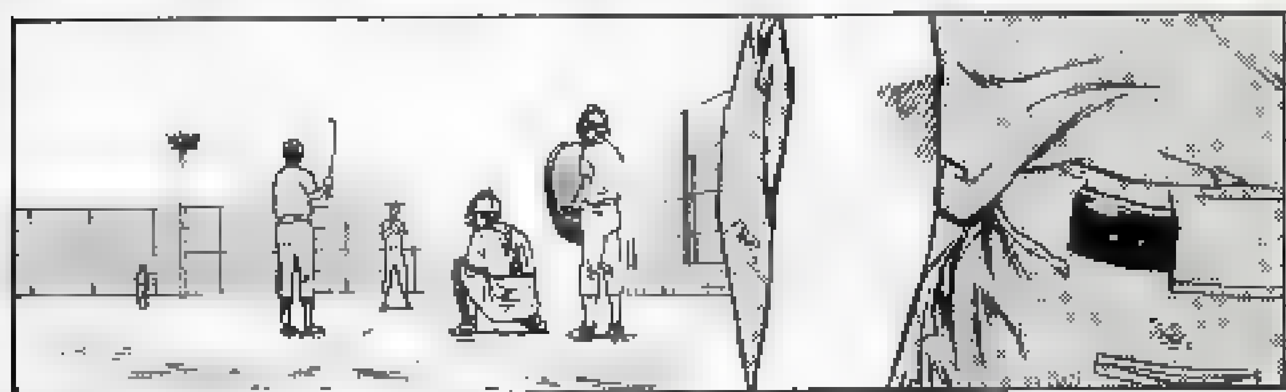




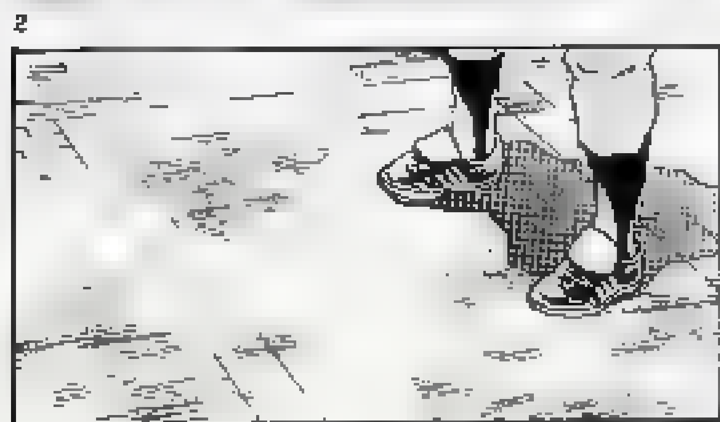


20

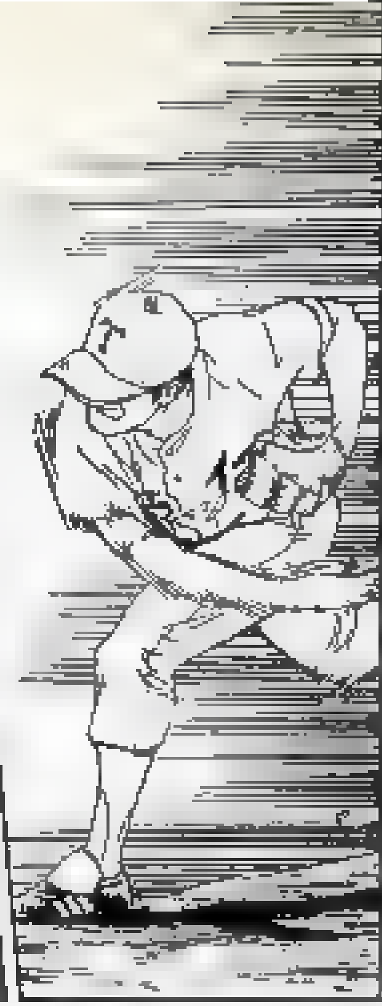

第9話
飽きたんだよ!

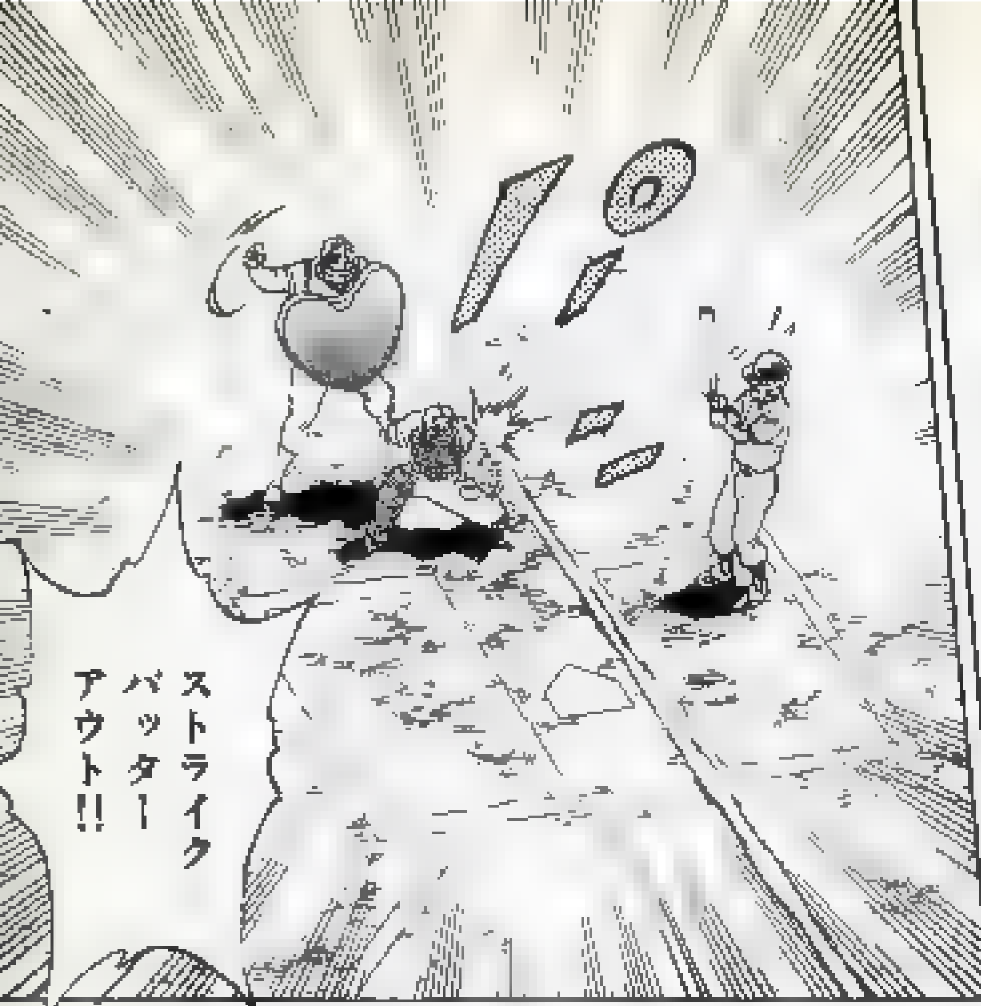
















3





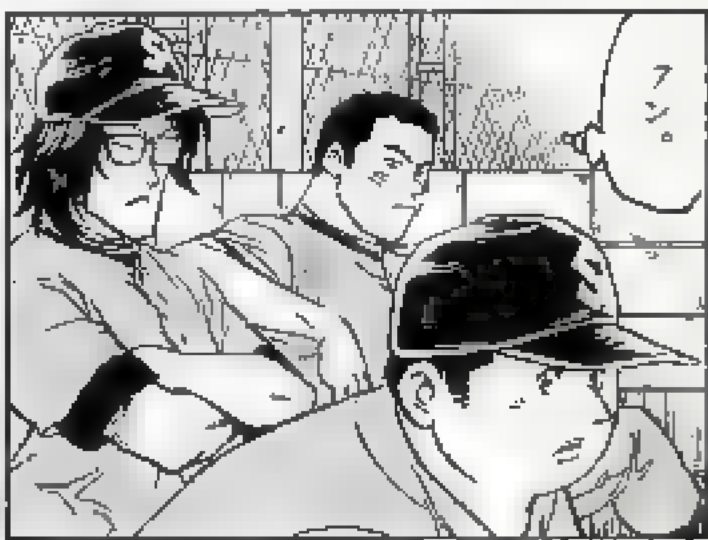


	1	2	3	4	5	6	7	8	9
帝仁	0	0	0	0	0	0	2		
聖秀	1	0	0	0	0	0			







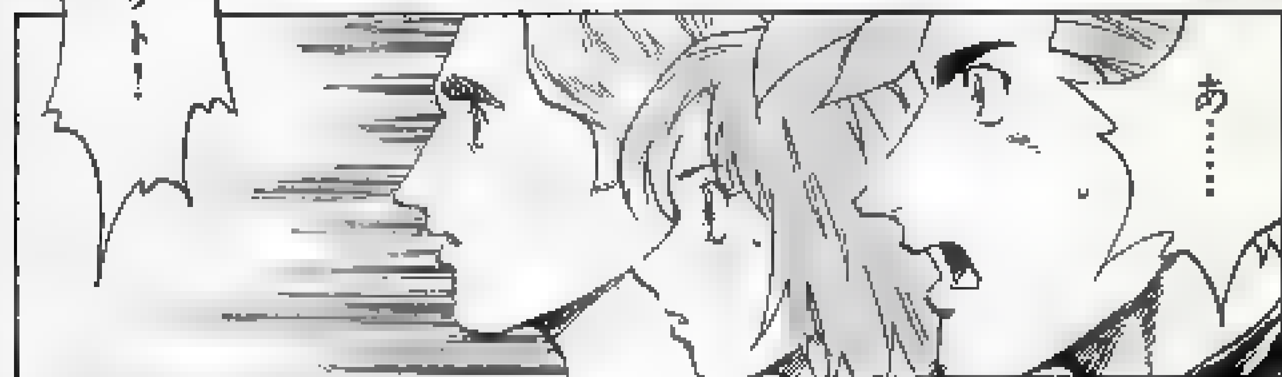


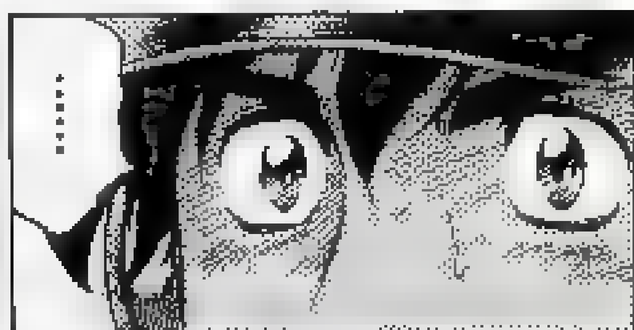



や…やった!!

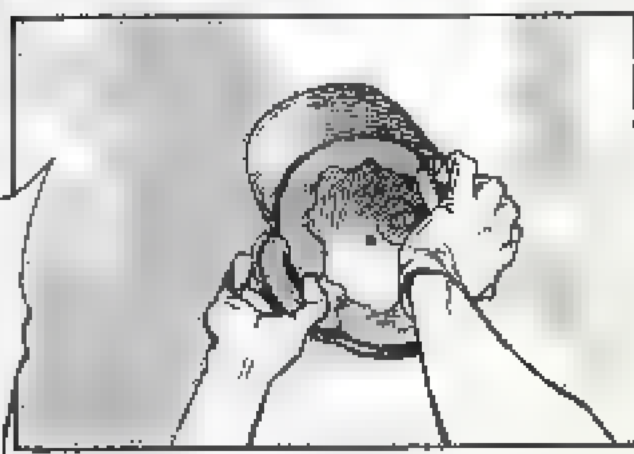


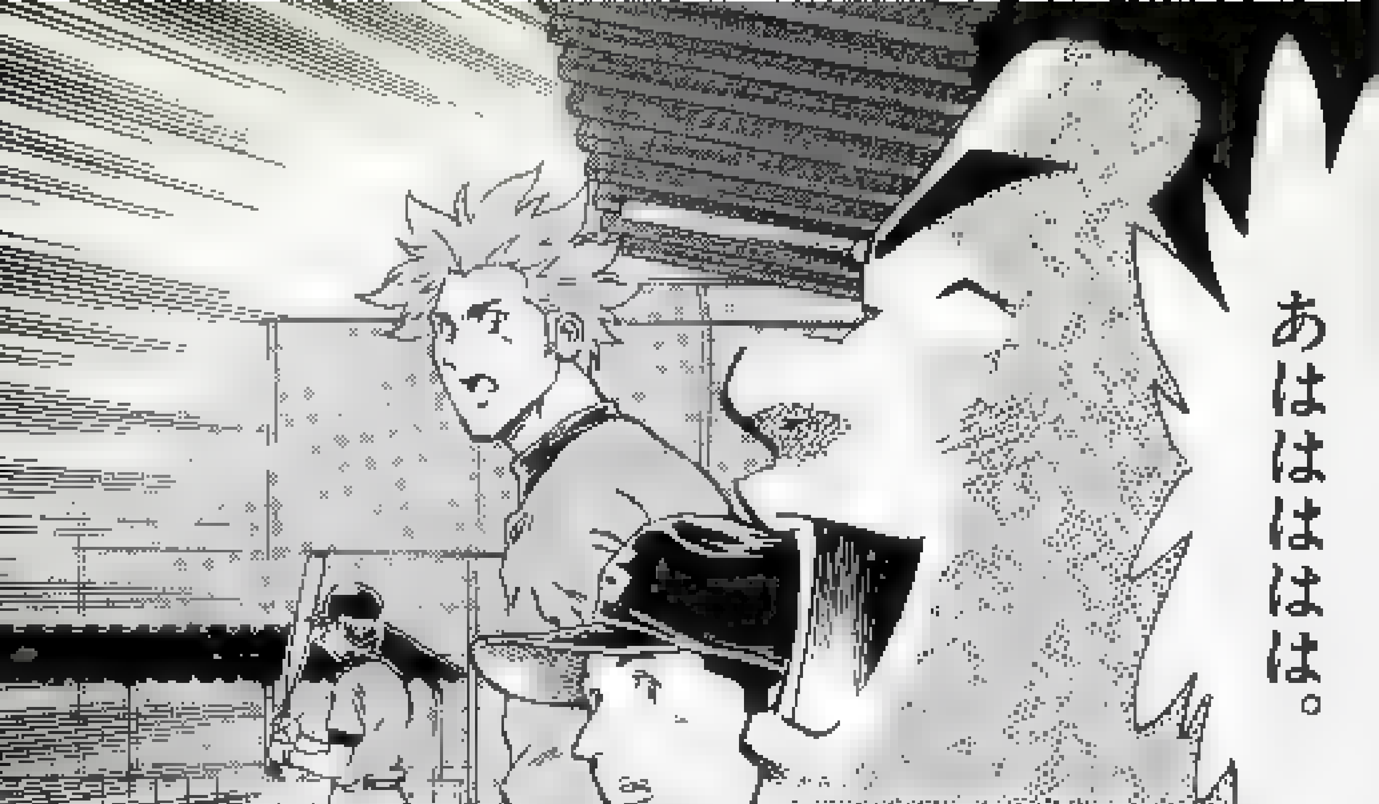

よし。
アウト！


あ……


……




くそおっ！


あははははは。


終わったな――っ!!
これで100%負けは決まったぜ!
てこたー、俺達の野球部入りもなくなったってわけだ!!


た…田代てめえ…!!


目ぇ覚ませよ藤井。
高2の今頃に野球なんか始めてなんになるよ?


!!

俺達は、来年はもう受験生なんだぜ?

そんなバカにそそのかされて今から野球なんかやったって、な～んの得にもならねえだろ?





8











俺は茂野の球見た時、鳥肌が立つぐれー感動したんだ!

プロ野球とか
あんまし生で
見たことねえ
けど…

人間があんな
ものすげえ速さで
ものを投げれるって
ことを間近で見て
鳥肌が立った…

10

それも…
俺達と同じ
高校2年生の
奴がそんな芸当
やれるってことに、
俺はマジで感動
したんだ!!


藤井……



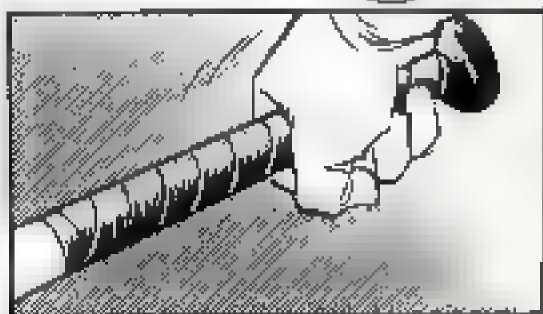

……


ああっ!? だったらどうだってんだよ!!

OH!
ナイスバッティング、
ソフトボール少女が
ヒットで出ましたよ!!

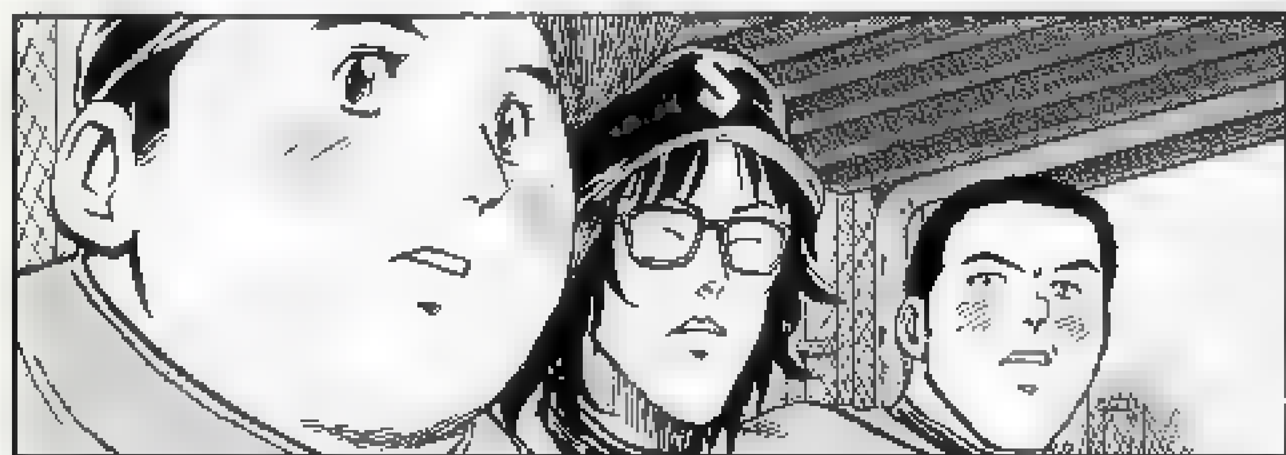
12







でも俺はもう、ただ何の目的もなく教室の隅でよどんでるのに飽きたんだよ！





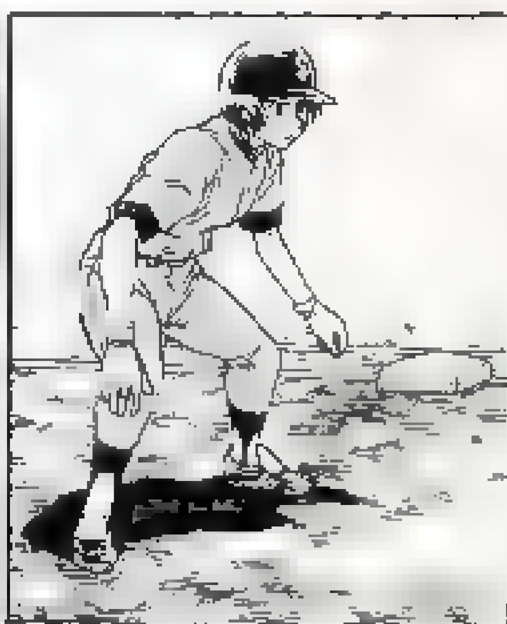




プレイ!

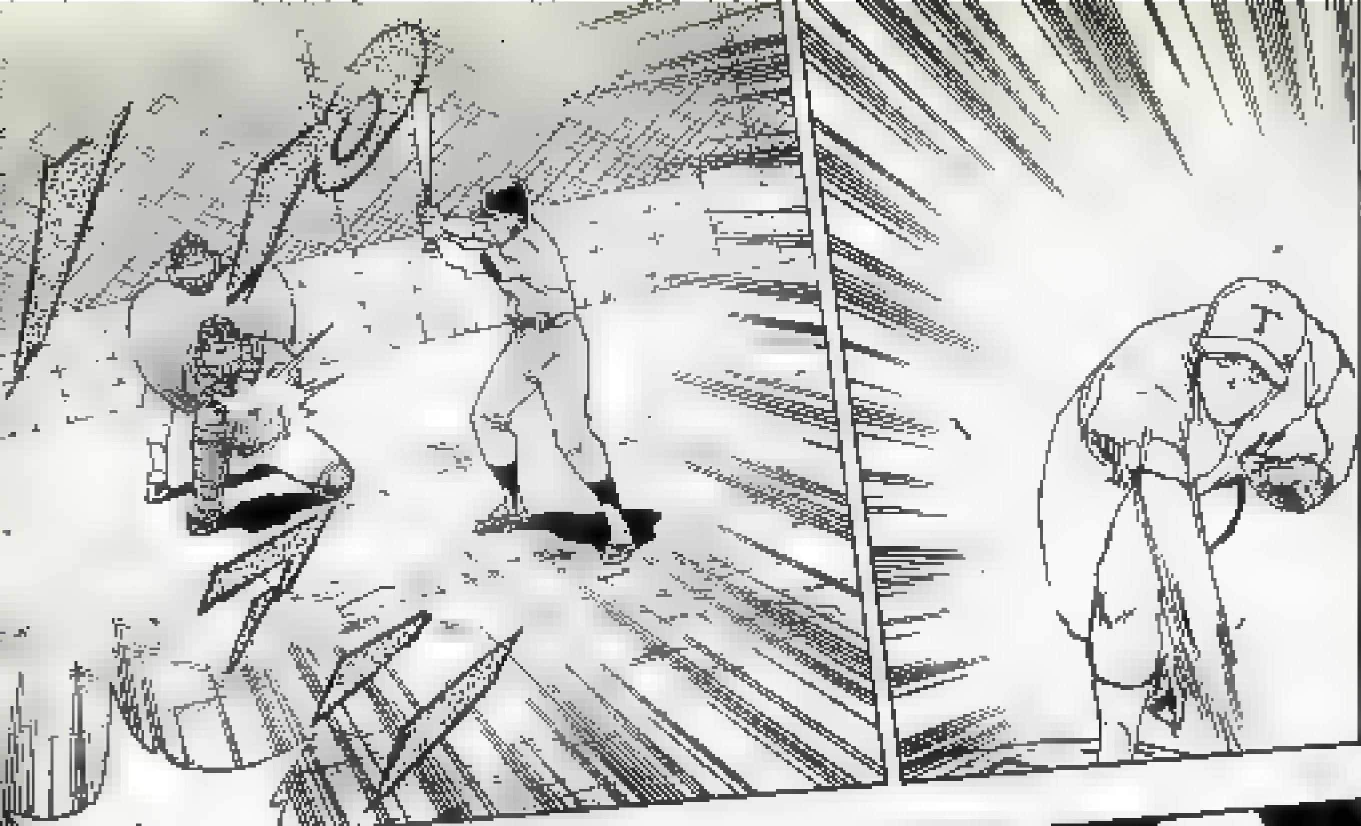






14



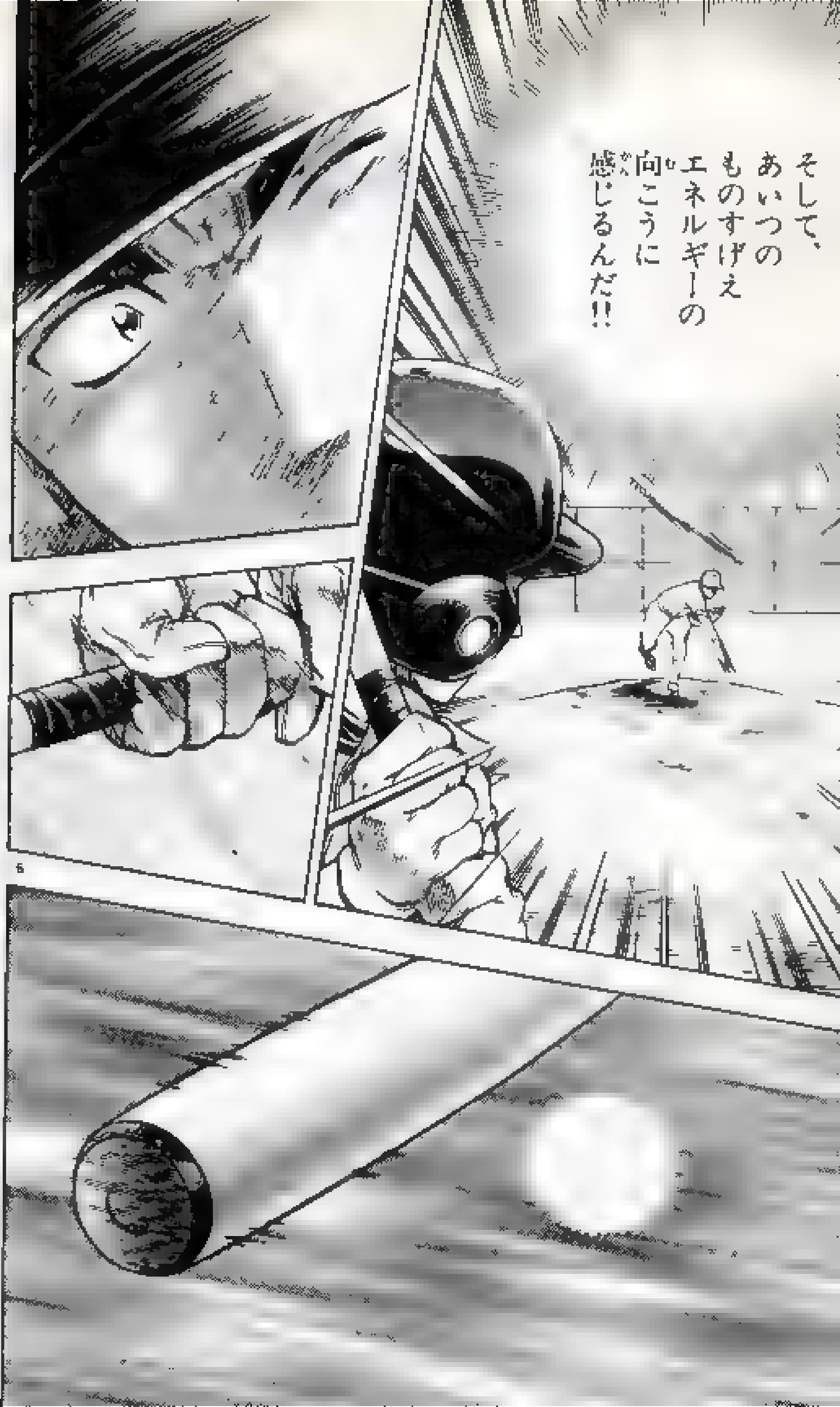




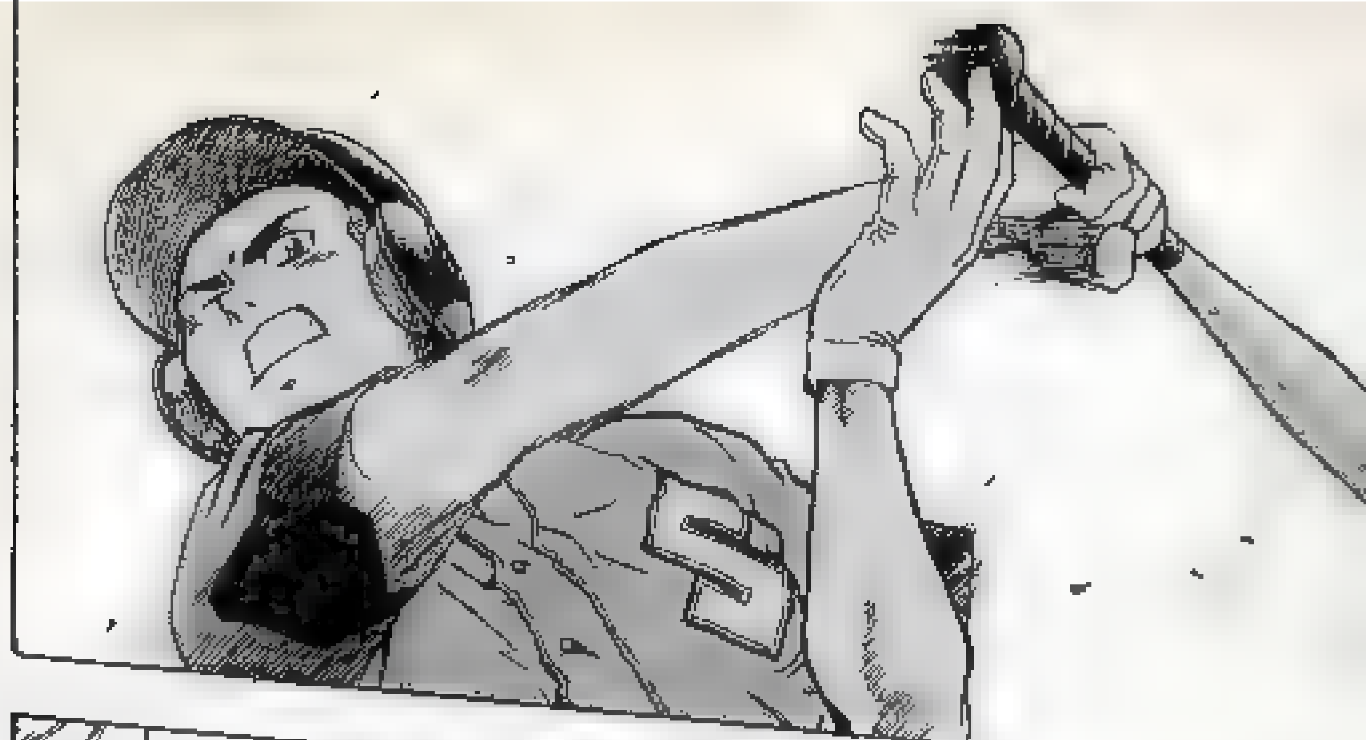
でもな、

1球1球、俺は奴からなんかすげぇエネルギーを受け取ってるような感じがした

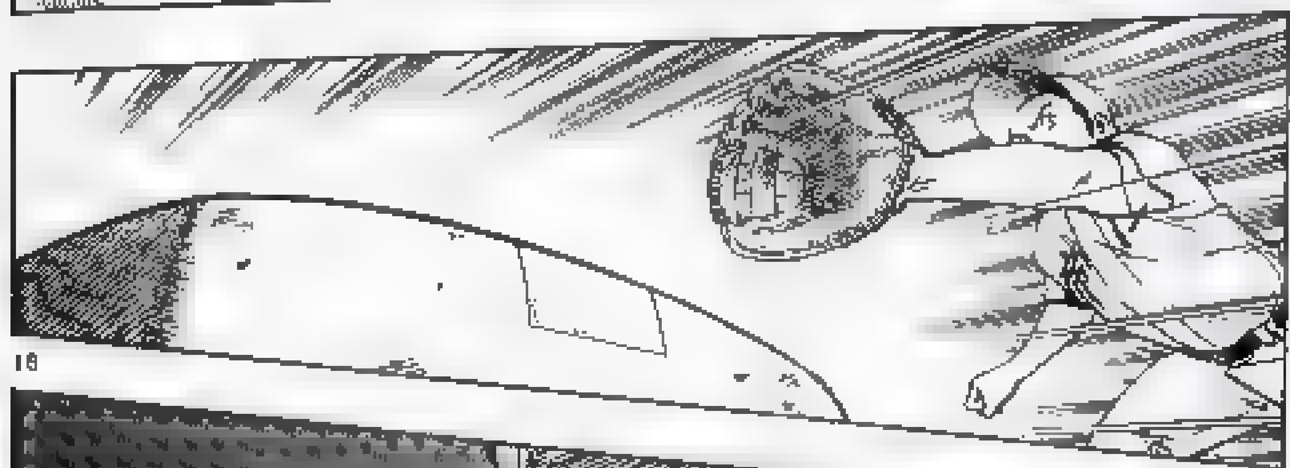
この痛みと引き換えに——


そして、
あいつの
ものすげえ
エネルギーの
向こうに
感じるんだ!!

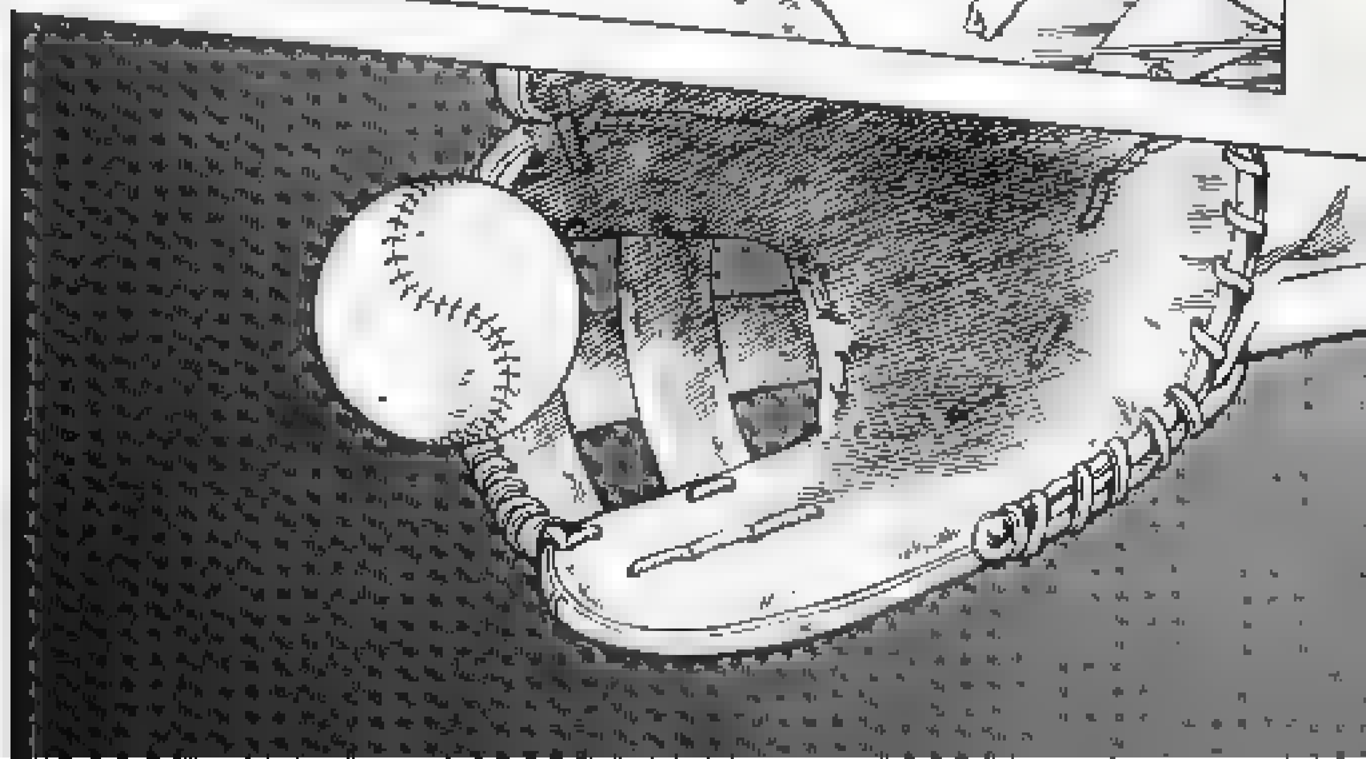




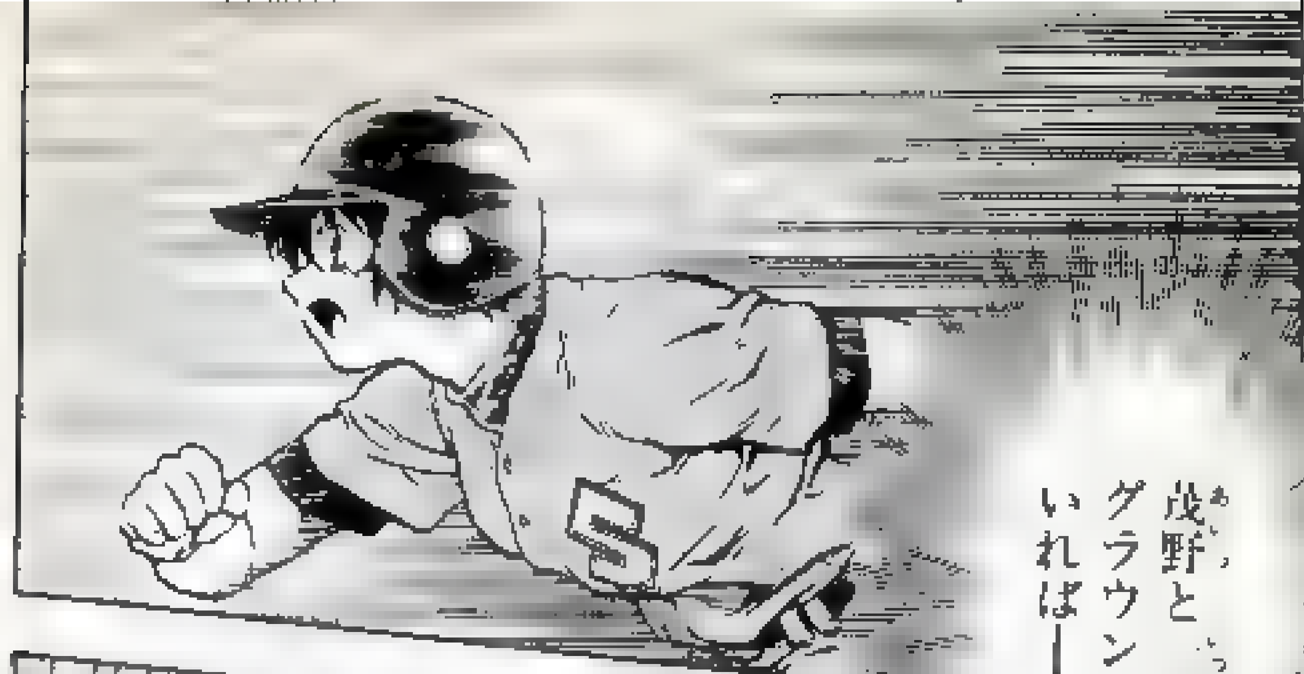




16



ぬ、抜けたァ!!





20

まだ俺が見たこともねえすげえことに出会えるような気がするんだ!!



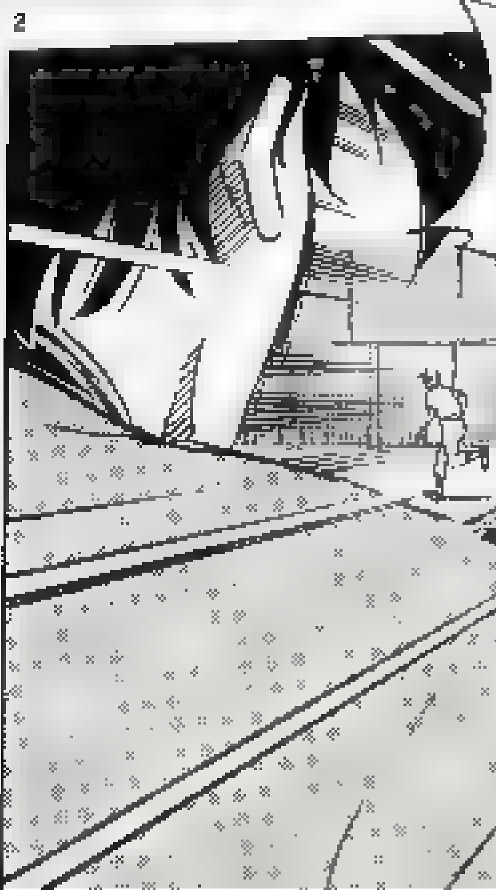
第10話 田代の過去




抜けた――っ!!


しゃあ!


いけえ清水!! 迷わずホームだ!!

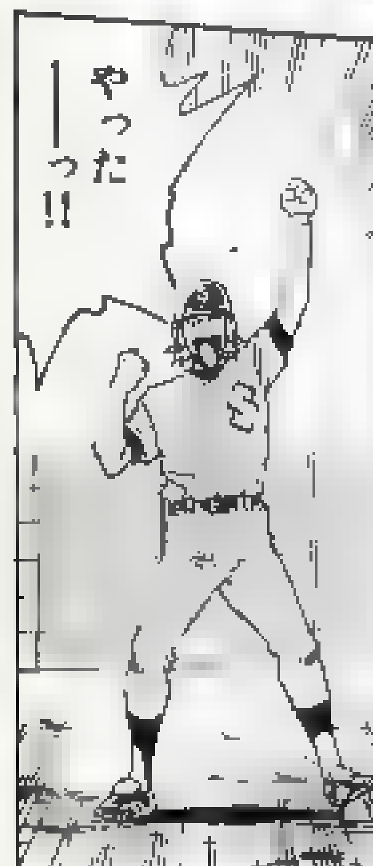




4


セ…
セーフ!!


おっしゃ、追いついた～～～っ!!


やった――っ!!

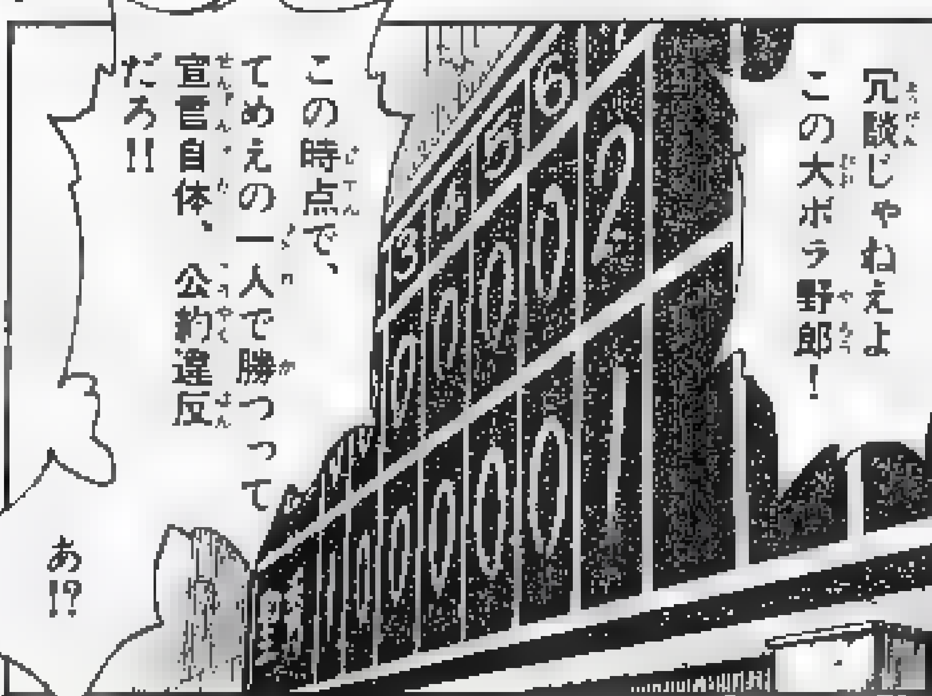

ナイスラン薫ちゃーん!!


フーン
ちょっとカッコいいじゃん藤井


けっ、だっせーっ。


何が一人で勝っただ!!
結局、女とド素人に頼って同点にしてもらってんじゃねえかよ!!




冗談じゃねえよこの大ボラ野郎!
この時点で、てめえの一人で勝つって宣言自体、公約違反だろ!!
あ!?





うるせえ!!
公約に反してこんなインチキで勝ったって、俺はぜってー入部なんかしねえからな!
賭は賭だ!!






ちょっと聖秀さんー
次のバッター誰です!?


お、おい おまえだろ 田代ー


フン。


田代。



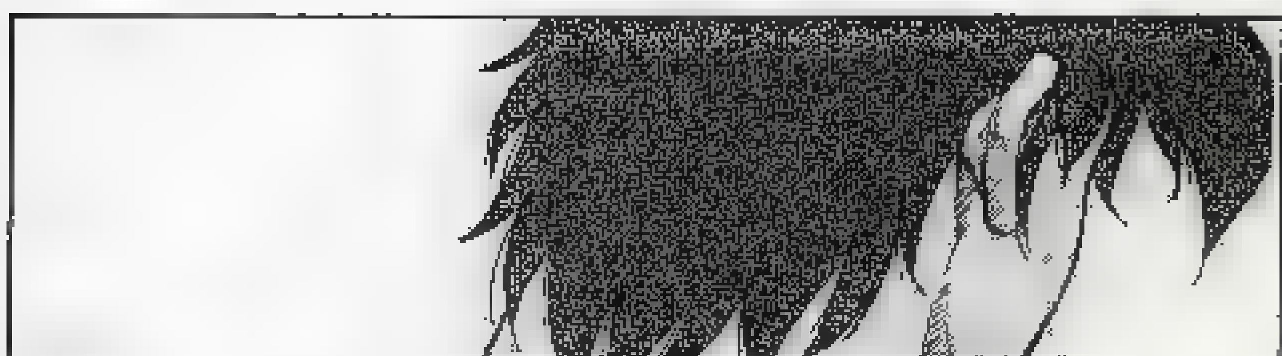

…わかったよ、
そこまで言うなら
もう無理には
頼まねーよ。




田代だけじゃねえ…他のみんなも嫌なら仕方ねえ……
もちろん俺的には困るが…
人数合わせならまだ来年の新入生に可能性はあるからな。


じゃあ、なぜこんな
無謀な賭を
ふっかけたんです
ノゴロー君?


一人で勝つなんて、
野球を知ってれば
そう簡単でない
ことぐらい
わかってた
でしょう…?




はは…
やっぱ俺って
バカなんだろーな。

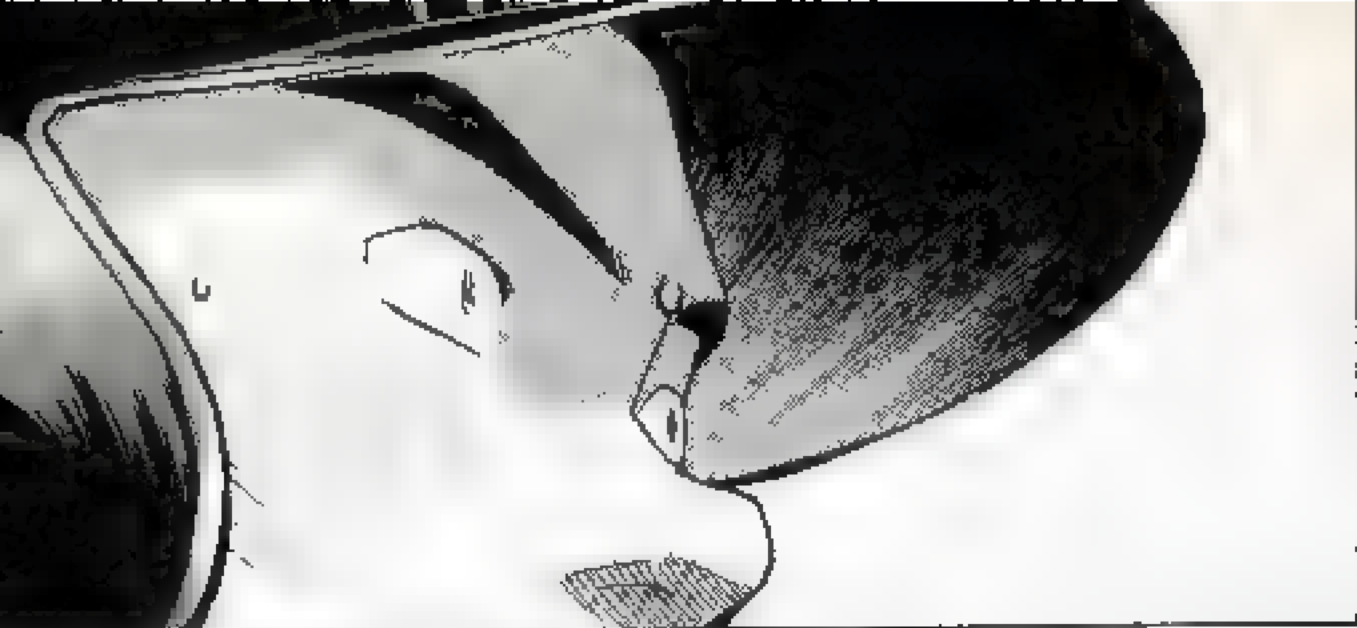

てっきりさ——
俺はみんなにバットとグローブ持たせて青空の下にひっぱり出しゃ、ぜってー野球を好きになってくれると思ってたんだよな。

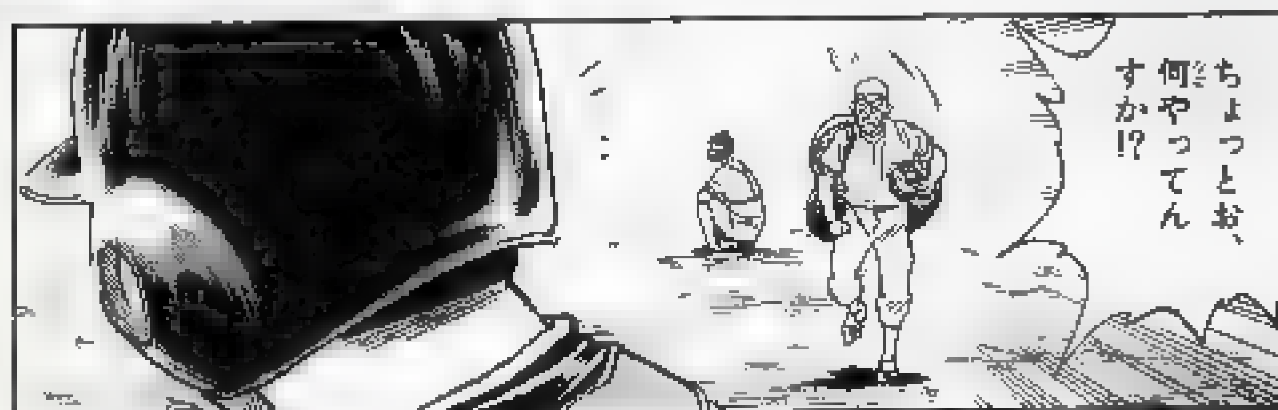




でも、よく考えたら打つ機会も守る機会もろくにないような試合でおもしろいわけねえじゃんか。

おもしろいのは俺だけじゃねえかって話だもんな、ハハ…

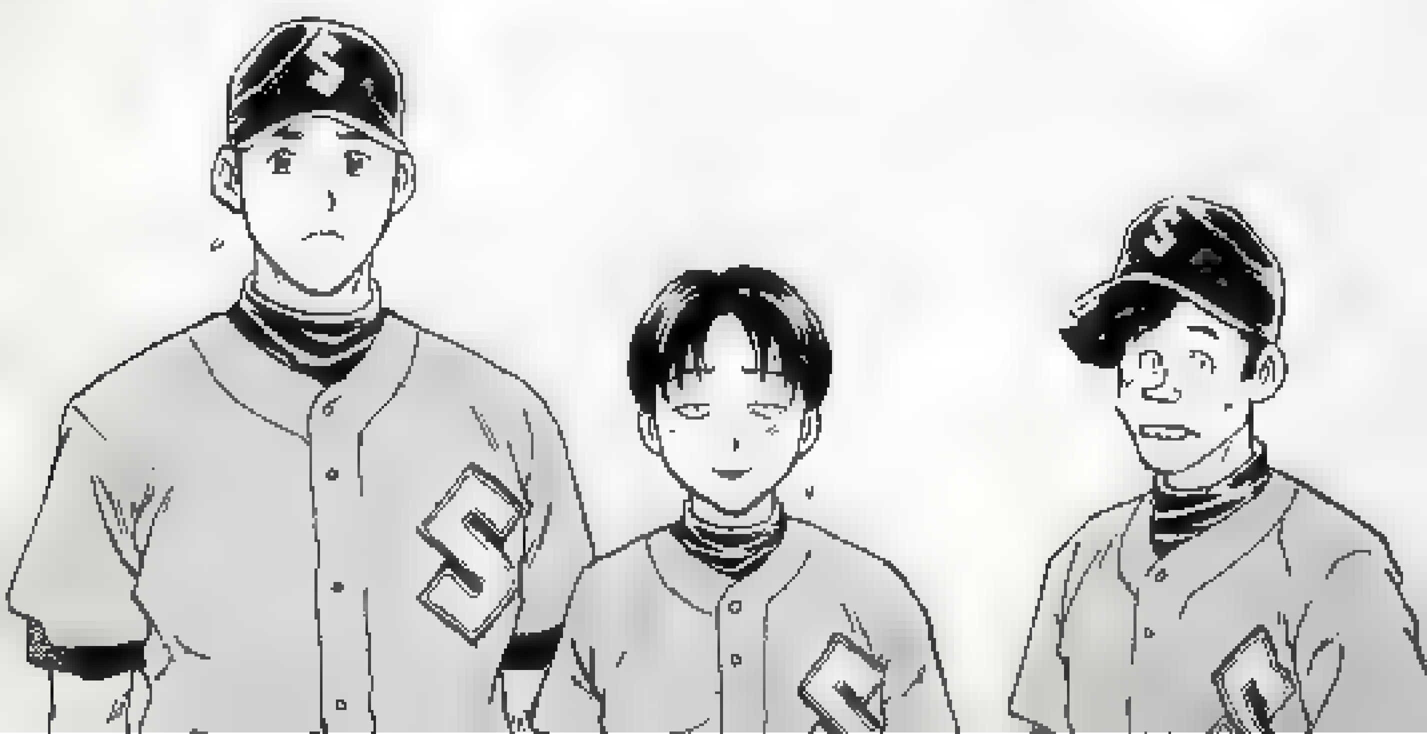




13







僕達…さっきちょっと話し合ったんですけど…

基本的に野球部入っても厳しい練習とかしなくていいんですよね…？

え…!?

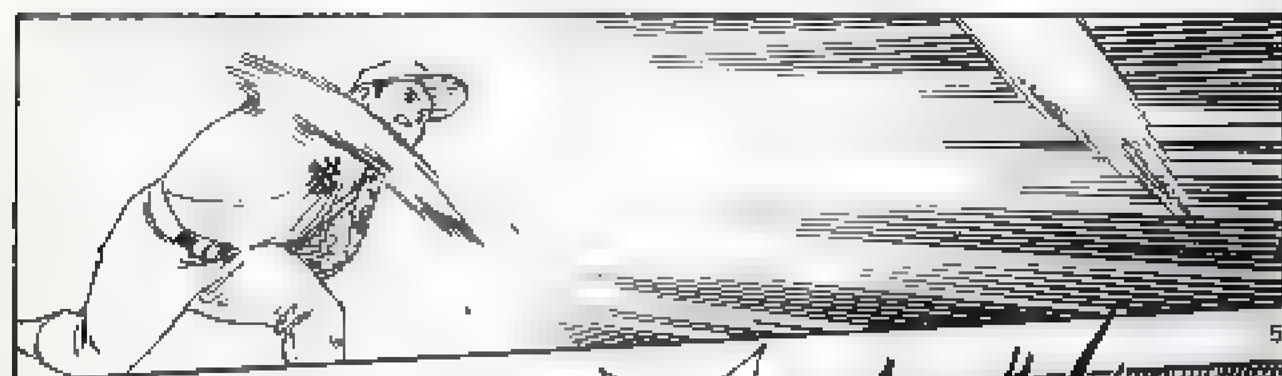
あ、ああ！俺は練習を強制する気は全くねえよ、

こっちはとにかく試合に参加してくれりゃいいんだよ！

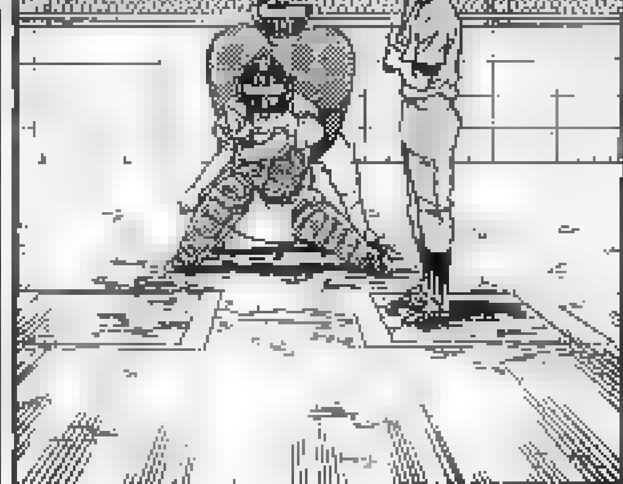



ほ、本当か!!
は、はい。
なんかそんなに打球も飛んでこないし…


…

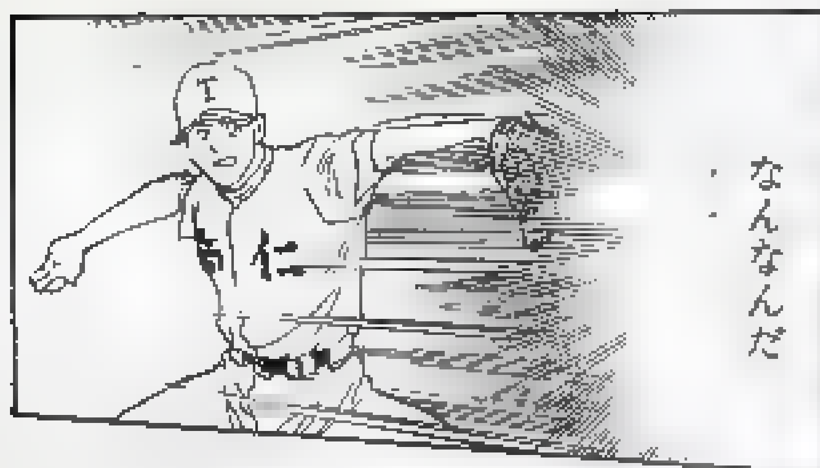



ばしっ
ストライーク!!




あのヤロ〜〜
とことん最後まで、やる気のかけらも見せねえのかよ!

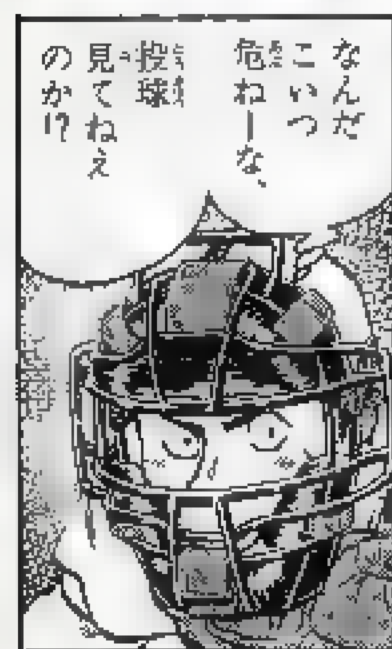






16

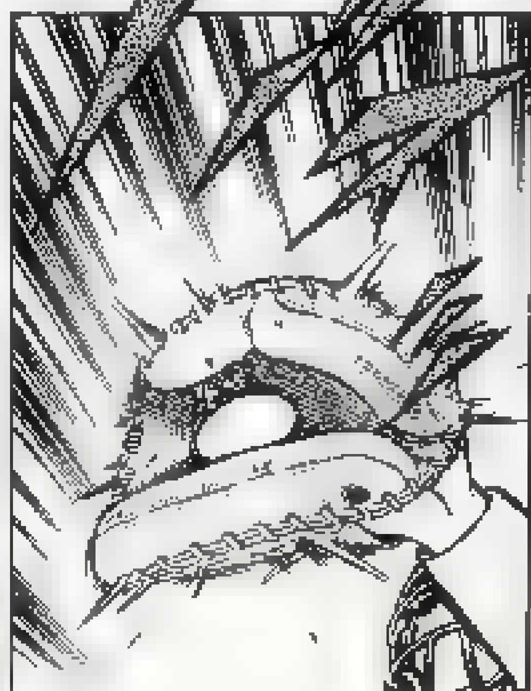




冗談じゃねえ。

今さら
いい迷惑だよ
――!!

俺はもう
2年も前に
野球を捨ててたっ
てのに――

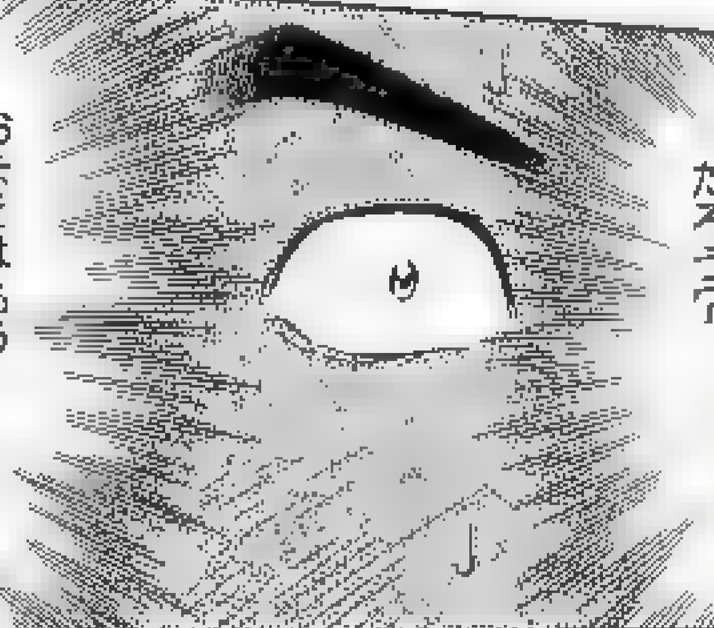





え!?
せ、聖秀!?


そうだ、
おまえは
黙って聖秀に
進学すればいい。


だ、だって
父さん、
あそこは去年
まで女子高で…
野球部がない
じゃないか‥

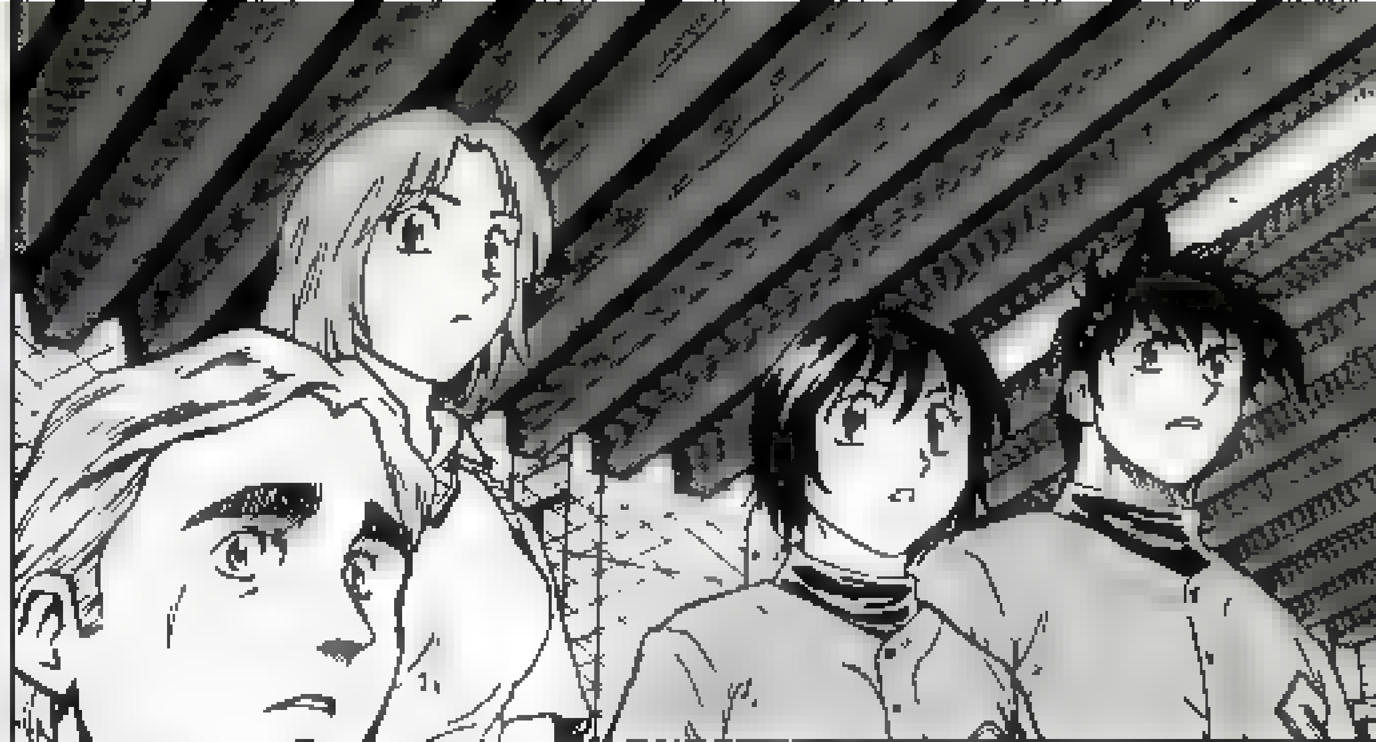

そりゃそうさ、
野球部のある
高校じゃ、おまえは
勝手に入部する
だろう?
おまえはもう
これからは、我が
田代商事の跡とりと
なるための勉強に
専念するんだ。

もう
おまえの人生に
野球は必要ない
だろう――













そうさ、俺はもう野球を捨てたんだ!!

今さら聖秀に野球部なんか作らせねえからな!!

—MAJOR 34・完—

〈掲載・週刊少年サンデー平成12年47号より平成13年4・5号まで〉

MAJOR㉞

少年サンデーコミックス

2001年4月15日初版第1刷発行　　　（検印廃止）

著　者　　満　田　拓　也
©Takuya Mitsuda　2001

発行者　　亀　井　　修

印刷所　　三晃印刷株式会社

PRINTED IN JAPAN

発行所　（101-8001）東京都千代田区一ツ橋二の三の一　株式会社　小学館
振替（00180-1-200）
TEL　販売03（3230）5749　編集03（3230）5480

ISBN4-09-126084-5

少年サンデーコミックス

Scomics

発売!!



8 天使な小生意気

西森博之



32 名探偵コナン

青山剛昌



20 鬼切丸

楠 桂



10 ウインドミル

橋口隆志



17 からくりサーカス

藤田和日郎

既◇刊◇好◇評◇発◇売◇中◇!!

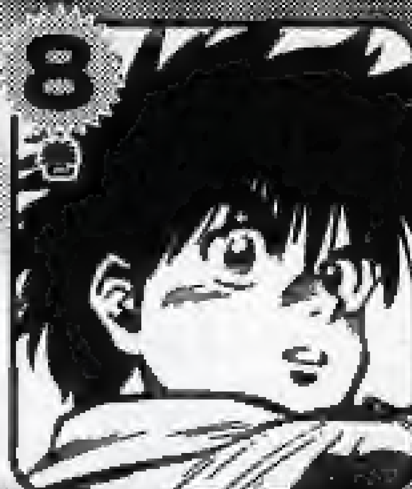
●少年サンデーコミックス

いつも美空

4月中旬新刊



4巻
MISTER(ミスター)ジパング
椎名高志(しいなたかし)



8巻
ファンタジスタ
草場道輝(くさばみちてる)



1巻
動物(どうぶつ)のカメちゃん
増西けんじ



1巻
スリット
三好雄己(みよしゆうき)



3巻
DAN(ダン) DOH(ドー)!!Xi(ザイ)
原作 坂田信弘 作画 万乗大智

SHONEN ◇ SUNDAY ◇ COMICS

プニャリン　コージィ★城倉
★1巻好評発売中!!

ナズミ
★1巻好評発売中!!

サッカーキング
★1巻好評発売中!!

● 少年サンデーブックス

青山剛昌短編集・4番サード　青山剛昌
★全1巻好評発売中!!

● 少年サンデーコミックススペシャル

パーティファイター　原作／七月鏡一　作画／藤沢真吾
★全3巻好評発売中!!

ドルフィン・ブレイン　山本貴嗣
★1〜2巻好評発売中!!

ARMS　皆川亮二
★1〜16巻好評発売中!!

スプリガン　原作／たかしげ宙　作画／皆川亮二
★全11巻好評発売中!!

KYO　原作／たかしげ宙　作画／皆川亮二
★全1巻好評発売中!!

魔界武芸帖サムライスピリッツ　原作／七月鏡一　作画／三好雄己
★全1巻好評発売中!!

ますらお　北崎拓
★全8巻好評発売中!!

ふたり　北崎拓
★全11巻好評発売中!!

たとえばこんなラヴ・ソング　北崎拓
★全8巻好評発売中!!

DADA!　吉田聡
★全11巻好評発売中!!

吉田聡傑作短編集　バードマン★ラリー　吉田聡
★全1巻好評発売中!!

超時空要塞マクロスII
★全1巻好評発売中!!

● 少年サンデー特装版コミックス

獣竜―化石の記憶―
★全1巻好評発売中!!

SS comics

MAJOR
[メジャー]
34

満田拓也

小学館



SS comics

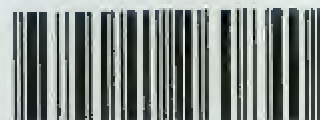
S comics

MAJOR [メジャー] 34

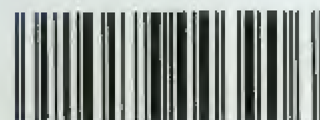
満田拓也

小学館

SSC-6084



9784091260840



1929979003906

ISBN4-09-126084-5

C9979 ¥390E

定価：本体390円＋税

雑誌 45090－84　　小学館





男子7人の聖秀学院に編入した吾郎は、反発する男子6人の入部を賭けて練習試合をすることに。だが、新顧問・山田一郎が用意した対戦相手は神奈川ベスト4の強豪・横浜帝仁高校!!

